

ナリ(四六六、五二七)此場合ニハ如何ニスルモ拒絶ノ字義ニ適ハス呈示シタリシ
コトヲ證スルモノニシテ呈示證書ナリ此等ノ點ヨリ拒絶證書ヲ分類シテ拒絶
ノ字義ニ適フモノト其字義ニ適ハサルモノトシ前者ヲ細分シテ積極的拒絶證
書及ヒ消極的拒絶證書トスルコトヲ得

拒絶證書ノ分類ニシテ最モ廣ク行ハルモノ左ノ如シ

一 請求ノ趣旨ヲ標準トスルモノ

最モ重ナルモノハ引受拒絶證書ト支拂拒絶證書ナリ引受拒絶證書ハ支拂人
ニ引受ヲ請求シテ拒絶セラレタル際ニ作ルモノニシテ前者ニ擔保ヲ請求ス
ルニ必要ノ手續ナリ如何ナル場合ニ於テモ作成スルヲ要シ免除ノ場合ナシ
支拂拒絶證書ハ支拂人又ハ引受人ニ支拂ヲ請求シテ拒絶セラレタル際ニ作
ルモノニシテ前者ニ償還ヲ請求スルニ必要ノ手續ナリ前者カ之ヲ免除スル
トキハ其者ニ對シテハ之ヲ作成スルヲ要セス

此分類ヲ最モ重ナルモノトシ法律ノ規定又ハ學者ノ議論ハ專ラ此二種ノ證
書ニ關ス此外ニ手形返還ノ拒絶證書ト稱シ手形ノ複本所持人カ引受ヲ求ム

ル爲メ其一通ヲ送付シ之ヲ受取リタル者ニ對シテ返還ヲ請求スルモ返還ヲ
得サル場合ニ作成セシムルモノアリ此證書ハ亦前者ニ對シテ適及請求ヲ爲
スニ必要ノモノナリ(五二二)

二 記事ノ程度ヲ標準トスルモノ

最モ重ナルモノハ單純ナル拒絶證書ト參加ヲ記載シタル拒絶證書ナリ參加
引受アリタルトキハ所持人ハ引受拒絶證書ニ其旨ヲ記載セシメテ之ヲ參加
引受人ニ交付スヘク參加支拂アリタルトキハ所持人ハ支拂拒絶證書ニ其旨
ヲ記載セシメテ之ヲ參加支拂人ニ交付スヘシ(五〇四、五一二)

以上ノ分類ヲ細分スル外ニ公證人ノ作ル拒絶證書及ヒ執達吏ノ作ル拒絶證書、
原本タル拒絶證書及ヒ謄本タル拒絶證書、法定ノ場所ニテ作ルモノ及ヒ法定ノ
場所外ニテ作ルモノ、請求シテ拒絶セラレタル際作ルモノ及ヒ請求ヲ爲スコト
能ハサリシ際作ルモノ、面會シテ拒絶セラレタル際作ルモノ及ヒ面會スルコト
能ハサリシ際作ルモノ等ニ分ツコトヲ得

拒絶證書ノ方式

拒絶證書作成ノ手續ニ關シテハ煩雜ナルモ嚴格ヲ主トスル主義ト專ラ簡易ヲ主トスル主義アリ何國ニ於テモ一時ハ煩雜ナル手續ヲ要シタリシヲ漸々簡易ナルモノニ改メ殊ニ獨逸ニテハ一九〇八年ニ拒絶證書作成簡便法ナル特別法ヲ出シテ證書ノ作成ヲ簡易ナラシメ我改正規定ハ之ヲ參照シテ舊規定ヲ改メタル點多シ

拒絶證書ハ法律ニ定ムル物ニ依リテ之ヲ作成スルコトヲ要ス支拂ノ拒絶證書ト其以外ノ拒絶證書トハ作成物ヲ異ニシ支拂拒絶證書ハ手形又ハ附箋ニ依リテ之ヲ作成シ其以外ノ拒絶證書ハ手形若クハ其謄本ノ寫本又ハ附箋ニ依リテ之ヲ爲ス此差ヲ附シタルハ支拂拒絶證書ハ償還ヲ請求スル際ニ之ヲ用ヒ償還ヲ得ルトキハ之ヲ償還者ニ交付スヘキニ他ノ拒絶證書ハ然ラサルヲ以テナリ爲替手形ノ數通ノ複本又ハ原本及ヒ謄本ヲ呈示シタル場合ニ於テ支拂拒絶證書ヲ作ルトキハ其作成ハ一通ノ複本若クハ原本又ハ附箋ニ依リテ之ヲ爲スヲ以テ足ルトシ此場合ニハ他ノ複本又ハ謄本ニ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス(五一五ノ二、五一五ノ三、五一五ノ四)即チ手形、謄本又ハ寫本ニ依リテ拒絶證書ヲ作成セ

シテ以テ拒絶證書ニ手形ニ記載シタル事項ヲ轉載スル煩ナカラシメタリ

拒絶證書ニハ一定ノ事項ヲ記載スヘキモノトシ之ヲ記載スル物ヲ限定スルト同主意ニ依リ私人ヲシテ何等ノ挿入ヲモ爲シ得サラシムル爲メ記載事項ノ地位ニ關シテ規定シ又契印ヲ必要トスル場合ヲ定ム曰ク手形、複本、原本、又ハ手形若クハ其謄本ノ寫本ニ依リテ拒絶證書ヲ作ル場合ニ於テハ第五一五條ニ掲ケタル事項ハ其裏面ニ記載シタル事項ニ接續シテ之ヲ記載スルコトヲ要ス、附箋ニ依ル場合ニ於テハ公證人又ハ執達吏ハ其接目ニ契印ヲ爲スコトヲ要スト(五一五ノ五)尙拒絶證書ニハ作成者ノ署名ノ外ニ捺印ヲ要スルモノトシ商法ノ規定中署名ト捺印ヲ併セ要スルモノハ此場合ノミナリ

拒絶證書ニ記載スルコトヲ要スル事項左ノ如シ(五一五)

- 一 拒絶者及ヒ被拒絶者ノ氏名又ハ商號
- 拒絶者ニハ引受ノ拒絶者タル支拂人アリ支拂ノ拒絶者タル支拂人又ハ引受人アリ參加引受ノ拒絶者タル豫備支拂人アリテ場合ニ依リテ異ナレリ被拒絶者ハ常ニ所持人ナリ所持人ニ非サレハ手形上ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス手

形上ノ請求ヲ爲ササルトキハ拒絕ヲ生セサレハナリ拒絕證書ハ所持人ノ請求ニ因リ公證人之ヲ作ルトセルニ依リテモ被拒絕者ノ所持人タルヲ知ルベシ(五一四)唯拒絕者ナル語ニ對シテ被拒絕者ト云フノミ

二 拒絕者ニ對スル請求ノ趣旨及ヒ拒絕者カ其請求ニ應セザリシコト、拒絕者ニ面會スルコト能ハサリシコト又ハ其營業所住所又ハ居所カ知レザリシコト
引受ノ請求ヲ爲シタルトキハ引受ノ請求及ヒ支拂人カ引受ノ請求ニ應セザリシコトヲ記載スヘシ引受ヲ請求セントシタルニ支拂人ニ面會スルコト能ハサリシトキハ引受請求ノ主旨及ヒ支拂人ニ面會スルコト能ハサリシコトヲ記載スヘシ前者ヲ面會上ノ拒絕證書ト云ヒ後者ヲ不面會ノ拒絕證書ト云フ後者ヲ更ニ細別シテ場所ノ不明ナル爲メニ面會シ得ザリシモノ即チ場所不明ノ拒絕證書ニシテ獨逸學者ノ所謂對風證書ト場所ハ明カナルモ相手方カ不在ナル爲メ面會シ得ザリシモノ即チ不在ノ拒絕證書ニシテ獨逸學者ノ所謂對壁證書ナルモノニ區別スルコトヲ得

茲ニ拒絕者ニ對スル請求ノ趣旨ト云ヘル請求ハ所持人ノ爲ス請求トモ解シ得ラルルモ證書作成ノ手續ヲ定ムル法規ヨリシテ證書ヲ作成スル公證人ノ爲ス請求ト爲ルナリ公證人法等ノ規定ニ於テ公證人ハ拒絕證書ヲ作ルニ先チテ一應請求ヲ爲スヲ要スト解セラルレハナリ

三 前號ノ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハサリシ地及ヒ年月日引受又ハ支拂ヲ請求シタルトキハ其地ヲ記載シ且請求シタル日ヲ記載ス引受又ハ支拂ヲ請求セントスルモ請求スヘキ場所不明ナルカ或ハ相手方カ居ラサル爲メ現實ノ請求ヲ爲スコト能ハサルトキハ請求ヲ爲サントシテ必要ノ手續ヲ爲シタル地及ヒ日ヲ記載スヘシ場所ハ記載スルヲ要セス

四 法定ノ場所外ニ於テ拒絕證書ヲ作ルトキハ拒絕者カ之ヲ承諾シタルコト拒絕證書ハ法定ノ場所ニテ作成スヘキモ拒絕者カ其以外ノ場所ニテ作成スルコトヲ承諾スルトキハ法定ノ場所外ニテ作成シ得ルモノトシ其場合ニ拒絕者ノ承諾ヲ記載セシム

本號ハ多クノ疑問ヲ含ムモノナリ拒絕證書ヲ作ルヘキ法定ノ場所トハ何ソ

ヤ法定ノ支拂場所ヲ以テ法定ノ證書作成ノ場所ト看做スハ通常ナルモ二者ハ必スシモ全然同一ナリト云フヲ得ス拒絶者トハ何ソヤ引受ヲ請求シタルトキハ支拂人ハ拒絶者ニシテ支拂ヲ請求シタルトキハ支拂人又ハ引受人ハ拒絶者ナリ然レトモ彼等ニ與フルニ法定場所外ノ作成ノ承諾權ヲ以テスルハ不可ナリ自己カ引受又ハ支拂ヲ拒絶シ擔保又ハ償還ノ請求ニ何等ノ實質利害ヲ有セサルニ拒絶證書作成ノ場所ヲ指示シ得トスルハ奇ナリ若シ何人ニカ法定外ノ場所ヲ指示シ得ル權アリトセハ开ハ拒絶證書ノ對抗ヲ受クヘキ前者參加引受人保證人等トスヘシ

拒絶者ハ支拂人又ハ引受人ナリトシ支拂人ハ公證人ノ我營業所ニ侵入シテ拒絶證書ヲ作成スルコトヲ認容スヘキ義務ナシ自己ハ振出人ニ依リテ手形ニ氏名ヲ記載セラレタルノミナルニ之ヲ認容セサルヘカラストスレハ大ニ迷惑ヲ感セン

五 參加引受又ハ參加支拂アルトキハ參加ノ種類及ヒ參加人並ニ被參加人ノ氏名又ハ商號

六 拒絶證書作成ノ場所及ヒ年月日

數人ニ對シテ手形上ノ請求ヲ爲スヘキトキハ其請求ニ付キ一通ノ拒絶證書ヲ作ラシムルヲ以テ足ル(五一六)支拂拒絶ノ場合ニ所持人カ支拂拒絶證書ヲ作ラシメテ或裏書人ニ對シ償還ヲ請求シ之ヲ得サル場合ニ他ノ裏書人ニ請求スルニ際シ既ニ作成セル證書ヲ用キテ可ナリ又支拂人カ引受ヲ拒絶シタル場合ニ引受拒絶證書ヲ作ラシメ之ヲ以テ豫備支拂人ニ引受ヲ請求シ豫備支拂人モ引受ヲ拒絶シタル場合ニ又其證書ヲ以テ前者ニ擔保ヲ請求シテ可ナリ又振出人數人アル場合ニモ拒絶證書ハ一通ニテ可ナリ拒絶證書ヲ他人ニ交付スル時機ハ擔保又ハ償還ヲ得ルカ其他請求ノ目的ヲ達シタル時ナルヲ以テ其後ニ證書ヲ要セス隨テ一通ニテ足ルナリ一通ニテ足ルニ數通ヲ作ラシムルトキハ其費用ハ之ヲ作ラシメタル者ノ負擔トス

第十節 爲替手形ノ複本及ヒ謄本

一個ノ手形上ノ權利ニ付テハ一個ノ手形ヲ以テ足ルコト一個ノ債權ニハ一個

ノ債權證書ヲ以テ是ルニ等シキモ古來何レノ國ニ於テモ一個ノ手形上ノ權利ニ數通ノ手形ヲ認ム數通ヲ悉ク原本トスルモノト一ヲ原本トシ他ヲ謄本トスルモノアリ復本ハ爲替手形ニ限り謄本ハ爲替手形及ヒ約束手形ニ限り小切手ニハ復本モ謄本モナシ

複本

手形ノ復本トハ一個ノ手形上ノ權利ヲ別紙ニ完全ニ體現セシムルモノナリ各通ハ獨立セル手形ノ如クニシテ而モ相合スルモノ一個ノ權利ヲ體現スルニ止マル一通ノ復本ノ所持人カ支拂ヲ請求スルモ引受人ハ支拂ハサルヘカラス支拂フタルトキハ手形ノ目的ヲ達シタルモノトシテ手形ハ全然消滅シ殘存セル各通ハ悉ク廢紙ト爲ル(五二〇)何レノ國ニ於テモ復本ヲ認メ三通トスルモノト何通ニテモ可トスルモノアリ我國ハ後ノ主義ヲ採リタリ
爲替手形ニ復本ヲ認ムル理由トシテ手形ハ手形上ノ權利ヲ證明スル唯一ノ證書ニシテ權利ト證書トハ合體シ之ヲ喪失スルトキハ困難ヲ生スルヲ以テ數通ヲ與ヘテ之ニ備フ又遠隔ノ地ニ手形ヲ送付スルニ當リ多クノ道路及ヒ方法ニ

テ各通ヲ送付シ以テ迅速且完全ニ到達セシメントスト云フヲ常トス然レトモ此ノ如キコトハ他ノ手形及ヒ手形以外ノ或有價證券ニモ共通ナルニ他ノ證券ニハ數通ヲ要セサルヲ以テ之ニ依リテ爲替手形ノ復本制度ヲ維持シ難シ爲替手形ニ特殊ノ理由トスル所ハ復本ニ依リテ手形ノ引受及ヒ讓渡ヲ容易迅速ナラシムルニ在リ支拂人ノ營業所カ遠隔セル場合ニ手形カ一通ナルトキハ所持人ハ引受ヲ得ル爲メ其一通ヲ送付シ返還シ來リタル後ニ非サレハ手形ヲ讓渡スヨトヲ得サルヘシ然ルヲ數通アルトキハ一通ヲ引受ノ爲メニ送付シ他ノ一通ヲ讓渡シ得ルヲ以テ便利ナリトスルニ在リ此點ヲ見ルトキハ數通ヲ有スルハ便利ナレトモ一通ヲ送付シアリテ引受タルカ否カ未タ不明ナル手形ヲ殘留セル復本ニテ讓受タル者少ナカルヘシ又送付シタルモノヲ返還シ來リタル場合ニモ問題ヲ生スヘク返還シ來ラサルトキハ一層ノ困難ヲ生ス而シテ還不還ヲ問ハス各通間ノ關係ニ付キ種々ノ難問ヲ生スルヲ以テ復本ニ依リテ得ル利益ヨリモ之カ爲メニ甚ムル不利益大ナリ故ニ實際ニハ三通ヲ發行スルモ各別ニ之ヲ利用スルコト少ナク却テ三通ヲ一括シ一通ノ如クシテ轉帳スルコト多

シト云フ寧ロ初メヨリ一通トスルノ簡ナルニ如カス
 複本ハ手形振出ノ際ヨリ存スルコトアリ或ハ振出ノ際ニハ一通ニシテ所謂單
 獨手形ナルヲ後ニ所持人ノ請求ニ因リテ數通ヲ交付スルコトアリ所持人ハ振
 出人ニ對シテ複本ヲ請求スルコトヲ得之ヲ請求セントスルトキハ順次ニ前者
 ヲ經由シテ振出人ニ請求スヘク振出人ハ此請求ヲ受ケタルトキハ請求セラレ
 タル數ノ複本ヲ作リテ受取人ニ交付シ受取人ハ其各通ニ裏書シテ自己ノ被裏
 書人ニ交付シ順次此ノ如クシテ手形所持人ニ轉還ス即チ順序主義ニ依ル
 複本ノ複本タルニハ其複本タルコトヲ示ササルヘカラス手形ニ此手形ハ複本
 ナリト記載スルカ此手形ハ數通發行セラレタリト記載スルカ或ハ番號ニ依リ
 テ複本タルコトヲ示ササルヘカラス之ヲ示ササルトキハ各通ハ獨立ノ手形ト
 シテ其効力ヲ有ス(五一九)各通ハ手形ノ形式ヲ備ヘ振出人之ニ署名シテ交付ス
 ルヲ以テ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負フナリ複本トシテ振出シタル意思明白ニ證
 明セラルモ手形ニ之ヲ示ササル限リハ各通ニ責ヲ負ハシム手形ノ複本タルコ
 トヲ示スニハ番號ヲ以テスルヲ通常トシ第一號第二號等ト云フ

複本ニ複本タルコトヲ示セルニ拘ハラヌ尙各通ヲ獨立手形ト等シカラシムル
 コトアリ一ハ支拂人カ各通ニ引受ヲ爲シタル場合ニシテ又一ハ所持人カ二人
 以上ニ各別ノ裏書ヲ爲シタル場合ナリ引受人ヲシテ引受ノ署名丈ノ責任ヲ負
 ハシメ裏書人ヲシテ別人ニ裏書シタル丈ノ責任ヲ負ハシム此點ニ關シテハ多
 クノ説明ヲ要シ又タ立法上批評スヘキ點多キモ實際ニ生セサルヲ以テ之ヲ省
 ク

複本ノ所持人カ其一通ヲ以テ引受ヲ請求スル間ニ他ノ一通ヲ裏書讓渡スル場
 合ニハ種々ノ複雜ナル問題ヲ生シ得レトモ何人モ之ヲ恐レテ複本ヲ分離スル
 コトナク隨テ實際問題ト爲ラサルヲ以テ亦説明ヲ省キ法律ニ規定スル所ヲ示
 スニ止メン曰ク所持人カ引受ヲ求ムル爲メ複本ノ一通ヲ送付シタルトキハ他
 ノ各通ニ其送付先ヲ記載スルコトヲ要ス此記載アル手形ノ所持人ハ送付シタ
 ル一通ノ手形ヲ受取リタル者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコトヲ得所持人カ前
 者ニ對シテ過及請求ヲ爲スニハ拒絕證書ニ依リ複本ノ返還ヲ得サル事實及ヒ
 他ノ複本ヲ以テモ引受又ハ支拂ヲ受クルコト能ハサリシコトヲ證明セサルヘ

カラスト此場合ノ拒絶證書ヲ手形返還ノ拒絶證書ト云フ(五二二)

贖本

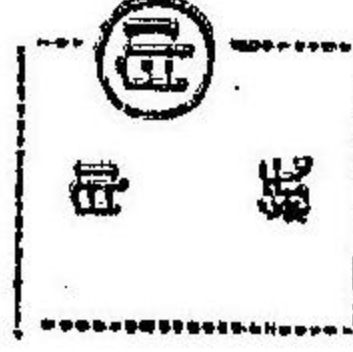
贖本ハ手形ノ贖寫ニシテ所持人ノ隨意ニ作成シ得ルモノナリ之ヲ認ムル理由ハ複本ヲ認ムル理由ト等シク手形ノ喪失ニ備ヘ手形ノ送付ニ便ナラシメ引受及ヒ讓渡ヲ容易迅速ナラシムルニ在リテ之ニ對スル批評モ亦複本ノ場合ニ於ケルト同一ナリ贖本ハ所持人ノ隨意ニ幾通ニテモ作成シ得ルモノナルヲ以テ一層危険ナリ贖本ニ對シテ原本ナル名稱ヲ生ス所持人カ贖本ヲ作ル場合ニハ原本ニ記載シタル事項ヲ其儘ニ贖寫シテ止ムコトアリ其外ニ新ニ贖本ニ或事項ヲ記載スルコトアリ若シ贖本ニ事項ヲ記載スルトキハ其事項ト原本ニ記載シタル事項トヲ區別スルコトヲ要ス(五二二)

所持人カ引受ヲ求ムル爲メ原本ヲ送付シタルトキハ贖本ニ其交付先ヲ記載スルコトヲ要ス此記載アル贖本ノ所持人ハ送付シタル原本ヲ受取リタル者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコトヲ得贖本ノ所持人カ前者ニ對シテ遡及請求ヲ爲スニハ拒絶證書ニ依リ原本ノ返還ヲ得サル事實ヲ證明セサルヘカラス贖本ヲ以

テ引受又ハ支拂ヲ請求スルヲ得サルカ故ニ引受又ハ支拂ヲ得サリシコトヲ證明スルヲ要セス所持人カ贖本ヲ以テ遡及請求ヲ爲シ得ル前者ハ贖本ニ署名シタル者ナリ手形法ノ原理トシテ手形ニ署名セサル者ニ手形上ノ請求ヲ爲スコトヲ許サス(五二三、五二四)

東京市會社第一銀行

第三九號



約束手形

一金貳萬六千五百圓也

右金額貴殿又ハ貴殿ノ指圖人ハ此手形引換ニ無相違仕拂可申候也

振出地 東京市

支拂期日 明治四拾四年拾貳月貳拾五日

支拂場所 東京市日本橋區兜町一番地
株式會社第一銀行

東京市京橋區南鍋町十番地

明治四拾四年

拾月貳拾六日

戶村孝造 (印)

大川太兵衛殿

第三章 約束手形

<p>表面之金額 和田八五郎 殿又ハ同人 指圖人ハ御仕拂可被成候也 東京市日本橋區坂本町十番地 大川大兵衛 印</p> <p>明治四拾四年拾壹月五日</p>	<p>表面之金額 原口 幸吉 殿又ハ同人 指圖人ハ御支拂可被成候也 東京市日本橋區青物町三番地 和田八五郎 印</p> <p>明治四拾四年拾壹月參拾日</p>	<p>表面之金額 殿又ハ同人 指圖人ハ御仕拂可被成候也</p> <p>明治 年 月 日</p>	<p>表面之金額 殿又ハ同人 指圖人ハ御仕拂可被成候也</p> <p>明治 年 月 日</p>	<p>表面之金額 正ニ受取候也</p> <p>明治 年 月 日</p>
--	---	---	---	-------------------------------------

約束手形ハ一定ノ地ニ於テ一定ノ金額ヲ單純ニ支拂フ約束ヲ記載シ署名者ヲシテ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負ハシムル形式證券ナリ

總則ノ初メニ手形ノ全體ニ關シテ定義シタルモノニ單純ナル支拂ノ約束ヲ挿入シテ約束手形ノ定義トシタルニ過キヌ約束手形ハ簡單ニシテ正確ナル借用證書又ハ預金證書ニ類スル處アリ信用ノ十分ニ發達セサル國ニ流行スルモノナリ信用ノ發達シ商業ノ盛ナル國ニ在リテハ手形ト云フトキハ爲替手形ヲ意味シ獨逸手形法ノ編纂ニ際シテ屢約束手形ヲ下等ノ手形ト稱シテ手形法ヨリ除去セント主張シタル者アリキ幸ニシテ除去セラレサリシモ手形トシテ輕視セラレコト依然タリ英國手形法亦約束手形ヲ規定スレトモ多數ノ者ハ之ニ重キヲ置カヌ

我國ハ未ダ約束手形ノ時代ニ屬シ實際ニ流通スルモノノ大半ハ約束手形ナルモ商法ハ文明國ノ例ニ倣ヒ爲替手形ヲ先ニシテ約束手形ニハ其規定ヲ準用シ約束手形ニ關シテハ僅カニ五ヶ條ヲ存スルノミ

約束手形ニ爲替手形ノ規定ヲ準用スルニ當リ原則トシテ準用シ例外トシテ準

用シ得サル規定ヲ掲タル原則主義及ヒ準用シ得ル規定ヲ列舉スル列舉主義アリテ我國ハ列舉主義ナリ(五二九爲替手形ノ振出、裏書支拂、償還請求保證、參加支拂、拒絕證書及ヒ勝手ニ關スル大部分ハ之ヲ準用シ引受、擔保參加引受及ヒ複本ノ全部又ハ大部分ハ之ヲ準用セヌ其差異ノ理由ヲ一言ニテ云フトキハ約束手形ニ在リテハ振出人自ラ初メヨリ主債務者ナルヲ以テ別ニ支拂人ヲ要セヌ隨テ引受ヲ要セサルニ在リ
爲替手形ニ關シテ説明シタルモノハ悉ク之ヲ省キ約束手形ニ特殊ノモノヲ示スニ止ム

振出(爲替手形トノ差)

約束手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス(五二五)

- 一 其約束手形タルコトヲ示スヘキ文字
- 二 一定ノ金額
- 三 受取人ノ氏名又ハ商號
- 四 單純ナル支拂ノ約束

五 振出ノ年月日

六 一定ノ満期日

七 振出地

約束手形ノ要件トシテ列舉セルモノヲ爲替手形ノ要件ノ列舉ニ比スルトキハ四個ノ差アリ其中約束手形タルコトヲ示スヘキ文字及ヒ支拂ノ約束ヲ記載スヘキコトハ説明ヲ要セヌトシ殘ル處ハ他ノ二點ナリ
爲替手形ニハ支拂人ノ氏名ヲ要件トセルニ約束手形ニハ然ラヌ是レ爲替手形ニ在リテハ振出人ハ他人ニ支拂ヲ委託スルヲ以テ其委託ヲ受クヘキ者ノ記載ヲ要スルモ約束手形ニハ振出人自ラ支拂ヲ約シテ支拂義務ヲ負フヲ以テ支拂人ノ生スヘキ餘地ナケレハナリ故ニ爲替手形ニハ三人格ヲ要スレトモ約束手形ニハ二人格ヲ存スルノミ而シテ爲替手形ニ在リテハ振出人ハ受取人ヲ兼スルコトヲ得ヘク之ヲ兼スルモ尙二個ノ別人格ヲ存スレトモ約束手形ニ在リテ

振出人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得トセルモノヲ約束手形ニ振出人ヲ兼スルトキハ一人ト爲ルヲ以テ之ヲ許サヌ爲替手形ノ規定ニ振出人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得トセルモノヲ約束手形

ニ準用セサリシヨリシテ此ノ如ク解スヘキヲ知ルナリ立法上亦約束手形ノ振
 出人ヲシテ受取人ヲ兼ネシムヘカラス
 爲替手形ニハ支拂地ヲ要件トセルニ約束手形ニハ振出地ヲ要件トス而シテ振
 出地ノ外ニ支拂地ヲ記載セシムルヲ原則トシ若シ之ヲ記載セサリシトキハ振
 出地ヲ以テ支拂地トス又振出地ハ之ヲ振出人ノ營業所又ハ住所ノ所在地ト看
 做ストシテ常ニ振出地ヲ基本地ト爲セリ(五二六、五二六ノ二)是レ爲替手形ニ在
 リテハ支拂ヲ委託スルヲ以テ支拂地ヲ記載セシムヘキ必要アルモ約束手形ニ
 ハ支拂ヲ約束シ其地ハ通常其手形ヲ振出ス地ナルヲ以テ振出地ヲ支拂地トシ
 唯振出人カ他ノ地ヲ記載シタルトキハ其地ヲ支拂地ト爲ラシムルモノナラン
 然レトモ此規定ハ非ナリ手形ニ尊フ處ハ一見シテ如何ナル地ニテ手形金額ヲ
 請求シ得ルカヲ知り得ルニ在リテ何地ニテ其手形カ振出サレタルカハ第二ノ
 問題ナリ過去ノ事實ヲ知ルヨリモ將來ノ請求地ヲ知ラシムルヲ緊要トス
 十年前我國ニ於テ振出地問題ナルモノ起リ大審院カ振出地ヲ日本橋區東區等
 ト記載シタル手形ヲ無効トシタル際學者及ヒ實業家ハ大ニ之ニ反抗シタルヲ

世上ニ支拂地問題ト云ハヌシテ振出地問題ト云ヒシハ判決ハ悉ク約束手形ニ
 關シテ生シ隨テ振出地ハ正面ノ問題ト爲リタルニ由ル
 約束手形ニ記載スヘキ要件ヨリシテ約束手形ト爲替手形ノ差ヲ知ルコトヲ得
 ヘシ其最モ著シキハ約束手形ニ支拂人ナキコトニシテ蓋シ此點ハ手形ニ二種
 ノモノヲ生シタル根本ノ差ナリ而シテ爲替手形ニハ支拂人ヲ記載シテ支拂ヲ
 委託スルヲ以テ支拂人カ果シテ其委託ニ應シテ手形上ノ主債務者ト爲ルヘキ
 ヤ否ヤヲ見ル爲メ引受ノ請求ヲ生シ引受ヲ得サルトキハ手形ノ鞏固ヲ缺クヲ
 以テ擔保ノ請求ヲ生スルモ約束手形ニ在リテハ振出人自ラ支拂ヲ約シ振出當
 時ヨリ手形ノ主債務者存在スルヲ以テ所持人ハ何人ニモ引受ヲ請求スルヲ要
 セス引受ヲ請求セサレハ其拒絕ヲ理由トセル擔保ヲ生セサルハ明カナリ故ニ
 此等ノ規定ハ約束手形ニ準用セラル餘地ナシ引受ノ規定ヲ準用セサルト類似
 ノ理由ニ因リ參加引受ノ規定ヲ準用セス又複本ノ因テ生スル特殊ノ理由ハ手
 形ノ所持人カ一方ニ引受ヲ請求スル間ニ他方ニ之ヲ流通セントスルニ在ルヲ
 以テ引受ノ制ナキ約束手形ニ之ヲ準用セス豫備支拂人ニ至リテハ振出人之ヲ

記載シ得サルモ裏書人之ヲ記載スルコトヲ得爲替手形ニ在リテ兩者トモ之ヲ記載シ得ルニ比シテ異ナル點ナリ

此ノ如ク爲替手形ノ規定ノ準用シ得サルモノヲ除キ其他ノ部分ハ約束手形ニ準用セラル振出裏書支拂償還請求等ニ關シテ然リ其場合ニ引受人ニ關スル規定ハ殆ント悉ク約束手形ノ振出人ニ準用シ又爲替手形ノ振出人ニ關スル規定ニシテ約束手形ノ振出人ニ準用スヘキモノ多シ此等ノ準用ニ依リ約束手形ノ所持人ハ満期日ニ至リ振出人ニ支拂ヲ請求シ拒絶セラレタル場合ニ裏書人ニ償還ヲ請求シ裏書人カ償還セサルトキハ再ヒ振出人ニ請求スルコトヲ得ルナリ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スニハ拒絶證書ヲ作成シ償還請求ノ通知ヲ發スヘキコト爲替手形ニ等シク參加支拂ヲ爲サントスル者アルトキハ其支拂ヲ受クヘキコトモ亦同シ

一覽後定期拂手形

一覽後定期拂約束手形ノ所持人ハ呈示期間内ニ手形ヲ振出人ニ呈示シ拒絶證書ニ依リテ之ヲ證明スルコトヲ要ス振出人カ呈示ヲ受ケタル旨又ハ其日附ヲ

手形ニ記載セサリシトキハ所持人ハ拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス拒絶證書ヲ作ラシメタルトキハ證書作成ノ日ヲ呈示ノ日トシテ凡テノ者ニ對抗シ證書ヲ作ラシメサリシトキハ呈示期間ノ末日ヲ呈示日ト看做シテ振出人ニ對抗シ前者ニ對スル償還請求權ハ之ヲ失フ爲替手形ニ在リテハ此呈示ハ引受ノ爲メノ呈示タルト同時ニ一覽ノ爲メノ呈示ナルモ約束手形ニ在リテハ一覽ノ爲メニノ爲メ爲メナリ呈示ニ依リテ手形ノ満期日ヲ確定セントスルコト振出人カ手形ニ呈示ヲ受ケタル旨及ヒ日附ヲ記載スルモ尙所持人ヲシテ拒絶證書ヲ作ラシムルコト此場合ノ證書ノ名稱ノ不適當ナルコト等ハ爲替手形ニ於テ論シタルト等シ(五二七、五二八)

前者問題

約束手形ニ關シテ生スル解釋上ノ問題ハ前者ノ範圍ナリ
約束手形ノ振出人ハ前者ナリヤ之ヲ前者トスルトキハ手形法ニ前者ニ關シテ規定セルモノハ悉ク之ヲ約束手形ノ振出人ニ適用スルヲ要シ前者ニ非ストスレバ之ヲ適用又ハ準用スルコトナシ約束手形ノ振出人ハ手形ヲ振出シテ之ヲ

支拂フ義務ヲ負フヲ以テ爲替手形ノ振出人及ヒ引受人ヲ合シタルモノト實質
 ナ等シクシ爲替手形ノ振出人ニシテ前者ナルトキハ約束手形ノ振出人モ亦前
 者ト爲ルヘシ是レ振出人ヲ前者ト解スル第一ノ理由ナリ又一覽後定期拂約束
 手形ノ規定ニ於テ所持人ガ拒絕證書ニ依リテ呈示ヲ證明セサルトキハ振出人
 以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ所持人ガ拒絕證書ヲ作ラシメサリシ
 トキハ振出人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フトシ重複シテ振出人以
 外ノ前者ト云ヘリ若シ振出人ハ前者ニ非ストセハ單ニ前者ニ對スル權利ヲ失
 フト云ヘハ足ルニ殊更ニ振出人以外ノ前者ト云ヘルハ振出人ヲモ前者トスル
 意ナリト云クハ第二ノ理由ナリ振出人ハ前者ニ非スト云フ者ハ手形法ニ前者
 ト稱スル者ハ償還義務者ナリ手形カ支拂ハレサル場合ニ手形金額ヲ償還スヘ
 キ者ナリ兩手形ノ裏書人及ヒ爲替手形ノ振出人ナリ約束手形ノ振出人ハ自ら
 手形金額ヲ支拂フヘキ者ニシテ決シテ他人カ支拂ハサル場合ニ之ヲ償還スヘ
 キ者ニ非サルヲ以テ前者ニ非スト云フナリ

此點ニ關シテハ商法ノ規定ハ明確ナラス故ニ場合ニ依リテ前者ノ規定ヲ振出

人ニ適用スヘキカ否カラ決セサルヘカラス法文ヨリ云フトキハ振出人ハ前者
 ナリ前者ナレハコソ之ヲ除外スル爲メニハ振出人以外ノ前者ト云フナリ而シ
 テ利益償還請求權ニ關シテハ約束手形ノ振出人ヲ爲替手形ノ振出人ト同視シ
 後者ヨリ償還請求ヲ受クルトキハ何年ノ後タリトモ之ニ應ヌヘキモノトスヘ
 シ然レトモ遡及請求ニ於ケル手續ノ適用ニ關シテハ之ヲ前者ト見ルヲ要セス
 約束手形ノ振出人ハ自ら支拂義務者ナルヲ以テ自己ノ支拂ハサルコトハ自ら
 之ヲ知リ此ノ如キ者ニ對シテ證書ヲ必要トスヘキ理由ナシ既ニ一覽後定期拂
 約束手形ニ在リテハ振出人ニ對シテハ證書ヲ作ラシメサルニ非ヌヤ而シテ償
 還ノ實質殊ニ償還金額ニ在リテハ振出人ヲ前者ト見ルカ否カニ依リテ差異ヲ
 生セサルヲ以テ何レニ決スルモ可ナレトモ支拂義務者タル點ヨリ觀察シテ引
 受人ト同視スルヲ可トヌ(四七一)

R5893

當座小切手

渡先

西村豐吉殿

一金參千五百圓也

右金額名差人又ハ此切手持參人ハ御拂渡可被成候也

明治四拾四年拾月貳拾六日

田部善太郎印

株式會社第十五銀行御中

第四寶小切手

小切手トハ一定ノ地ニ於テ一定ノ金額ヲ單純ニ支拂フコトノ委託ヲ記載シ署名者ヲシテ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負ハシムル形式證券ナリ
此點ニ於テハ小切手ハ毫モ爲替手形ト異ナル處ナク唯其形式ニ小切手タルコトヲ示スニ依リテ爲替手形ト明別シ得ルノミ其實質及ヒ目的ノ差ハ後ニ説明スヘシ

小切手ノ起原ニ關シテハ稀ニ異論ヲ唱フル者アルモ大體ニ於テハ英國ニ第十七世紀ニ起リシト云フニ一致シ歴史家ノ外ハ其上ニ遡ラス英國ニ起リテ佛國ニ及ヒ次テ獨逸其他ノ國ニ傳播シタリ然レトモ初メテ其成文法ヲ生シタルハ一八六五年ノ佛國小切手法トシ英國ニテハ一八八二年ノ手形法中ニ之ヲ編入ス獨逸ハ漸ク一九〇八年ニ至リテ小切手法ヲ發布シ文明國中尤モ後レタリ
小切手ノ他ノ手形ト著シク異ナル處ハ其支拂證券ノ性質ヲ有スルニ在リ他ノ手形ハ信用證券ニシテ振出人支拂人等ノ信用ヲ利用シテ金融ヲ計ルモノナルモ小切手ハ金錢又ハ之ニ準スヘキモノアル場合ニ利用スルモノナリ即チ一ハ振出人ニ金錢ナキ場合ニ必要ニシテ又一ハ金錢アル場合ニ利用スルモノナリ

證券ノ形式ニ於テハ小切手ナル文句ノ外ニハ爲替手形ト區別シ難キモノヲ生
 スルコトアラシム目的ニ於テハ此差異アリテ之ヲ小切手ノ經濟上ノ特色トス
 其特色ノ一部ハ商法ノ規定中ニ顯ハレ振出人カ支拂人ヲシテ支拂ハシムルコ
 トヲ得ル金額ヲ超エテ小切手ヲ振出シタルトキハ五圓以上千圓以下ノ過料ニ
 處ストシタリ小切手ハ金錢ヲ有スル者カ自ラ之ヲ保管スルハ危險ナリ又利息
 ヲ生セス而シテ支拂ニ煩雜ヲ感スルヲ以テ確實ナル資力者殊ニ金錢ノ貸借保
 管ニ熟達セル銀行ニ金錢ヲ寄託シ債權者其他ノ者ニ金錢ヲ交付スヘキ場合ニ
 小切手ヲ振出シ銀行ヨリ金錢ヲ受取ラシメントスル場合ニ使用ス此點ヨリシ
 テ小切手ノ振出ハ振出人カ支拂人ニ對シテ有スル債權ノ讓渡ナリトカ振出人
 ハ所持人ニ金錢ノ取立代理權ヲ授與スルモノナリト云フ學說ヲ生ス
 小切手ト爲替手形ハ大ニ類スル處アリテ英國法ハ之ヲ爲替手形ノ一種ト明言
 スル程ナルヲ以テ小切手ノ爲メニ特ニ規定ヲ設クル必要ナク多クハ爲替手
 形ノ規定ヲ準用スルコトトシ商法ニ其準用スヘキ條文ヲ列舉ス(五三七)

振出(爲替手形ト)ノ差

小切手ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人ノ署名スルコトヲ要ス

- 一 其小切手タルコトヲ示スヘキ文字
- 二 一定ノ金額
- 三 支拂人ノ氏名又ハ商號
- 四 受取人ノ氏名若クハ商號又ハ所持人ニ支拂フヘキコト
- 五 單純ナル支拂ノ委託
- 六 振出ノ年月日
- 七 支拂地

小切手ノ要件トシテ列舉セルモノヲ爲替手形ノ列舉ニ比スルトキハ三個ノ差
 アリ其中小切手ニハ小切手タルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載スヘキコトハ説明
 ヲ要セス殘ル處ハ他ノ二點ナリ

爲替手形ニハ受取人ノ氏名又ハ商號トセルヲ小切手ニハ受取人ノ氏名若クハ
 商號又ハ所持人ニ支拂フヘキコトトシ又ハ所持人ニ支拂フヘキコトヲ加ヘタ
 リ是レ爲替手形ニ在リテハ記名式ヲ原則トスルヲ以テ受取人ノ氏名ヲ記載セ

シムルヲ本則トシタルモ小切手ハ一層迅速ニ裏書讓渡シ又一層容易ニ支拂ハ
ルヘキヲ以テ必スシモ記名式ヲ原則トセス持參人拂ニテモ可トシ二者ノ間ニ
等差ヲ附セサリシナリ此規定ヲ誤マリテ小切手ニハ受取人ノ氏名ニ附加スル
ニ又ハ所持人ニ支拂フヘキコトナル文字ヲ以テシ所謂記名持參人式ノモノニ
限ルト解スル勿レ次ニ爲替手形ニハ要件中ニ満期日ヲ列擧セルニ小切手ニハ
之ヲ列擧セス是レ小切手ハ法律上必ス一覽拂トスルヲ以テ満期日ヲ記載セシ
ムル必要ナキニ由ル

小切手ハ一覽拂ノモノトス(五三三)此ノ如クシタルハ小切手ハ支拂證券ニシテ
金錢ヲ支拂フ代ハリニ之ヲ振出シ又ハ裏書スルモノナルヲ以テ所持人ヲシテ
容易且迅速ニ手形金額ヲ請求シ得セシムル必要アレハナリ確定日拂、日附後定
期拂等ノモノノ小切手ニ適セサルハ勿論トシ一覽後定期拂ノ呈示期間ヲ短縮
スルモ尙小切手ニ適セサルナリ

小切手ヲ振出スニハ振出人ハ豫メ支拂人ヲシテ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得ル
金額ヲ有セサルヘカラス換言スレハ振出人ハ資金又ハ信用ヲ有セサルヘカラ

ス之ニ反シテ小切手ヲ振出シタルトキハ五圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラ
ル(五三六)是亦爲替手形ニナキ處ナリ小切手ハ支拂證券ニシテ金錢アル者ノ振出
ス證券ナリ自ラ現金ヲ支拂フ代ハリニ證券ヲ振出シ銀行ヲシテ支拂ハシムル
モノナリ故ニ豫メ銀行ニ金錢ヲ寄託スルカ銀行ヨリ信用ヲ得サルヘカラス支
拂人ヲシテ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得ル權利ヲ有スルコトハ小切手ノ形式要
件ニ非サルモ實質的必要物タリ之ヲ手形ニ記載セサルモ小切手ヲ成立セシメ
又實際ニ資金ナクトモ其小切手ヲ有效トスルモ振出人ニハ罰ヲ科スルナリ振
出人ハ金錢ヲ寄託スルハ通常ナルモ支拂人ニ對シテ貸金ヲ有スルモ可ナリ支
拂人ヨリ信用ヲ得タルノミニテモ可ナリ茲ニ信用トハ與信契約ニ基クモノニ
シテ世俗ニ稱スル廣意ノ信用ニ非ス重モナルモノハ交互計算、繼續取引等ニ於
ケル貸越契約ノ取結ナリ

小切手ノ支拂人ハ何人タリトモ可ナリ其資格業務等ニ制限ナシ英國法ハ之ヲ
銀行ニ限り法律ニ明言シテ小切手ハ銀行ヲ支拂人トシテ振出シタル一覽拂ノ
爲替手形ナリト云ヘリ英國ノ小切手法モ亦小切手ノ支拂人ヲ銀行及ヒ郵便貯

金庫トシタルモ我商法ハ之ヲ限定セス然レトモ實際ニ在リテハ小切手ノ支拂人ト爲ル者ハ殆ント常ニ銀行トシ我商法亦平行線小切手ノ記名者ヲ銀行ニ限定シタリ

小切手ノ振出人ハ自己ヲ支拂人ト爲スモ可ナリ本店支店間ニ小切手ヲ振出ス等ノ必要ヲ認メテ之ヲ許スナリ振出人ハ自己ヲ受取人ト爲スコトヲ得ルハ當然ナリ

小切手ノ振出人ハ呈示期間經過前ニハ支拂ノ委託ヲ取消スコトヲ得ス(五三三ノ二)此レ實質的規定ニシテ振出人ト支拂人ノ關係ヲ定メタルモノナリ而シテ其目的トスル所ハ小切手ノ所持人ヲ保護スルニ在リトス振出人ト支拂人ハ小切手ノ振出ニ關シテ小切手契約ヲ取結フヲ常トシ振出人ハ支拂人ニ支拂ノ委託ヲ爲スナリ此委託ハ何時ニテモ取消シ得ルモ小切手振出後ニモ其取消ヲ許ストキハ支拂人ハ之ヲ取消サレタル爲メ支拂ヲ爲ササルニ至リ小切手ノ流通ヲ害スルヲ以テ特別ノ規定ヲ以テ此取消ヲ禁シタルナリ公益上ノ規定ニシテ反對ノ契約ヲ以テ之ニ異ナル定ヲ爲スコトヲ得ス呈示期間經過ノ後ハ振出人

ハ支拂ノ委託ヲ取消スコトヲ得ルモノトシ取消シタルトキハ之ニ從フモ取消ササルトキハ其儘ニ存續スルモノトシ支拂人ハ其後ト雖モ振出人ノ計算ニ於テ小切手ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

小切手ノ振出人又ハ裏書人カ裏書ニ依リテ小切手ヲ讓受ケタル場合ニハ最早裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得ス手形ノ振出人及ヒ裏書人ハ手形ノ債務者ナリ而シテ手形ノ讓受人ハ手形ノ債權者ナリ故ニ裏書人等カ手形ヲ讓受クルトキハ手形ノ債權債務ノ全部若クハ一部分ハ混同ニ依リテ消滅スル理ナリ然ルヲ爲替手形ニ在リテハ此理論ヲ適用スルヲ不可トシ特別ノ明文ヲ設ケテ振出人及ヒ裏書人カ手形ヲ讓受ケタル場合ニモ更ニ之ヲ裏書讓渡スコトヲ得トシタルナリ然ルニ小切手ニハ此規定ヲ準用セス殊更ニ之ヲ除外シタル跡アルヲ以テ小切手ノ振出人等ハ更ニ裏書讓渡スコトヲ得スト解ス小切手ノ如キ迅速ヲ要スル一覽拂ノ支拂證券ニ更ニ裏書ヲ爲スコトヲ許ス必要ナク之ヲ許スハ却テ不可ナリ(五三七、四五六)

小切手保證ノ無效

小切手保證ニハ手形上ノ効力ナシ小切手ニハ引受ナキカ故ニ小切手ニ引受ヲ爲スモ手形上ノ効力ヲ生セス我商法ノ解釋トシテ毫末ノ疑ナシ小切手ニハ爲替手形ノ規定ヲ準用スルコトトシ其準用スヘキモノヲ詳細ニ列舉シナカラ引受ニ關スルモノヲ殊更ニ除外スレハナリ立法論トシテ見ルモ引受ハ滿期日ノ速カニ來ラサルモノニ必要ニシテ小切手ノ如ク常ニ一覽拂ニシテ期間ノ短小ナルモノニ其必要ナシ或外國ニハ小切手ニモ引受アリテ例ハ米國ニテ支拂人カ小切手ニ確實ナル文字ヲ記載スルトキハ法律上ノ効力ヲ生シテ支拂人ハ支拂義務者ト爲リ振出人ハ償還義務ヲ免カルヲ以テ我國ニテモ亦引受ニ或効力ヲ認ムヘシト云フ者ヲ生スレトモ余ハ立法上之ヲ認ムヘカラスト信ス世ニ小切手保證ト稱スルモノニシテ若シ引受ナルトキハ此理由ニテ無効ナリ次テ振出人又ハ裏書人ノ義務ヲ保證スルモノトスルトキハ保證ノ規定モ小切手ニ準用セラレサルヲ以テ同シク無効ナリ何レニスルモ毫モ手形上ノ効力ナシ小切手ニ引受ヲ爲スモ手形上ノ効力ヲ生セストシ他ニ或効力ヲ生スルカハ手形法ノ問題ニ非ス一般法ノ解釋ニ依リテ定マルナリ英國ノ樞密院ハ一八九九

年ニ下セル判決ニ於テ支拂人カ小切手ヲ引受ケタルトキハ振出人ノ預金ハ其小切手ヲ支拂フニ足ルコトヲ表示スルモノト決シタルヲ以テ之ヲ我國法ノ解釋ニ援用セントスル者アリ又一步ヲ進メテ小切手引受ハ(一)支拂人カ小切手ノ成立ヲ認メタルコト即チ其振出人ノ真正ヲ認メタルコト及ヒ(二)支拂人カ自己ト振出人ノ間ニ振出ノ當時資金又ハ信用ノ關係存在シタルコトヲ認メタルモノト云フ者アリ然レトモ小切手ニ引受ヲ爲シタル一事ニ依リテ當然此結果ヲ生スルモノト斷定スルヲ得ヌ唯判官ハ或事實ヲ推斷スルニ當リ此等ノ記載ヲ其資料ト爲シ得ルノミ

償還ノ請求

小切手ノ所持人ハ支拂人ニ手形金額ノ支拂ヲ請求シ之ヲ得サル場合ニ前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得償還請求ノ前提條件トシテ支拂人ニ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ請求スルコト及ヒ請求權行使ノ手續トシテ拒絕證書ヲ作成シ且償還請求ノ通知ヲ發スヘキコトハ爲替手形ニ等シキモ呈示期間及ヒ請求手續ニ變例ヲ設クル點ニ於テ之ト異ナレリ

爲替手形ニ在リテハ手形ノ所持人ハ満期日又ハ其後二日內ニ手形ヲ支拂人ニ
 呈示シテ支拂ヲ請求スルコトヲ要シ其ノ一覽拂ノモノニ在リテハ法定又ハ振出
 人所定ノ呈示期間內ニ手形ヲ呈示スルコトヲ要スルニ小切手ニ在リテハ必
 法定期間內ニ之ヲ呈示セシメ振出人ヲシテ之ヨリ短カキ期間ヲ定ムルコトヲ
 得セシメヌ而シテ法定ノ呈示期間ヲ日附ヨリ十日トセリ(五三三)小切手ハ迅速
 ニ支拂ハルヘキモノナルヲ以テ十日トシ又法律ニテ既ニ十日トスレハ振出人
 ヲシテ之ヨリ短期ノモノヲ記載シ得セシムル必要ナシト見タルナリ所持人ハ
 十日內ニ小切手ヲ呈示セサルトキハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲ヌコトヲ
 得ヌ而シテ小切手ニハ引受人ナキヲ以テ此場合ニ小切手ノ所持人ハ手形上ノ
 權利ヲ悉ク喪失スヘシ

尙支拂ノ呈示ニ關シ爲替手形ト著ルシク異ナル所ハ爲替手形ハ必ス支拂地ニ
 於テ支拂人ニ呈示スルヲ要スルニ小切手ニ在リテハ所持人カ支拂人ノ加入シ
 タル手形交換所ニ之ヲ提出シタルトキハ支拂地ニ於テ支拂ヲ求ムル爲メ之ヲ
 呈示シタルト同一ノ效力ヲ有スルニ在リ此手形交換所ハ司法大臣之ヲ指定ス

ルコトトシ(五三三)三五三四ノ二既ニ東京手形交換所外六個ヲ指定シタリ
 小切手ノ所持人カ其支拂ヲ請求シテ之ヲ得サル場合ニハ前者ニ對シテ償還ヲ
 請求スルコトヲ得其手續トシテ満期日又ハ其後二日內ニ(一)支拂拒證書ヲ作
 ラシメ且(二)其直接ノ前者ニ對シテ償還請求ノ通知ヲ發セシム(四八七)之ヲ本則
 トシ此點ニ於テ爲替手形ニ等シキモ爲替作形ト異ナリテ小切手ニハ變例ヲ認
 メ拒絶證書ノ作成ニ代ヘ呈示期間內ニ支拂人ヲシテ小切手ニ支拂拒絶ノ旨及
 ヒ其ノ年月日ヲ記載セシメ且ツ之ニ署名セシムルカ或ハ手形交換所ニ於テ小
 切手ノ提出及ヒ支拂拒絶アリタル旨ヲ證明スレハ足ルトシタリ(五三四)是レ拒
 絶證書ハ公證人又ハ執達吏ニ非サレハ作成スルヲ得ヌシテ小切手ノ如ク迅速
 ヲ要スルモノニ適セス又小切手ニハ金額ノ大小ヲ問ハヌシテ無記名式ノ發行
 ヲ許シ隨テ小額ノモノ多キニ何レノ場合ニモ必ス拒絶證書ヲ作成セサルヘカ
 ラストスレハ前者ノ償還金額ヲ増シ手形金額トノ間ニ權衡ヲ得サルコトアル
 ヲ以テ此略式ノモノヲ許ヌナリ

平行線小切手

小切手ノ一ノ特色トスル處ハ其表面ニ二條ノ平行線ヲ畫キ其線内ニ銀行又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ記載シ得ルニ在リ(五三五)之ヲ平行線小切手ト稱シ又線引小切手或ハ横線小切手ト云フ初ハ多ク横線ナリシヲ以テ此名アルモ今ハ對角線ダイゴウゼンヲ用フルモノ多シ平行線内ニハ銀行又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ記載シ得ルニ止マリ其他ノ者ヲ記載スルモ無効ナリ之ヲ銀行ニ限リタルハ小切手ヲ授受スル者ハ多クハ銀行ナルニ由ルモノトシ之ニ依リテモ我商法モ亦小切手ハ特ニ銀行ト密接ノ關係ヲ有スルコトヲ認ムルヲ知ルヘシ

小切手ニ銀行ヲ記載スルコトヲ得セシメタルハ主トシテ其紛失盜失ニ備フル爲メナリ之ヲ記載シ得ル者ハ振出人又ハ所持人トシ一タヒ記載シタルトキハ支拂人ハ銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得即チ銀行ニ對シテ支拂ヲ爲スコトヲ得ヘク其他ノ者ニ對シテハ支拂ヲ爲スヲ要セス又銀行以外ノ者ニハ支拂ヲ爲スコトヲ得サルナリ隨テ小切手ハ或點ニ於テ銀行ヲ受取人トシタル記名式ノ手形ノ如ク爲ル所アリ

振出人又ハ所持人ハ平行線内ニ特定セル銀行ノ商號ヲ記載スルコトヲ得此場

合ニ於テハ支拂人ハ其銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得ヘク小切手ハ益嚴格ナル記名手形ノ如ク爲ルナリ其銀行ハ他ノ銀行ニ取立ノ委任ヲ爲スコトヲ得トシ之ヲ爲スニハ自己ノ商號ヲ抹消シテ他ノ銀行ノ商號ヲ記載スヘシ

第五編 海商

海商法ノ意義及ヒ範圍

海法ヲ廣ク解スルトキハ海ニ關スル法規ノ總稱ニシテ狭ク解スルトキハ海ニ特殊ナル法規ノ總稱ナリ後者ヲ換言シテ海法ハ海事ニ關スル法規ノ總稱ト云フコトヲ得

海法ハ海事ニ關スル法規ノ總稱ナリ海事トハ海ニ特殊ノ事項ナリ即チ直接ニ海アルカ爲メニ生スル事項及直接ニ海ニ關シテ存在スル事項ナリ例ハ海戰ハ海アルカ爲メニ起リ海運ハ海アルカ爲メニ生シ何レモ海事ナリ之ニ關聯シテ海軍ノ建設海船ノ構造等モ海事ト爲リ海軍ノ軍製造船所ノ建築等モ海事ト爲ル然レトモ一般ノ軍制ニハ陸軍ヲモ包含スルヲ以テ一般軍制ヲ海ニ特殊ノ事項ト云フヲ得ス又同シク船舶タリトモ河川ヲ航行スルモノノ取得ハ海事中ニ入ラス海ニ關スルモ海ニ特殊ノ事項ニ非サレハナリ海ニ特殊ナル事項ノ大部分ハ直接ニ海ヲ原因トシテ生ス故ニ海事トハ海ヲ原因トシテ生スル事項ト云

フモ或ハ足ランモ時トシテハ海ト因果關係ヲ有スルヨリモ寧ロ海ト共存ノ情況ヲ有スルニ止マリ而モ海法ニテ研究スルモノアルヲ以テ更ニ海ニ關シテ存在スル事項ヲ加ヘタリ例ハ船舶内ノ犯罪ハ船長ヲシテ臨檢セシメ船舶上ノ遺言ニハ特別ノ方式ヲ認ムルハ事故カ海上ニ生シタルカ故ニ特別ノ規定ヲ適用スルモノニシテ必スシモ海ヲ原因トシテ生シタル結果ト云ヒ難シ

海ノ何タルカハ法律學ニテ定義スルヲ得ス海洋學者及ヒ世人ノ海トスルモノヲ海ト認メ唯法規ノ必要上自然ノ海ヲ海ニ非ストシ又ハ自然ノ海ニ非サルモノヲ海トスルコトアルノミ而モ自然ノ現象ヲ變スルニ非スシテ通常海ニ關スル規定ヲ海ニ非サルモノニ適用シ或ハ其反對ノ事ヲ爲スニ過キス

海法ヲ分チテ公海法私海法及ヒ國際海法トス商法ヲ分チテ公商法私商法及ヒ國際商法トスルニ等シ而シテ其各自ノ定義ハ公法私法國際法ノ定義如何ニ依リテ異ナルコト亦商法ニ關シテ説明シタルニ等シ

公海法ハ國家ト個人ノ關係ヲ規定スル法規中海ニ特殊ナルモノノ總稱ナリ公海法ノ中ニハ憲法(憲法ヲ法ト假定ス)ノ規定アリ海軍ニ關スル天皇ノ大權ノ如

シ軍法アリ刑法アリ訴訟法アリ決シテ海事行政法ニ止マラサルナリ然ルニ從來歐米學者ノ海法ヲ説ク者ハ多クハ私海法ニ限局シ偶マ公海法ヲ説ク者モ專ラ海事行政法ニ限り獨逸公海法ノ大家故ベレンス氏ノ如ク特ニ公海法ナル著書ヲ出セル者モ尙其内容ニ於テハ行政法ヲ説クニ止マレルハ沿革ノ惰力ニ由ルモノトス

私海法ハ個人間ノ關係ヲ規定スル法規中海ニ特殊ナルモノノ總稱ナリ私海法ノ大部分ハ海商法ナルヲ以テ時トシテハ私海法即チ海商法ト云フコトアリ概説トシテハ可ナルモ正確ナル言ニ非ス私海法ハ凡テノ私事ニ關スルモ海商法ハ商事ニ止マレハナリ

國際海法ハ國家間ノ關係ヲ規定スル法規中海ニ特殊ナルモノノ總稱ナリ國際法ノ本質ニ關シテハ學者ノ議論一致セサルモ今ヤ國際法ノ存在ヲ認メ以テ公海法及ヒ私海法ニ對シテ國際海法ナル名稱ヲ設クルヲ可トス英米獨ノ學者ニハ此名稱ヲ認ムル者少ナキモ佛國學者ハ多ク之ヲ認メ國際海法ナル名稱ノ下ニ大著述ヲ爲ス者往々アリ國際海法中ニ入ルモノハ平時ニ於ケル公海ノ自由

領海ノ範圍軍艦ノ特權難破船ノ救助及ヒ戰時ニ於ケル局外領水沿岸砲擊封鎖捕獲戰時禁制品等ナリ

海商法ハ私海法中商ニ特殊ナル規定ノ總稱ナリ一括スルヲ通常トシ商法ヲ有スル國ニテハ必ス獨立ノ一編トス我商法ハ第五編トシ獨逸商法ハ第四編トシ佛國商法ハ第二編トス之ヲ獨立編トスルハ海商ニ關スル法規ハ他ノ商事ニ關スルモノトハ獨立ニ發達シ又其規定ハ一般ノ規定中ニ編入シ得サレハナリ私海法ヲ分テテ海商ニ關スルモノ及ヒ否ラサルモノト爲シ得レトモ其規定ノ大多數ハ海商ニ關シ又海商ニ關スル規定ヲ其以外ノ海事ニ準用シ得ルヲ以テ何國ニテモ一般海事ノ爲メニ包括的ノ法ヲ設ケスシテ海商法ヲ其儘ニ適用スルカ或ハ特別ノ法令ヲ以テ之ヲ準用ス學者ハ此情況ヲ見テ私海法ハ海商法ナリト云フコトアリ

海商法ヲ定義シテ海運ニ關スル法船舶ノ法海船ノ法若クハ商船ノ法ト云フ者アリ英國ニハ海商法ナクシテ商船法マーチャント・シップ・レーグレーションアルヲ以テ英國ノ學者ハ「シップ・レーグ」ノ法ト稱シテ説明ス海運ヲ爲サントスルニハ船舶ヲ艦裝シ船員ヲ乘組マシメ運送

契約ヲ爲スヲ要シ又海運ニ伴ヒテ海上保險及ヒ海損ヲ生スルヲ以テ海運ヲ中心トシテ海商法ヲ説明スルハ可ナルモ既ニ商法ニ於テ海商ナル廣キ名稱ヲ附セルニ殊更ニ海運ノ法ト云フトキハ海商法中ノ運送契約ノミヲ説明スルカ如ク見ユ我國ニ不適當ナリ船舶ノ法ト云フモ亦然リ

海商法ノ沿革及ヒ特質

海法ノ初メハ海商法ナルヲ以テ海法ノ沿革ト稱スルモ海商法ノ沿革ト稱スルモ同一ナリ又商法ハ海商法ヨリ發達シテ陸商法ニ及ヒ最後ニ海陸ヲ合シタル商法典ト爲リタルヲ以テ商法ノ沿革ノ初メハ同時ニ海商法ノ沿革ノ初メナリ海商法ノ沿革ヲ分テテ慣習法時代及ヒ法典時代トスルコト商法ノ沿革ニ於ケル如クスルモ可ナレハ又古代中世及ヒ近代ノ三期トシ古代ヲ伊太利ニ於ケル文明ノ復興マテトシ中世ヲ路易ノ海令マテトシ近世ヲ其以後ト爲スモ可ナリ何レニスルモ沿革中ニ掲クヘキ法規ハ商法ノ沿革ニ示シタル「ロード海法」コンシラト「法」オレロン「法」ウキスビー「法」等ナルヲ以テ再說セス獨リ路易ノ海令ハ近世ノ海法中最モ有名ニシテ諸國ノ現行海商法ノ模範ナルヲ以テ一言スル

佛王路易第十四世不世出ノオヲ以テ佛國ノ海商慣習ヲ統一シ且海政ヲモ統一シテ佛國ノ海事ヲ發達セシメント欲シ宰相コルベールノ獻策ヲ用キテ大海令ヲ編纂セシメタリ所謂一六八一年ノ海令ニシテ中ニ公海法私海法及ヒ國際海法ニ屬スル諸規定ヲ網羅シ余ノ海法ト稱スルモノノ理想ニ近シ空前ノ大海法ニシテ又絶後ノモノタリ此中海事契約ノ部分ハ佛國商法中ニ採用セラレ又公法的規定ハ多少ノ變更ヲ以テ今尙佛國ニ行ハル同令ハ嘗ニ佛國法ニ影響セルノミナラス世界ノ諸海國法ニモ影響スル所願ル大ナリ故ニ或學者ハ路易大王ハ兵力ヲ以テ歐洲ヲ征服スルヲ得サリシカト海令ヲ以テ天下ヲ風靡シタリト云ヒ他ノ學者ハ海令ハ路易大王ノ事業中最モ美ナルモノナリト贊セリ不幸ニシテ起草者ヲ知ルヲ得ヌ却テ百餘年後之ニ註釋ヲ下シタルヴランノ名ハ海令ト共ニ普ク人口ニ膾炙ス

路易ノ海令以後ノ沿革ハ各國ノ沿革ナリ佛國ハ海令中ノ海事契約ヲ商法ニ採用シテ海商編トシ時勢ニ伴フ改正ヲ施シテ今日ニ至レリ英國ニハ種々ノ商船

法アリテ現在ニ一括セルモノハ一八九四年ノ大成ノ商船法ナリ總テ七四八條ニシテ船舶船員海事資金等ヲ規定シ多クハ公法的ナリ一九〇六年ノ商船法ヲ以テ八六ヶ條ヲ追加ス私法的ノ規定ハ專ラ裁判例ニテ定マル獨逸ニハ一八九七年ノ商法第四編ニ海商法ヲ置キ而シテ船員ニ關スルモノハ商法中ニ入ルヲ不便トシ一九〇二年ノ海員法ニ規定シタリ我國ノ海商法ハ英佛獨ノ法令ヲ參照シテ編纂シタルモノナルヲ以テ上述ノ沿革ハ同時ニ我沿革、爲ルナリ我海商法ハ主トシテ獨逸ニ據リシモ又英佛ニ探ルトコロ多シ

一 海商法ハ私法ナリ

海商編ノ規定ノ大多數ハ私法的ナルヲ以テ海商法ハ私法ナリト云フコト商法ハ私法ナリト云フニ等シ昔時ハ海商法ハ殆ント悉ク慣習若クハ判決例ヲ集メタルモノナリシモ近來ニ至リテ多クノ公法的規定ヲ生シ時トシテハ公私分離シ難キモノアルニ至レリ殊ニ船舶及ヒ船員ニ關スルモノニ於テ然リトス隨テ獨逸ハ曾テ其商法中ニ船員ニ關スル規定ヲ置キタリシモ今ハ公法

的ノ規定ト合シテ獨立ノ海員法ヲ制定シ我國ニモ曾テ商法中ニ船舶ニ關スル多クノ規定ヲ設ケタレトモ後ニ行政法規ニ屬スルモノヲ分離シテ獨立ノ船舶法ヲ作り海商法ハ成ルヘク私法的ノモノナラシムルニ勉メタリ

二 海商法ハ特別法ナリ

海商法ヲ特別法ト稱スルハ海商ナル特別事項ヲ規定スルカ故ナリ海商法ヲ特別法ト稱スルハ商法ヲ一般法トスルコトニ對シ尙進ンテ民法ヲ一般法トスルコトニ對ス商法ニ商法全般ノ總則及ヒ商行為ノ總則ヲ置キ而シテ商行為ノ一タル海商行為ノ爲メニ一編ヲ置クトセハ海商法ハ商法ヲ一般法トシテノ特別法ナルコト明カナリ又海商法ハ商法中ノ一編ナルヲ以テ商法ヲ民法ニ對シテ特別法ト云フヨリシテ海商法モ民法ニ對スル特別法ナルコト明カナリ

海商法ノ特別法ナルコトヲ沿革ヨリ説明シ得ヘシ海商法ハ未タ民法商法ノ生セサルニ先チテ生シ民法ノ生シタル後ニ民法ヨリ獨立シテ存在スルモノナリ商法ノ生シタル後其中ニ編入セラレテ形式上ノ獨立ヲ失ヒタルモ實質

ニ於テハ決シテ商法ノ他ノ規定ト協調セヌ常ニ特立シテ存在シ獨逸ノ如ク之ヲ商法ニ編入スル國ニテモ商法學者ハ通常商法ト通シテ海商編ヲ講セヌ偶マ通シテ講スル者ハ特ニ題シテ商法及ヒ海商法ト云ヘリ

三 海商法ハ國際的ナリ

商法ハ國際的ナリト云ヘルコトハ一層強ク海商法ニ適合ス海外貿易ハ常ニ船舶ヲ以テ爲シ船舶ニハ萬國共通ノ原則ヲ適用セサレハ衝突救助等ノ場合ニ極メテ不便ナリ船舶ノ抵當共同海損海上保險等ニ關シテモ亦然リトスルヲ以テ海商法ハ其創生ノ際ヨリ國際的性質ヲ有シ後ニ各國ニ成文法ヲ生シ制定者ヲ異ニスルニ至リテモ規定ノ大綱ニ符合スル所多シ尙ホ一層之ヲ統一セント欲シテ學者實業家等ハ種々ノ萬國會議ヲ開キテ之ニ從事セリ既ニ議決セラレタルモノ中ニ八一八九〇年及ヒ一九〇三年ノ「ヨークアントウエルプ」ノ共同海損規則アリテ萬國ノ船舶所有者、保險者等ニ遵守セラレ各自ノ國法ヨリモ重視セラレ又萬國海法會議ハ既ニ船舶所有者ノ責任及ヒ船舶ノ抵當ニ關スル決議ヲ爲シ一九一一年十月更ニ之ニ關スル他ノ事項及ヒ割

拂運送費ヲ討議スル爲メ會議ヲ巴里ニ開ケリ就中吾人ノ注視スヘキハ一九一〇年白國ニ開ケル政府的ノ萬國海法會議ナリ其會議ニ於テ衝突及ヒ救助ニ關スル條約ヲ決議シ諸海國ノ委員ハ之ニ關印シタリ

第一章 船舶及ヒ船舶所有者

船舶ト船舶所有者ハ分チテ別章ニ規定スルヲ論理上當然トスルモ船舶ノ登記國籍等ノ事項ヲ商法ニ規定セサルトキハ船舶ニ關スル條項ハ殆ント二三ト爲リ之カ爲メニ一章ヲ設クルハ法典ノ體裁ニ於テ好マシカラサルヲ以テ所有者ノ規定ト合一セシメタリ

船舶

船舶トハ水ヲ航行スル一定ノ建設物ナリ
船舶ハ通常水面ヲ航行スルヲ以テ定義シテ水上ノ運送具ト云フ者アルモ航行ハ水上ニ限ラス又船舶ハ必スシモ運送ヲ爲スニ限ラサルヲ以テ余ハ廣ク定義シタリ航行ハ洋語ノ「ナヴィゲーション」ニシテ物カ他力ニテ自在ニ自動スル如キ情態ニ在ルヲ云フ船舶ニハ蒸汽力、電氣力、風力、人力等種々ノモノニ依リ動かサルルモノアルモ何レノ場合ニモ建設物ハ自ラ動ク外觀ヲ有シ漂流スルニ非ス如何ナル建設ヲ有スルトキハ船舶ト云ヒ得ルカハ法律ニテ限定セス曾テ英國

ニテ裁判上ノ争ト爲リ獨逸ニテ學者間ノ争ト爲リシモ到底各場合ノ認定ニ依
リテ決セサルヘカラス

船舶ノ航行スル水ニハ海水アリ非海水アリ後者ヲ國內水ト稱ス而シテ船舶カ
其何レヲ航行スルカニ依リテ區別シ海水ヲ航行スルモノヲ海船トシ國內水ヲ
航行スルモノヲ國內船トス同一船舶ニシテ海水及ヒ國內水ヲ航行スルモノハ
時期ニ依リテ區別シ或時期ニハ海船トシ他ノ時期ハ國內船トスルナリ同時期
ニ海水及ヒ國內水ヲ貫通シテ航行スルモノニ在リテハ何レノ航行ヲ主タル目
的トスルカニ依リテ之ヲ區別ス

船舶ハ其使用ノ目的及ヒ之ニ伴フ占有ノ所在ヨリシテ公船私船ニ區別スルコ
トヲ得公船トハ公權ノ行使ニ使用スル船舶ニシテ船舶ノ占有ハ殆ト常ニ公人
ニ在リ假ニ軍艦ヲモ船舶トセハ軍艦ハ公船ノ最モ重ナル例ナリ其他警察船稅
關巡視船密獵取締船等アリ私船トハ私權ノ行使ニ使用スル船舶ニシテ船舶ノ
占有ハ常ニ私人ニ在リ商船ハ私船ノ重ナル例ニシテ其他ニ遊覽船學術探檢船
病院船等アリ船舶ノ公私ヲ決スル標準ハ使用ノ目的及ヒ之ニ伴フ占有ニ在リ

テ所有ノ如何ニ在ラス故ニ國家ノ所有船ニシテ私船タルコトアレハ私人ノ所
有船ニシテ公船タルコトアリ

海商法ノ規定スルモノハ海商船ナリ商法ノ語ヲ藉リテ定義スルトキハ左ノ如
シ

海商船トハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スル船舶ナリ(五三八)

商法ニハ商船以外ノ船舶ヲ規定セサルハ理ノ當然ナルモ非商船タリトモ其繼
裝運用海損保險等ノ事ニ至リテハ殆ント商船ト區別シ得サルモノ多キヲ以テ
海商法ニハ總テノ私船ヲ規定スル主義アリ佛國商法ノ如シ然レトモ我國ハ理
論ノ正シキヲ欲シテ商法ニハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スル船舶
ノミヲ規定シ其以外ノ私船ニハ海商法ノ規定ヲ準用スルコトトシタリ

海商船ニハ日本船舶及ヒ其以外ノ船舶アリ後者ヲ分チテ外國船及ヒ無籍船ト
爲シ得レトモ無籍船ハ實際ニ殆ト存セサルヲ以テ簡易ノ爲メニ船舶ヲ日本船
及ヒ外國船ニ二分スルモ可ナリ商法ニ稱スル船舶ハ此二者ヲ包含ス商法ニハ
船舶所有者ハ特別法ノ定ムル所ニ從ヒ登記ヲ爲シ且船舶國籍證書ヲ請受クル

コトヲ要ストシ(五四〇)又登記ノ規定ハ二十噸未満ノ船舶ニハ之ヲ適用セスト
スルヲ以テ恰モ日本船舶ノミヲ規定スルモノノ如ク見ユルモ運送契約海損保
險等ノ規定ニ於テ船舶ト稱スルモノノ中ニハ内外ノ船舶ヲ含ミ爭ヲ生シタル
トキハ我裁判所ハ商法ノ規定ヲ凡テノモノニ適用シ唯或モノハ其規定ノ實質
上外國船ニ適用シ得サルコトアルノミ

日本船舶ノ何タルカハ船舶法ニ規定シ同法ハ左ノ船舶ヲ以テ日本船舶トス船
舶法一)

- 一 日本ノ官署又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶
- 二 日本臣民ノ所有ニ屬スル船舶
- 三 日本ニ本店ヲ有スル商會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員合
資會社及ヒ株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員株式會社ニ在リ
テハ取締役ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶
- 四 日本ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其代表者ノ全員カ日本臣民ナ
ルモノノ所有ニ屬スル船舶

海商船ニシテ全ク商法ノ適用ヲ受ケサルモノハ端舟其他櫓權ヲ以テ運轉シ又
ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟ナリ是レ商法ハ專ラ海洋ヲ航行スル船舶ニ
關シテ生シタル特別規定ヲ集ムルモノニシテ自ラ小舟ニ適セサレハナリ以下
商法ヲ適用スル海商船ヲ船舶ト略稱ス

船舶ハ動産ナリ然レトモ二様ノ點ニ於テ普通動産ト異ナル所アリ

- 一 船舶ハ國民ト等シク國籍住所及ヒ名稱ヲ有ス英國船等ト稱スル如シ國籍
ナキ船舶ハ屢海賊ト看做サレテ追窮セラレヘシ船舶ニハ船籍港アリテ其船
舶ニ關スル事項ノ本據ト爲リ恰モ人ノ住所ニ等シ又船舶ニハ必ス名稱ヲ附
シテ他船ト區別セシム然レトモ此ノ如キコトハ多クハ行政ノ必要ヨリ出ツ
ルモノトシテ商法ニ深ク説明スルヲ要セヌ

- 二 船舶ハ不動産ニ類スル所アリ價額ノ貴キト容積ノ大ナルヨリシテ家屋ニ
類シ地上ノ建築物ニ比シテ水上ノ建築物ト稱ス之ニ伴ヒテ法律ノ規定ニモ
兩者相類スルモノヲ生シ船舶ニハ登記ヲ爲サシメ又抵當權ノ目的ト爲ルコ
トヲ許シ強制執行共有管理等ニ關シテモ亦不動産ノ規定ヲ準用スルコト多

シ故ニ或法律ニ船舶ハ不動産ト看做ストシタルコトアレハ又船舶ハ動産ナ
レトモ不動産ノ規定ヲ準用ストシタルコトアリ

船舶ハ合成セル單一物ナリ獨逸ノ學者ハ物ヲ三分シ動物ノ如キ獨立ノ單一物
建造物ノ如キ合成ノ單一物及ヒ書庫ノ如キ聚合物トシ船舶ヲ合成單一物ノ一例
トセリ何カ船舶ヲ合成スル物ナルカハ場合ニ依リテ異ナルヘシ理論トシテ云
フトキハ合成ノ要素物タルニハ船舶ヲ離レテモ獨立シテ特殊ノ一物タリ得ル
モノナラサルヘカラス汽船ニ於ケル機關ノ如シ龍骨ノ如キモノハ船舶ヲ離レ
テ龍骨ト爲リ得サルヲ以テ合成ノ要素物ニ非ス

船舶ニハ屬具ノ附隨スルヲ常トス屬具ハ船舶ノ一部ヲ爲サス船舶以外ニ存シ
テ其用ヲ爲スモノナリ民法ニ稱スル從物ナリ其何物カ之ニ當ルカハ船舶ノ種
類ニ依リテモ異ナレハ場合ノ情況ニ依リテモ異ナルヘシ法律ニハ船舶ノ屬具
目錄ニ記載シタルモノハ其從物ト推定ス(五三九)羅針盤端艇等ハ其例ナリ

船舶ノ取得

船舶ハ一般動産ト同一ノ方法ニテ之ヲ取得スルコトヲ得即チ賣買、交換、相續遺

贈等ニ依リテ取得シ得ルナリ就中普通ノモノヲ製造及ヒ賣買トス

船舶ヲ製造セシムルニ際シ注文者自ラ材料ヲ供スルコトアレハ造船者ヲシテ
其材料ヲ以テ製造セシムルコトアリ製造ハ注文者ヲシテ船舶ヲ原始取得セシ
ムル方法ナレトモ其實跡賣買ニ類ストシ英國ニテハ製造ヲ大賣買ト云ヒ製造
者ヨリ注文者ニ交付スル製造證書ヲ大賣買證書ト云フコトアリ船舶カ注文者
ノ所有ニ歸スル時期ハ契約ニ依リテ定マリ契約ナキトキハ慣習ニ依リテ定マ
ル曾テ慣習區々タリシ爲メ種々ノ爭ヲ生シタリシモ今ヤ大體ニ定マリテ船舶
カ完成シテ注文者ヨリ反對給付ヲ爲シタル時ニ移轉スルモノトシ大船ニ在リ
テ割拂ヲ爲ストキハ其拂込ニ應シテ既成部分ノ所有權ハ注文者ニ移リ行クモ
ノトス

船舶ヲ賣買ニ因リテ取得セシムルコト他ノ動産ニ於ケルニ等シキモ價格ノ大
ナルヨリシテ所有權移轉ノ時期ヲ他ノ動産ト異ニスル國アレハ或ハ賣買ノ成
立若クハ證據ニ書面ヲ必要トシ法律ニ其作成ヲ命スル國アル然レトモ我國ハ
船舶ノ賣買ニ關シテ何等ノ特別規定ヲモ爲サス

船舶ヲ讓渡シタルトキハ其從物ヲモ讓渡シタルモノトス從物ハ主物ノ處分ニ從フトスル原則ノ適用ナリ船舶カ航海中ニ讓渡サレタル場合ニハ其航海ニ因リテ生ズル損益ハ讓受人ニ歸スヘキモノトス(五四二)是レ一ハ航海ニ因リテ生ズル損益ノ性質ヨリ來リ又一ハ當事者ノ意思ノ推測ナリ航海ニ因リテ生ズル利益ノ最モ重ナルモノハ運送賃ナリ運送賃ハ不可分タルヲ原則トシ航海中ニ船舶ヲ讓渡シタル場合ニ讓渡前ノ部分ヲ讓渡人ニ歸シ讓渡後ノ部分ヲ讓受人ニ歸スルヲ不適當トシ而シテ何レカ一方ニ歸スヘキモノトスレハ運送賃ハ運送ニ對スル報酬ナルヲ以テ運送完成ノ際ノ船舶所有者ニ歸セシムルヲ至當トス而シテ既ニ運送賃ニ關シテ此ノ如クセハ救助料其他ノモノニ關シテモ歸屬スル所ヲ一ニスルハ便ナルヘク利益ノ歸屬ヲ讓受人トスレハ損失ヲモ之ニ歸スルヲ至當トシ損益共ニ讓受人ニ歸ストシタルナリ損失ニ屬スルモノハ航海費船員ノ給料航海繼續ノ修繕費等ナリ此規定ハ固ヨリ公益ニ關セサルヲ以テ特約ヲ以テ變更スルコトヲ得

船舶カ讓渡以外ノ原因ニ依リテ移轉スル場合ニモ從物タル屬具ハ之ニ伴ヒテ移轉ス然レトモ航海ニ因リテ生ズル損益ハ然ラス商法ニハ移轉ト讓渡トヲ分チ移轉ノ方法ニハ種々アリトスルニ其中ノ讓渡ノ場合ニノミ此損益ヲ讓受人ニ歸セシムルコトヲ明言ストセハ其他ノ場合ニハ然ラヌト解スルハ至當ナリ相續ノ場合ニハ損益ハ相續人ニ歸スルコト通常ナランモ其他ノ場合ニハ必スシモ然ラヌ一々其情況ニ從ヒテ之ヲ決セサルヘカラス余ハ寧ロ改メテ廣ク移轉トシ凡テノ場合ニ損益ヲ船舶ノ取得者ニ歸セシムルヲ原則トスルヲ可ト信ス

船舶ノ所有權ハ相續遺贈等ノ事實及ヒ賣買贈與等ノ合意ニ因リテ直チニ取得者ニ移轉スルモ之ヲ第三者ニ對抗スルニハ登記ヲ爲シ且船舶國籍證書ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス(五四一)船舶ハ高價ナルヲ以テ成ルヘク所有權ノ所在ヲ明確ニスル必要アリ又船舶所有者ニ非サル者カ之ヲ指揮シテ所々ニ航行スルヲ以テ所有者ノ何人タルカヲ明カニ知ラシムル必要アリ尙行政取締上ノ必要モアラシ國籍證書ニ記載セシムルハ平時ノ課稅戰時ノ取扱等ニ必要ナルニ在リ一言センニ舊規定ニハ船舶所有權ノ讓渡トシタルヲ以テ讓渡ノ對抗ニハ此手

續ヲ要スルモ讓渡以外ノ場合ニハ之ヲ要セストノ解釋ヲ生シタリ然ルヲ改正
規定ニテ廣ク移轉トシ以テ凡テノ場合ニ此手續ヲ要スルコトヲ明カニス

船舶ノ差押

船舶モ普通ノ動産ト等シク債務ノ爲メニ差押ヘラレ事急ヲ要スル際ニハ假差
押ヲ爲サル然レトモ發航ノ準備ヲ終リタル船舶ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ得
ス(五四三)是レ發航準備ヲ終リタル船舶ヲ差押フルトキハ(一)積荷ノ所有者旅客
其他ノ關係人ニ重大ノ不利益ヲ醸シ(二)船舶所有者ヲシテ得ヘカリシ利益ヲ失
ヒ且損害賠償ノ責ヲ負ハシムルニ至リテ差押人ニモ不利益ト爲リ(三)既ニ發航
準備ヲ終リタルモノヲ差押フルトキハ屢公益ヲ害スルヲ以テナリ但船舶カ發
航ヲ爲ス爲メニ生シタル債務ニ付テハ發航準備ノ後ニモ其船舶ヲ差押又ハ假
差押フルコトヲ得

船舶カ發航準備ヲ終リタルカ否カニ依リテ差押ノ許否ヲ決ストセハ如何ナル
時ヲ以テ發航準備ヲ終リタルモノト見ルカハ當事者ノ利害ニ大關係ヲ有ス然
レトモ準備ノ終否ハ畢竟ハ事實問題ナリ

船舶ノ發航トハ何ソヤ若シ發航港ハ一個ニシテ而モ船積港ト同一ナルトキハ
發航トハ其發航港ヲ發スルモノナルコト明カナレトモ船舶カ最初港ヨリ最終
港ニ着スル間ニ屢寄港シテ其度毎ニ荷物ヲ積込ミ又ハ之ヲ陸揚スルトキハ各
港ヲ發スル毎ニ發航ナルヤ或ハ最初港ヲ發スルノミヲ發航トスルカノ問題ヲ
生ヌ之ニハ三說アリ一ハ發航トハ總テノ發航ヲ指シ最初ノ發航ニ止マラスト
云ヒ其理由トシテ我商法ニハ發航到達等ノ文字ヲ一定ノ意義ニ用ヒスシテ或
時ハ各場合ノ發航到達トシ或時ハ最初及ヒ最終ノモノトセリ又或時ハ現實ノ
最終港ヲ到達港ト云ヒ或時ハ豫定ニ止マルモノヲ到達港ト云ヘルヲ以テ此等
ノ文字ハ各場合ニ適スル如ク解セサルヘカラス而シテ茲ニ發航ト云ヘルハ各
場合ノ發港ト見ルヘシ法律ニハ廣ク發航ト稱シテ最初ノ發航ト云ハス故ニ此
ク限定スル必要ナク又或種ノ債權ニ關シテ此ノ如ク解釋スルトキハ全ク差押
權ヲ與ヘサルト等シクナラント論セリ此說ノ結果トシテ船舶ハ最初ノ發航港
ニテ差押ヘラレサルモ次ノ港ニテ差押ヘラルコトアルヘシ他ノ說ハ船舶ノ航
海ニハ發航港又ハ到達港ハ唯一アルノミ中間港ニ入りテ再ヒ航海ヲ爲スハ航

海ノ繼續ニシテ發航ニ非スト云ヘリ此說ノ結果トシテ債務ヲ負ヘル船舶モ一
 タヒ發航スルトキハ最早差押ヲ免カレ中間港ニ入りテ碇泊スルモ債權者ハ之
 ヲ差押ナルコトヲ得サルナリ更ニ第三ノ說ニ曰ク法文ニ差押及ヒ假差押ハ發
 航ノ準備ヲ終ハリタル船舶ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ得スト云ヘル發航ハ債
 權者カ差押ヲ爲シ得ルニ至レル後ノ發航ナリ債權者ハ船舶ノ發航準備前ニ之
 ヲ差押ヘ得ルニ差押ヘサルトキハ自己ニ懈怠アリトシテ最早差押ヲ爲シ得サ
 ルモ發航準備後ニ初メテ差押ヘ得ルニ至ルモノトスレハ其後ノ港ニ於テモ發
 航準備前ニハ船舶ヲ差押ナルコトヲ得ト日本辯護士協會ノ意見ハ最後ノモノ
 ナリ此ノ如ク解スルトキハ本條第一項ニ稱スル發航ト第二項ニ稱スル發航ト
 ハ同意義ト爲ルナリ

何レノ說ニモ理由アルモ立法ノ精神ヨリ推ストキハ此點ニ在リテハ法律ハ航
 海ノ意義ニ關シテハ船舶主義ヲ採リシモノトシ最初港ヲ發スル場合ノミヲ發
 航ト見ルモノト解スヘシ果シテ此ノ如クナルトキハ第一項ト第二項ニ云ヘル
 發航ノ文字ハ稍意義ノ異ナルモノト爲レナリ而モ己ムヲ得サルヘシ第二項ノ

發航ハ凡テノ港ノ發航ト解セサルヘカラス發航ノ爲メニ生シタル債權ヲ有ス
 ル者ニ與フル權利ノ性質ヨリシテ然リ或者カ船舶ノ發航準備ノ爲メニ修繕ヲ
 爲スカ石炭ヲ供給シタルトキハ如何ナル港ニ在リテモ其船舶カ其港ヲ發スル
 マラハ之ヲ差押ナルコトヲ許サルヘカラス此點ニハ有力ナル異論ナシ

商法ニハ債權者ニ差押及ヒ假差押ノ權アルコトヲ規定スルニ止マリ其方法ヲ
 示サルヲ以テ疑義ヲ生シ殊ニ假差押登記ノ許否ニ關シテ爭ヲ生ス之ヲ許サス
 ト云フ者ハ我國ハ登記ニ限定主義ヲ採リ登記ヲ許スヘキ場合ニハ之ヲ明示ス
 ルハ船舶ノ假差押ニハ登記ヲ許ス旨ノ規定ナキヲ以テ登記ヲ許サスト云ヘリ
 一理アレトモ民事訴訟法ニ假差押ノ執行ニ付テハ強制執行ニ關スル規定ヲ準
 用ストセルヲ以テ之ヨリシテ不動産ニ關スル規定ヲ準用シ以テ其登記ヲ許ス
 ヘシ又若シ現行法ノ儘ニテハ如何ニスルモ許シ難シトスレハ訴訟法若クハ登
 記法ヲ改正シテ之ヲ許スヘシ

船舶所有者

商法ニテ船舶所有者ト云フハ海商船ノ所有權ヲ有スル者ナリ我國英佛等ニハ

特ニ此意義ノ所有者ヲ示ス語ナキモ獨逸ニハ「レール」ナル法語アリテ利益ヲ得ル目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スル船舶ノ所有者ヲ意味シ他ノ船舶ノ所有者ト區別スルニ極メテ便利ナル文字ナリ

船舶所有者ト爲リ得ル者ニ制限ナシ昔時ハ私人ノ漫リニ船舶ヲ有スルヲ禁シ或ハ海外貿易船ノ數ヲ限定シタルコトアリシモ今ハ船舶所有者タルニハ何等特別ノ資格ヲ要セス又其所有者ノ自然人タルト法人タルトヲ問ハス

日本船舶ヲ所有スル者ノ資格ハ船舶法ニテ定マリ即チ日本人及ヒ日本法人ナリ而シテ日本法人ニ關シテハ特ニ規定スル所アルハ前ニ述ヘタリ

日本船舶ノ所有者ノ最先ノ義務ハ其船舶ヲ登記シ且船舶國籍證書ヲ請受クルニ在リ但總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶ハ殆ント普通ノ動産ニ等シク又遠ク本國ヲ離レテ航行スルモノニ非サルヲ以テ之ヲ要セス此規定ニ關シ商法ニハ廣ク船舶所有者ト云ヒ外國人ヲ含ム如キモ特別法ハ之ヲ日本船舶ニ限り又日本船舶以外ノモノニ日本ニ於テ登記シ日本ノ國籍證書ヲ受ケシムル理由ナキヲ以テ適用ハ必ス日本船舶ノ所有者ニ限ルコトト爲ルナリ

船舶所有者ハ自ラ其船舶ヲ航海用ニ供シテ利益ヲ得ルヲ通常トス他人ニ賃貸シテ賃貸料ヲ得ルニ止マリ或ハ之ヲ無償ニテ賃與スルコトアルモ通常ハ自ラ利用シ其利用方法ノ最モ重ナルモノハ海運ナリ故ニ船舶所有者ヲ海上運送人ト云フコトアルモ運送人ト云フトキハ專ラ運送契約ノ當事者ノ如ク爲リテ狹隘ト爲ルヲ以テ廣ク船舶所有者ト稱スルヲ可トス船舶所有者ハ積荷ノ所有者ニ對シテハ運送人ト爲リ船員ニ對シテハ雇主ト爲リ保險者ニ對シテハ被保險者ト爲ルナリ

船舶所有者ノ責任制限

船舶所有者カ他人ト法律行爲ヲ爲ス場合又ハ自己ノ故意過失ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ無限ニ其責ヲ負フハ一般人ニ等シ此外船舶所有者ハ船長カ法定權限内ニ於テ爲シタル行爲ニモ責ヲ負ヘハ船員カ其職務ヲ行フニ當リ他人ニ加ヘタル損害ニ付テモ責ヲ負フ前ノ場合ハ一般ノ規定ニ等シク即チ代理人ノ行爲ニ付キ本人責ヲ負フナリ後ノ場合ハ稍民法ノ一般規定ト異ナル所アリ民法ニテハ雇人カ他人ニ加ヘタル損害ノ責任ヲ雇主ニ負ハシムルハ全

然主觀主義ニ依ルモノトシ從テ雇主ニ過失ナク雇主カ雇人ノ選任監督ニ注意
スルトキハ全ク其實ヲ免カルモ海商法ニ於テハ然ラス客觀主義ヲ採リ即チ船
舶所有者ニ過失ナク彼カ船員ノ選任監督ニ注意スルモ尙船員ノ加ヘタル損害
ヲ賠償スル責アリトシ唯自己ニ過失ナキトキハ其責任ヲ有限トシ自己ニ過失
アルトキハ無限トスルノミ(五四四)

海商法ハ船舶所有者ヲシテ船員ノ行爲ニ付キ責任ヲ負ハシム然レトモ其責任
ヲ常ニ無限トスルヲ酷トシ或場合ニ限り有限トス有限責任ノ理由ハ曰ク船舶
所有者ハ陸上ニ在リテ海上ノ船員ヲ監督スルコト頗ル困難ナリ曰ク或種ノ船員
ハ所有者ノ隨意ニ選任シ得ルモノニ非スシテ必スヤ一定ノ資格者中ヨリ選任
スヘク既ニ選任ノ初メニ限定セラル所アリ尙一國ノ海商ヲ保護スル爲メナリ
又沿革上特別ノ情況アリ

船舶所有者ノ責任ヲ制限スル場合ハ國ニ依リテ異ナレリ我國ハ尤モ廣クスル
主義ヲ採リテ左ノ二場合トス

甲 船長カ其法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行爲

船長ノ法定權限ハ船籍港ニ於テハ海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲スコトニシテ船
籍港外ニ於テハ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲
スコトナリ船籍港ニ於テハ海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲スコトニ限り而シテ船
員ノ權利ニシテ雇傭契約ニ因リテ生スルモノニハ責任制限ノ規定ヲ適用セ
サルヲ以テ本間ノ適用ハ專ラ船籍港外ニ於ケル行爲ト爲ルヘシ船長ノ行爲
ニハ適法ノモノアリ不適法ノモノアリテ法定權限内ノ行爲ノ中ニハ文字上
何レヲモ合ムモ不適法ノ行爲ニ因ル責任ハ別ノ方面ヨリ觀察スルヲ以テ茲
ニ云フモノハ多クハ適法ノ行爲ト爲リ專ラ船長ノ代理行爲ニ關ス例ハ船長
ノ取結ヒタル運送契約船長ノ契約シタル船舶ノ修繕石炭ノ購買等ナリ行爲
ノ内容カ船長ノ法定權限内ニ屬スルモノタリトモ若シ船舶所有者カ特ニ船
長ニ委任シテ之ヲ爲サシメタルトキハ其結果ニ對シテ無限ノ責任ヲ負フヘ
キモノトス

乙 船員カ其職務ヲ行フニ當タリ他人ニ加ヘタル損害

船員ニハ船長ト海員アリ何レモ自己ノ職務ヲ行フニ當タリ他人ニ損害ヲ加

ヘタルトキハ自ラ賠償ノ責ヲ負フモ被害者ヲ保護スル爲メ船舶所有者ヲシテ亦其損害ニ付キ責ヲ負ハシムルナリ此中ニ入ルモノノ多クハ船員ノ不法行爲ニ關ス例ハ船員ノ過失ニ因リテ他人ノ船舶ヲ沈没セシメ或ハ遺棄物ヲ破壊スルカ如シ船員カ積荷ニ加ヘタル損害中ニハ此中ニ入ルモノアレハ前ノ場合ニ入ルモノアリ因ニ云フ水先人ハ船員ニ非ス

以上ノ場合ニハ船舶所有者ノ責任ハ制限セララル海商法ノ原則トスルモ海商法ハ更ニ之ニ例外ヲ設ケ左ノ場合ニハ船舶所有者ヲシテ無限責任ヲ負ハシメ以テ民法ノ大原則ニ復歸セシム

- 一 船舶所有者ニ過失アリタルトキ 此場合ニ所有者カ無限責任ヲ負フハ當然ナリ
- 二 權利カ雇傭契約ニ因リテ生シタル船員ノ權利ナルトキ 此場合ニ船舶所有者ヲシテ無限責任ヲ負ハシムルハ船員ヲ保護スル爲メナリ船員ニハ成ヘテ給料ノ全額ヲ得セシメサルヘカラス又其額ハ小ナルヲ以テ之ニ對シテ無限責任ヲ負ハシムルモ船舶所有者ニ酷ナラス船員ノ食料送還費等ニ關シテ

モ亦然リ然レトモ船員以外ノ資格ニ於テ有スル權利ニ關シテ特ニ船員ヲ保護スヘキ必要ナシトシ無限責任ヲ雇傭契約ニ因リテ生シタル權利ニ限リタリ

船舶所有者ノ責任ノ制限ハ船舶所有者ハ船舶運送貨損害賠償ノ請求權及ヒ報酬ノ請求權ヲ債權者ニ委付シテ其責ヲ免カルニ在リ船舶ノ中ニハ屬具ヲ包含シ運送貨ハ既收及ヒ未收ノモノヲ含ム未收ニ限ルト解スヘキ理アルモ成ヘク最近ノ傾向ニ協ハシムル爲メニ兩者ヲ含ムト解スルヲ適當トス船舶所有者カ其船舶ニ付キ有スル損害賠償ノ請求權トハ其船舶カ航海中他ノ船舶ニ衝突セラレタル場合ニ有スル損害賠償ノ請求權過失アル船員ニ對シテ有スル求償權等ニシテ報酬ノ請求權トハ航海中ニ他船ヲ救助シテ得ヘキ報酬ノ如キモノナリ船舶所有者ハ其責任ヲ免カレント欲スルトキハ委付スヘキモノヲ悉ク委付スルヲ要ス決シテ其中ノ或モノヲ委付シ他ノモノヲ留保スルコトヲ得ス

船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニモ保險金額ノ請求權ヲ委付スルヲ要セス法律ニハ船舶所有者ノ委付スヘキモノヲ列舉シテ四種トセルニ保險金額ノ請求權ハ

船舶ニ非ス運送貨ニモ非ス之ヲ損害賠償ノ請求權ト云フ者アルモ損害賠償ハ
 專ラ權利ノ侵害ニ對シテ爲スヘキモノニシテ法律行爲ノ履行トシテ爲ス損害
 ノ填補ヲ合マス又報酬ノ請求權ト云フ者アレトモ保險金額ハ保險契約ノ履行
 トシテ請求スルモノニシテ報酬ニ非ス故ニ保險金額ハ委付スルヲ要セサルナ
 リ立法論トシテモ委付セシメサルヲ可トス保險金額ハ保險料ノ支拂ニ對シテ
 支拂フモノニシテ航海ヨリ生スルニ非ス又保險金額ヲモ委付セシムルトキハ
 船舶所有者ハ或事故ニ關シテハ保險ヲ付シ得サルト同一ノ結果ヲ生スヘク又
 保險金額ヲモ委付セシムルトキハ船舶ヲ保險ニ付セサル者ハ法文ニ列舉セル
 モノヲ委付スレハ足ルニ保險ニ付シタル者ハ其外ニ保險金額ヲモ委付セサル
 ヘカラサルコトト爲リテ兩者ノ間ニ權衡ヲ失ス故ニ我大審院ハ曾テ(三四年五
 月)判決シテ保險金額ノ請求權ヲモ委付セサルヘカラストシ後更ニ聯合會議ヲ
 以テ同趣旨ノ判決ヲ再ヒシタルモ余ハ之ニ反對ス
 我國ノ責任制限ノ方法ハ前述ノ如クニシテ委付主義ナルモ他ノ法律ハ然ラヌ
 責任制限ノ方法ニ關スル文明國ノ主義ヲ大別シテ四トス

- 一 海産主義 又執行主義ト稱シテ獨逸ニ採用セラル獨逸ニテハ船舶所有者
 ノ財産ヲ二分シテ海産及ヒ陸産トシ或事項ニ關シテハ海産ヲ以テ責任ヲ負
 ハシム船舶所有者カ人的ニ負フ義務ヲ海産ノ委付ニ依リテ免カルニ非スシ
 テ直ニ海産ヲ以テ責ヲ負フナリ
- 二 委付主義 選擇委付主義ニ對シテ絕對委付主義ト稱ス佛國及ヒ佛國法系
 ノ國ニ行ハレ我國モ亦之ニ屬ス此主義ニ在リテハ船舶所有者ハ人的ニ無限
 ノ責任ヲ負ヒ委付ニ依リテ之ヲ免カルナリ委付ヘキモノハ多數國ニ於テ
 大同小異ナリ必ス法定ノモノヲ委付セシムル國ト金錢ヲ以テ之ニ代フルコ
 トヲ得セシムル國アリテ後者ハ自ラ一ノ主義ヲ爲セリ
- 三 選擇委付主義 法定ノモノヲ委付スルト之ニ等シキ代價ヲ支拂フト船舶
 所有者ノ選擇ニ任スルモノナリ絕對委付主義ニ在リテハ船舶所有者カ隨
 意ニ其船舶ヲシテ更ニ航海ヲ爲サシムルカ或ハ其船舶ヲ賣却スルトキハ最
 早委付權ヲ行フヲ得サルモ此主義ニ在リテハ船舶ノ代リニ代價ヲ支拂ヒ得
 ルヲ以テ之カ爲メニ委付權ヲ失ハス從テ船舶所有者ニ便利ナルノミナラス

債權者ニモ便利ナルヲ以テ法律ニハ絕對主義ヲ採用セルニ解釋ヲ以テ選擇主義ト等シク爲サントスル者アリ尙選擇主義ノ中ニハ一定ノ金銀船價ノ如シヲ支拂フヲ本則トシ之ヲ欲セサルトキハ船舶ヲ委付シテ其實ヲ免カレ得トスルモアリ米國ノ如シ

四 噸數主義 又金銀主義ト稱シ英國ニ採用セラル船舶所有者ヲシテ一定ノ金額ヲ支拂ヒテ責任ヲ免カレシメ其金額ハ船舶ノ大小ニ依リテ定ム現在ニ英國ニテ採用スル所ハ船舶ノ總噸數一噸毎ニ所有者ノ責任ヲ八磅マテトシ損害カ人ノ身體生命ニ關スルトキハ十五磅マテトスルニ在リ例ハ一千噸ノ船舶カ他船ト衝突シテ損害ヲ加フルトキハ其損害ハ如何ニ大ナルモ所有者ヲシテ八千磅ノ賠償金ヲ支拂ヒテ其實ヲ免カレシムル如シ

此主義ニテハ船舶カ滅失毀損スルモ船舶所有者ハ法定ノ責ヲ負フヲ以テ委付主義ニ比シテ酷ナリ殊ニ航海ノ終ニ於テ航海中ニ生シタル總テノ損害ニ付キ此程度ノ責ヲ負フニ非スシテ事故毎ニ之ヲ負フヲ以テ多クノ事故ヲ生スルトキハ責任ハ殆ント無限ト爲ル故ニ英國ノ船舶所有者ハ現行法ヲ改メ

テ大陸法ノ如クスルコトヲ屢請願シタリ

今ヤ世界ニ此四主義アリテ異國ノ船舶間ニ賠償問題ヲ生シタル場合ニ不便ナルヲ以テ萬國海法會議ハ最先ニ此統一ヲ企テタリ其中ニ絕對委付主義ト選擇委付主義トハ何レモ委付主義ナルヲ以テ統一シ易ク海產主義モ亦實際ニ於テ委付主義ニ合スルハ困難ナラストシ三個ノ主義ハ一ト爲リ大陸主義ト稱セラレテ英國ノ噸數主義ニ對照セラル而シテ統一案ノ主義ハ數回ノ會議ニ於テ種々ニ變更セラレタリ或時ハ委付主義ヲ採リ又或時ハ選擇主義ヲ採リタルモ最近ノ會議ニ於テハ大陸學者等ハ海產主義ニ一致シテ金銀主義ニ對抗セリ而モ未タ統一ノ實ヲ舉タルヲ得ヌ本年十月又之ニ關スル會議ヲ巴里ニ開キテ討議シタリ一八九九年ノ倫敦會議ニ於テ英國ノマクアーサー氏ハ併用主義ノ案ヲ出シテ通過シタルモ後ニ變更セラレタリ而モ其主義ハ統一ニ一步ヲ進ムルモノトシテ白耳義ハ一九〇八年二月十日ノ法律ヲ以テ之ヲ採用シ債務者ハ海產ヲ委付シテ責任ヲ免カルカ航海ノ終ニ於ケル船價ヲ提供シテ責任ヲ免ルカ或ハ各航海毎ニ一噸二百法ヲ支拂ヒテ實ヲ免カルカヲ選擇スルコトヲ得トシタ

リ茲ニ至リテ現實ノ立法ニ併用主義ナル新主義ヲ生シタリ
之ヨリ進ンテ委付ノ時間方式效力等ヲ略説スヘシ

船舶所有者カ免責委付ヲ爲シ得ル時ノ始メハ船舶カ航海ヲ終ハリタル時ニシ
テ其時ノ終ハリハ其後相當ノ時ナリ所有者ハ航海ヲ繼續スヘキ義務ヲ負フヲ
以テ航海ヲ繼續シ得ルニ船舶ヲ委付シテ之ヲ中止スルヲ得ス必ス續航セサル
ヘカラス而シテ續航中更ニ損害ヲ生スルモ航海ノ終ハリニ於ケルモノヲ委付
スレハ可ナリ若シ船舶カ到達港ニ至ルニ先チテ沈没スルトキハ最早船舶ノ委
付ハ不能トシテ殘存スルモノノミヲ委付スルハ可ナリ又船舶所有者ハ航海ノ
終リニ委付スルコトヲ得ルモノトシ必スシモ常ニ直チニ委付スルヲ要スルニ
非ス法律ニ船舶所有者カ債權者ノ同意ヲ得スシテ更ニ航海ヲ爲サシメタルト
キハ委付權ヲ行フコトヲ得ス(五四五)トセルニ依リテモ之ヲ知ル故ニ注文ニ船
舶所有者カ航海ノ終ニ於テ船舶等ヲ委付シテト云ヘルハ航海ノ終リニ於ケル
狀況ノモノヲ委付シテト解スヘシ之ヲ委付權行使ノ始期トシ何時マテ此權利
カ存在スルカハ注文ニ明カナラス故ニ債務ノ存スル間トモ解シ得ラルルモ寧

口相當ノ時期トシ場合ニ依リテハ短カク場合ニ依リテハ長ク爲シ得ル餘地ヲ
存スヘシ

船舶所有者ハ航海ノ終ハリニ於ケル狀況ニ於テ委付ヲ爲スコトヲ要ス故ニ自
己ノ行爲ニ因リテ物ヲ委付シ得サルニ至ラシメタルトキハ委付權ヲ失フ法律
ニ船舶所有者カ債權者ノ同意ヲ得スシテ更ニ航海ヲ爲サシメタルトキハ委付
權ヲ行フコトヲ得ストシタルニハ此理由モアリ尙所有者ノ隨意ニ航海ヲ爲サ
シムルトキハ船舶ヲ危地ニ置キテ債權者ノ擔保ヲ薄弱ナラシメ又債權者ヲシ
テ船舶ノ現狀ヲ調査スルコトヲ得サラシムル點モアリ而シテ余ハ同一ノ理由
ニ基キ所有者カ船舶ヲ保險者ニ委付シタル後ハ最早免責委付權ヲ行フヲ得ス
ト解ス

委付ハ單獨行爲ナリ船舶所有者ノ行爲ノミニ因リテ直チニ效力ヲ生スヘキ理
ナリ然レトモ委付ノ相手方ハ總テノ債權者ニシテ彼等ニハ悉ク委付ヲ知ラシ
ムル必要ナルニ債權者ノ數多クシテ到底現實ノ通知ヲ爲シ得サル實情アリ故
ニ通知ヲ發スルノミニテ足ルト云フ者アリ又債權者ノ何人タルカヲ知リ得サ

ルコト多キヲ以テ形式ニテハ總債權者トシ實際ニハ一部ノ債權者ニ通知スレハ足ルト云フ者アリ或ハ何レモ不可ナリトシ公證人ヲシテ公證セシメントスルモアリ我舊規定ニハ特別ノ定ナクシテ困難ヲ感シタルヲ以テ改正規定ハ伊國商法(伊四九二)ニ倣ヒ登記シタル船舶ノ委付ハ登記ヲ爲スニ因リテ其效力ヲ生ス(五四四ノ二)トシタリ之ニ依リテ總債權者ニ對シテ不可分ニ公告スルコトト爲リテ公平ニ協フ唯委付ハ委付スヘキ物ノ凡テニ付キ爲スヲ要スルニ法律ニハ船舶ノ委付ノ方式ノミヲ明言シ運送賃以下ノ委付ハ如何ニスヘキヲ云ハサルヲ以テ其間ニ疑ヲ生ス已ムヲ得スハ之ヲ解シテ船舶ノ委付ヲ登記シタルトキハ一切ノモノノ委付ニ效力ヲ生ストスヘシ

委付ハ債權者ヲシテ委付ノ目的物ヲ取得セシムル效力ヲ有ス國ニ依リ又學者ニ依リ委付ハ債權者ニ質權ヲ與フルノミトカ物ヲ競賣シテ賣得金ヨリ辨濟ヲ受クル權利ヲ與フルノミト云フ者アルモ其說ハ外國ニテモ少數ナリ我國ニテハ之ヲ權利移轉ノ原因トスル說ニ反對スル者殆ト無シ從テ債權者ハ能ク委付ノ時期方式等ニ注意シテ自己ノ權利ノ保存ニ勉メサルヘカラス委付ヲ受クル

債權者ハ多數ナルヲ通常トスルヲ以テ其間ノ關係如何ノ問題ヲ生スヘシ債權者ハ其儘ニ船舶等ヲ共有スルモ可ナレハ金銀ニ代ヘテ之ヲ分配スルモ可ナリ債權ノ種類異ナルトキハ法律ノ規定ニ依リテ先取特權ノ順位ヲ定メ同順位ナキトキハ平等ノ割合ヲ以テ分配ス

以上ハ通常ノ場合ナリ船舶所有者カ船長ト別人ナル場合ナリ兩者カ同一人ナル場合ニモ責任制限ノ適用アルカ否カハ諸國ノ學者間ニ議論アリ或學者ハ其場合ニモ船舶所有者ニ責任制限ノ適用アリ此規定ハ海商獎勵ノ爲メニ出ツレハナリト云ヒ他ノ學者ハ其場合ニハ適用ナシ此規定ハ兩者カ異ナル場合ヲ見テ制定シタルモノナリト云ヘリ余ハ場合ヲ分チテ解ス船長カ其法定ノ權限内ニ於テ爲シタル行爲ニ付キテハ責任制限ノ適用ナシ所有者自ラ自己ノ爲メニ爲ス行爲ニ法定權限ノ行爲ナルモノナケレハナリ又船員カ他人ニ如ヘタル損害ト云ヘル中ニテ船長自ラ加ヘタル損害ニハ責任制限ノ適用アル理ナシ海員カ加ヘタル損害タリトモ船長ノ選任監督ニ不注意アリトセハ船長ハ無限ノ責ヲ負フヘク之ニ不注意ナキ場合ニ始メテ其責任ハ制限セラルノミ故ニ船舶所

有者カ船長ナルトキハ責任制限ノ適用ハ甚ク狭少ナリ

船舶賃借人モ亦委任ニ因リテ責任ヲ免ガルコトヲ得其理由ハ後ニ船舶賃借人
ヲ説ク際ニ示スヘシ

船舶ノ共有

船舶ノ共有ニシテ普通動産ノ共有ト等シキトキハ殊更ニ海商法ニ之ヲ規定ス
ルヲ要セサルモ船舶ノ共有ハ普通動産ノ共有ト異ナリテ成ルヘク容易ニシテ
海商ヲ盛ナラシムル意アリ普通動産ノ共有ニ在リテハ共有者ハ物自身ヲ使用
シテ便益ヲ得ントスルヲ通常トスルニ船舶ノ共有ニ在リテハ共有者全體ノ爲
メニ之ヲ利用シテ利益ヲ分配セントスルヲ通常トス又船舶ニハ國性アリテ或
者ニ持分ヲ移轉スル場合ニ特別ノ規定ヲ要スル等ノ理由ヨリシテ殊更ニ海商
法ニ船舶ノ共有ニ關スル多クノ規定ヲ設ケタリ此規定ノ多クハ日本船舶ニ限
ラテ適用セラル

日本船舶ノ共有者ハ悉ク日本夫タルコトヲ要ス隨テ日本人カ外國人ト船舶ヲ
共有スルトキハ日本船ニ非ス而シテ我國法ハ成ルヘク日本船舶ノ減少ヲ防カ

シト欲シ船舶共有者ノ持分ノ移轉又ハ其國籍喪失ニ因リテ船舶カ日本ノ國籍
ヲ喪失スヘキトキハ他ノ共有者ヲシテ相當代價ヲ以テ其持分ヲ買取ルコトヲ
得セシメ自ラ買取ル資力ナキトキハ其競賣ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得セシ
ム此場合ノ競落者ハ日本人タルヘシ又之ト同主義ニ基キ會社ノ社員ノ持分ノ
移轉ニ因リ會社ノ所有ニ屬スル船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スヘキ場合ニハ他ノ
無限責任社員ヲシテ相當代價ヲ以テ其持分ヲ買取ルコトヲ得セシム(五五五)無
限責任社員ニ資力ナキ際ニハ競賣ヲ請求シ得セシムヘシトカ株式會社ニ關シ
テモ或規定ヲ設クヘシト論シ得ルモ我商法ハ共有船舶カ國籍ヲ失フ場合ト會
社ノ專有船舶カ國籍ヲ喪フ場合トヲ區別シ又株式會社ト他ノ會社トノ間ニ區
別ヲ設ケタリ

船舶ノ共有ハ普通動産ノ共有ト等シク相續遺贈婚姻等ニ因リテモ生スレト合
意ヨリ生スルコト最多シ又其持分ノ讓渡ハ前述ノ制限ノ外全ク自由トシ各
共有者ヲシテ他ノ共有者ノ承諾ヲ得スシテ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓
渡シ其讓渡ヲ凡テノ者ニ對抗スルコトヲ得セシム共有者間ニ組合關係アルト

キト雖モ尙然リ(五五一)但船舶管理人ハ此限ニ在ラス
 共有者ハ船舶ヲ各自ニ使用シテ便益ヲ得ルモ可ナレハ又單ニ共有スルニ止マ
 リテ其儘ニ放置スルモ可ナリ然レトモ船舶ハ之ヲ利用スルハ通常ニシテ何レ
 ノ國法モ船舶共有者ハ之ヲ利用スル意アルモノトシテ其關係ヲ規定ス余ハ素
 ヲリ船舶ノ共有ハ普通動産ノ共有ト等シク一物ノ所有權上ニ多數權利者ノ存
 シ相合シテ完全所有權ヲ有スル情態トスレトモ同時ニ船舶ノ共有ニハ一種ノ
 關係ヲ生スルヲ通常トスルコトヲ認ム

船舶共有者間ニ通常生スル關係ノ性質ニ付キ英佛獨等ノ學者間ニ種々ノ說ア
 リ或者ハ會社ノ一種ナリトシ或者ハ組合ノ一種ナリトシ又或者ハ連帶ノ權利
 義務ヲ有スル者ノ團體ニシテ海商法ニ特發ノモノナリト云ヘリ我國ニ在リテ
 ハ船舶共有者間ノ關係ハ組合關係ノ一種ナレトモ特別規定ノ多ク存スル爲メ
 商法ニ特發スル特種ノ關係ナリト說クヲ適當トス其關係ノ多クハ契約ニテ定
 マリ契約ナキトキハ商法ノ規定ヲ適用シ商法ニ規定ナキトキハ民法ノ組合ノ
 規定ヲ適用若クハ準用ス之ヲ組合ノ一種ト云フハ二人以上ノ者カ商行爲ヲ爲

ス目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スル船舶ヲ共有スルハ即チ共同ノ出資ヲ爲シテ共
 同ノ事業ヲ營ムコトニ當タリ而シテ法文(五五一)ニモ共有者間ニハ組合關係ア
 ルヲ拒マサル主意ヲ示セハナリ

船舶共有者間ノ關係ニシテ商法ニ規定スルモノハ船舶ノ利用ニ關スル事項ナ
 リ
 船舶ノ利用事項ハ共有者ノ過半数ヲ以テ決シ利用ヨリ生スル費用及ヒ債務ハ
 分擔シ利益ハ分配スルヲ原則トス(五四六)過半数ハ頭數ニ依ラス持分ノ價格ニ
 依ルヲ以テ多クノ持分ヲ有スル者ハ一人ニテ利用事項ヲ決シ得ルナリ此專橫
 ヲ防クニハ過半数ハ持分ノ數ノミナラス頭數ノ過半数ヲモ要ストスルカ或ハ
 多額ノ持分ヲ有スル者ノ議決權ヲ制限スルコト株式會社ニ於テ株主ノ議決權
 ヲ制限スルカ如クスヘシ

利用事項ノ最モ重ナルモノハ船舶ヲ運送用ニ供シテ運送費ヲ得ルニ在ルモ過
 半数ノ決議ヲ以テ從來運送用ニ供シタルモノヲ一時中絶シテ不使用ノ有様ニ
 置クモ可ナリ昔時ハ船舶ハ使用スヘキモノニシテ横臥スヘキモノニ非スト稱

シ共有者多數ノ意見カ之ヲ利用セントスルトキハ直チニ凡テノ者ヲ拘束シ之ヲ利用セザルニ在ルトキハ少數者ハ種々ノ方法ヲ以テ此決議ノ效力ヲ減殺スルヲ得タリシモ現今ハ其決議ノ積極タルト消極タルトニ拘ハラヌ絶對ノ效力アラシメ唯決議ハ(一)新航海ヲ爲スコトナルカ(二)利用ノ爲メニ船舶ニ大修繕ヲ爲スコトナルトキハ少數者ヲシテ他ノ共有者ニ對シテ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルコトヲ請求シ得セシムルノミ(五四八)新航海ニハ大艦艇ヲ要スルコトアリ危險ナルコトアリ何レニスルモ利害關係重大ニシテ多數壓制ニ默從セシムルキニ非ザルヲ以テ少數者ヲシテ抗議スルコトヲ得セシム大修繕ニ關シテ云フモ亦然リ固ヨリ各共有者ハ隨意ニ自己ノ持分ヲ讓渡シ得ルモ此ノ如キ情況ニアル船舶ノ持分ヲ讓受クル者尠ナルヘク偶アリトスルモ非常ニ低價ナルヲ以テ他ノ共有者ヲシテ相當ノ代價ニテ買取ラシムルナリ少數者カ此權利ヲ行使セントスルトキハ自ラ決議ニ加ハリタル場合ニハ決議ノ日ヨリ三日内ニ自ラ加ハラサルトキハ決議ノ通知ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ三日内ニ他ノ共有者又ハ船舶管理人ニ其旨ヲ通知スヘシ

船舶ノ處分行爲ニハ總共有者ノ同意ヲ要シ保存行爲ニハ他人ノ同意ヲ要セザルヲ原則トシ大修繕其他ノ事項ニ關シテ商法ニ規定スルモノニ付テハ其規定ニ從ハシム船舶ヲ保險ヲ付スルコトニ關シテハ保險ヲ如何ナル行爲ト見ルカニ依リテ解決ヲ異ニス多數國ニテハ保險ハ或點ニ於テ處分ト同視スヘキモノトシテ多數決ニテ之ヲ決シ得ストスルモ我國ニテハ船舶管理人ハ新航海、大修繕又ハ保險ヲ爲スヲ得スト列舉シナカラ少數者ハ新航海又ハ大修繕ノ決議ニ異議アルトキハ買取ヲ請求スルコトヲ得トシ保險ヲ舉ケサルヲ以テ商法ノ解釋トシテ少數者ハ保險ヲ付スル決議ニハ異議ヲ述フルヲ得サルナリ

共有者ノ權利ノ最モ重ナルモノハ利益ノ分配ヲ受クルニ在リ持分ノ價額ニ應シテ每航海ノ終リニ之ヲ受ク(五五〇)利益ハ總收入ヨリ總支出ヲ除去シタル額ナリ支出カ收入ヨリ大ナルトキハ損失ト爲リ損失ハ持分ノ價額ニ應シテ分擔ス之ヲ義務ノ方面ヨリ見テ共有者ハ船舶ノ利用費及ヒ利用ニ付キ生シタル債務ヲ負擔スト云フヲ得ヘシ利用費トハ船舶ノ修繕費、航海費等ニシテ又營業費ト稱ス船舶ヲ利用スル爲メニハ金錢ヲ借受クルコトアリ給料、救助料等ヲ支

拂フヲ要スルコトアリ何レモ利用ノ爲メニ爲シタル債務ニシテ各共有者ノ分擔トス(五四七、五四九)債務ハ分擔ナレトモ各共有者ノ責任ハ有限ニ非ス換言スレハ各共有者ハ無限ニ債務ヲ分擔セサルヘカラス例ハ十人ノ共有者カ均一ノ持分ヲ有セル場合ニ債務カ十萬圓ナルトキハ各一萬圓ヲ負擔シ債務カ百萬圓ナルトキハ各十萬圓ヲ負擔シ百萬千圓等ト無限ナリ

船舶管理人

船舶管理人ハ船舶共有者ノ爲メニ船舶ノ利用行爲ヲ爲ス者ナリ船舶共有者ハ船舶管理人ヲ選任スルコトヲ要ス(五五二)船舶共有ノ場合ニ何人カ其船舶ニ關スル事務ヲ執行スルカ不明ナルトキハ共有者間ニ爭ヲ生シ又共有者各自ニ之ヲ爲スヲ不適當ト認メタルニ由ル共有者ハ管理人ヲ選任セスシテ利用行爲ヲ爲スコトヲ得ヌ又之ヲ選任シナカラ自ラ利用行爲ヲ爲スコトヲ得ヌ商人ハ支配人ヲ選任シタル後ニモ自ラ行爲ヲ爲シ得レトモ彼ト此トハ異ナレリ支配人ヲ選任スルト否トハ商人ノ隨意ナレトモ管理人ノ選任ハ法律ノ強要ナリ船舶管理人ト爲ル者ハ共有者ナルモ可ナレハ共有者ニ非サルモ可ナリ船舶共

有ニ於テ管理人ヲ共有者ニ限ルトキハ適當ノ者ヲ得サル處多ク又之ヲ共有者ニ限ル必要ナシ共有者ニ非サル者ヲ船舶管理人ト爲スニハ共有者全員ノ同意ヲ要シ共有者中ヨリ選任スル場合ハ過半数ノ決議ヲ以テスルコト他ノ利用事項ニ等シ船舶管理人ノ選任ハ之ヲ登記スルコトヲ要ス登記ノ當事者ハ選任セラレタル管理人ナリ管理人カ解任セラルルカ其他ノ事由ニ因リテ代理權カ消滅スルトキハ亦之ヲ登記スルヲ要シ其場合ノ登記ノ當事者ハ新管理人ナリ或場合ニハ共有者ナルコトモアラン

船舶管理人ノ權限ヲ名ケテ管理權ト稱シ船舶ノ利用ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ニシテ其代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルヲ得サルモノナリ(五五三)此管理權ハ船長ノ權限ヨリモ大ナリ船長ノ權限ハ航海ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲スモノナルモ管理人ノ權限ハ船舶ノ利用ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲スニ在レハナリ管理人ハ船長ヲ任免スルコトヲ得

船舶管理人ハ船舶ノ利用ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ストスル原則ニ

對シテ例外アリ管理人ハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一 船舶ノ讓渡、委付若クハ質貸ヲ爲シ又ハ之ヲ抵當ト爲スコト

質貸ハ利用行爲ナリ抵當ハ利用行爲ニ關シテ爲スモノト云フヲ得然レトモ讓渡及ヒ委付ハ物ノ處分ナリ物ヲ利用スル權限ノミヲ有スル者ハ其物ヲ處分シ得サルハ當然ナルヲ以テ特ニ船舶ノ讓渡及ヒ委付ヲ掲ケサルモ可ナリ強イテ解スルトキハ管理人カ船舶ノ利用ニ關シテ其船舶ヲ讓渡シ又ハ委付スル必要ニ接スルモ之ヲ爲ス權限ナキヲ明示シ以テ共有船舶ニ關シテ取引ヲ爲ス第三者ヲ警告シタリト云フカ或ハ質貸抵當ヲ掲ケタル勢ニ乘シテ讓渡及ヒ委付ヲ掲ケタルニ至リシト云ハンノミ

二 船舶ヲ保險ニ付スルコト

保險ハ船舶ノ代價ヲ保存スルニ等シキ行爲ナルヲ以テ船舶ヲ管理スル者ハ之ヲ保險ニ付スル權アリトスルヲ可トスル理アルモ一方ニ在リテ保險ハ船舶ヲ賣買拋棄スルニ等シク處分行爲ト同一視スヘキ所アリ又船舶ニ關係アルモ其利用ニ關係ナキヲ以テ利用ノ權限ノミヲ有スル者ニハ此權限ヲ與フ

ヘカラスト云ハルルナリ何レニスルモ重大ノ事項ト見テ我國ハ之ヲ管理
ノ權限中ヨリ除外ス

三 新ニ航海ヲ爲スコト

四 船舶ノ大修繕ヲ爲スコト

五 借財ヲ爲スコト

借財ノ權限ナシトスルハ共有者ヲシテ管理人ノ行爲ニ因リテ多クノ債務ヲ負フコトナカラシメン爲メナリ借財ノ最モ著シキ例ハ金錢ノ消費借ナリ解釋ニ依リテ手形ノ振出、裏書等ヲモ之ト同視ス然レトモ決シテ債務ヲ負フコトト同意義ニ非ス若シ此ノ如キ意義トセハ管理人ハ殆ント何等ノ利用行爲ヲモ爲シ得ザラン借財ノ議論ハ民法ニ於ケルモノト等シ

船舶管理人ノ職務ハ船舶ヲ利用スルニ在リ利用ノ結果利益ヲ得ルトキハ共有者ニ分配シ損失スルトキハ共有者ヲシテ分擔セシム損益ノ分配ハ每航海ノ終ニ爲スヘキモノトシ管理人ハ每航海ノ終ニ於テ遲滞ナク其航海ニ關スル計算ヲ爲シテ各共有者ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス又特ニ帳簿ヲ備ヘ之ニ船舶ニ關

スル一切ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス(五五四)帳簿ハ證據ト爲リ又管理人ヲ監督スル方法トモ爲ルナリ
管理人ハ報酬ヲ受クルヲ通常トスルモ報酬ノ有無ハ管理人ノ資格ニ影響ヲ及ホスコトナシ其額ノ定メ方支拂ノ方法等ハ一ニ特約及ヒ慣習ニ從フ

船舶賃貸借

船舶所有者カ其船舶ヲ他人ニ賃貸スルコトアリ外國ニテハ船舶所有者自ラ其船舶ヲ使用シテ相手方ノ爲メニ物品又ハ旅客ヲ運送スル場合ト船舶ヲ賃貸シ相手方ヲシテ自由ニ之ヲ運送ニ使用セシムル場合トヲ包含スル文字アリ英國ニテハ「チャーター」佛國ニテハ「シヤルテ」ト云ヒ獨逸ニハ英佛ヨリ繼受シタル類似ノ文字アルモ我國ニテハ二者ニ別名ヲ附シ一ヲ傭船契約トシテ運送契約ノ一トシ他ヲ賃貸借契約トシテ民法ニ規定スル賃貸借ノ一トス
船舶賃貸借ハ船舶所有者カ相手方ニ船舶ノ使用及ヒ收益ヲ爲サシムルコトヲ約シ相手方カ之ニ其賃金ヲ支拂フコトヲ約スル契約ナリ(民六〇一)船舶ノ賃貸借モ一般ノ賃貸借ニ等シキヲ以テ民法ノ規定ハ此場合ニモ適當シ處分權ナキ

者カ船舶ヲ賃貸借スル場合ニテハ六ヶ月ヲ超ユルコトヲ得ヌ賃貸借ノ效力及ヒ終了ニ關シテモ亦民法ノ規定ヲ適用ス

船舶賃貸借ヨリ三個ノ關係ヲ生ス

一 船舶賃借人ト船舶所有者トノ關係

此關係ハ民法ニ規定スル賃借人ト賃貸人ノ關係ナリ船舶所有者ハ船舶賃借人ヲシテ船舶ヲ使用收益セシムル義務ヲ負ヒ之ニ關聯シテ其使用收益ニ必要ナル修繕ヲ爲スヘク賃借人カ所有者ノ負擔ニ屬スル必要費ヲ支出シタルトキハ直チニ之ヲ償還スヘシ而シテ賃船料ヲ得ル權利ヲ有ス
賃借人ハ賃船料ヲ支拂フ義務ヲ負ヒ船舶ヲ使用收益スル權利ヲ有ス船舶ノ使用ハ之ヲ運送用ニ供スルヲ通常トシ商法ノ見ル處亦此點ニアレトモ傭船契約ト異ナリテ賃貸借ニハ船舶ノ用法ヲ限定セサルヲ以テ遊覽戰爭慈善等ノ用ニ供スルモ可ナリ普通ノ用法ニ使用セサル場合ニハ豫メ其用法ヲ示スヘシ船長ヲ選任スル權利ハ賃船者ニ存スルヲ通常トス獨逸商法ニハ船舶所有者ハ船長ヲ選任スル權利ヲ留保スルコトヲ得ト云ヘリ

賃借人ハ漫リニ賃借權ヲ讓渡シ又ハ船舶ヲ轉貸スルヲ得ス船舶ヲ抵當ノ目的物トシ或ハ賣買贈與スルコトヲ得サルハ言フ俟タヌ

二 船舶賃借人ト第三者トノ關係

此關係ヲ定ムル爲メ商法(五五七)ニ特別ノ規定ヲ設ク曰ク船舶ノ賃借人カ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ其船舶ヲ航海ノ用ニ供シタルトキハ其利用ニ關スル事項ニ付テハ第三者ニ對シテ船舶所有者ト同一ノ權利義務ヲ有スト而シテ茲ニ説明スルモノハ賃借人カ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ船舶ヲ航海ノ用ニ供スル場合ナルヲ以テ此法文ニ依リ賃借人ハ第三者ニ對シテ所有者ト同一ト爲ルナリ賃借人ニシテ果シテ所有者ト同一ト爲ルトセハ所有者ト第三者ノ關係ニ付キ説ク所ハ悉ク賃借人ト第三者ノ關係ニ適用セラル故ニ船舶ヲ修繕シタル者ハ賃借人ニ對シテ修繕料ヲ請求スヘク船舶ニテ荷物ヲ運送セラレタル物ハ賃借人ニ運送費ヲ支拂フヘク船舶ヲ救助シタル者ハ賃借人ニ對シテ救助料ヲ請求スヘク船舶ニ救助セラレタル者ハ賃借人ニ救助料ヲ支拂フヘシ

船舶ノ利用ニ關シテ賃借人ヲ所有者ト同視スルハ船舶ハ常ニ所有者ノ住所居所及ヒ船籍港ヲ離レテ航海スルヲ以テ船舶ニ關シテ取引ヲ爲ス者ハ船舶ニ關スル眞ノ權利者ヲ知ルコト難ク概ネ現在ノ使用者ヲ見テ取引スルニ其者ハ相手方ニ非ヌシテ相手方ハ他ニ在リトスルトキハ何人モ安ンシテ取引ヲ爲スヲ得サレハナリ又賃借人ハ船舶ヲ使用シテ營利行爲ヲ爲スヲ以テ自己モ所有者ニ等シキ情態ニアルヲ望ムナリ

船舶ヲ修繕救助若クハ保管シ賃借人ニ對シテ債權ヲ得タル者ハ先取特權ヲ有シ船舶ノ利用ニ付キ生シタル先取特權ハ船舶所有者ニ對シテモ其效力ヲ生ス隨テ所有者ハ賃借人ノ行爲ニ由リテ船舶ヲ失フコトアルヘシ但先取特權者カ其利用ノ契約ニ反スルコトヲ知レルトキハ此限ニ在ラス

賃借人ハ賃借借ヲ登記シテ爾後其船舶ニ付キ物權ヲ取得シタル者ニ其賃借借ヲ對抗スルコトヲ得故ニ賃貸後ニ其船舶ノ所有權ヲ取得スル者モ賃借權ノ消滅ヲ主張シ得サルヘク又抵當權ヲ得ルモノヲ行使シテ賃借人ノ利益ヲ害スルヲ得民法ノ不動産登記ノ規定ヲ船舶ナル動産ニ適用シタルナリ(五

五六、民六〇五

三 船舶所有者ト第三者トノ關係

船舶賃借ノ場合ニハ賃借人ハ職業者ト爲リ第三者ニ對シテ所有者ノ如キ地位ニ在ルヲ以テ所有者ハ殆ント無キニ等シク第三者トノ間ニ何等ノ關係ヲモ生セサルヘシ若シ關係ヲ生ストスレハ第三者カ船舶止ニ先取特權アリトシ所有者之ヲ爭フ場合或ハ所有者カ賃船料ニ關シテ運送貨ヲ差押フルカ運送品ノ止ニ留置權ヲ行ハントシテ爭フ場合ナラン

船舶賃借人ハ船舶ヲ委付シテ責任ヲ免カルコトヲ得換言スレハ船舶所有者ノ責任制限ハ船舶賃借人ニモ適用セラルナリ商法ニハ船舶ノ賃借人ハ船舶ノ利用ニ關スル事項ニ付テハ第三者ニ對シ船舶所有者ト同一ノ權利義務ヲ有ストシ而シテ船舶所有者ハ船員ノ行爲ニ因リテ第三者ニ生シタル損害ヲ賠償スル責任ニ任ストスルヲ以テ賃借人モ船員ノ行爲ニ因リテ第三者ニ生シタル損害ヲ賠償スル責任ニ任スルナリ又所有者ハ船舶運送貨等ヲ委付シテ其實ヲ免カルトスルカ故ニ賃借人モ亦之ヲ委付シテ其實ヲ免カルナリ反對者ハ委付ハ處分

行爲ニシテ所有者其他ノ處分權ヲ有スル者ノミ爲シ得ヘク賃借人ノ如キ處分權ナキ者ハ委付ヲ爲スコトヲ得ヌ第五五七條ハ賃借人ト第三者ノ關係ヲ定ムルノミニシテ所有者ト賃借人ノ關係ヲ定ムルモノニ非スト云ヘリ然リ同條ハ主トシテ賃借人ト第三者ノ關係ヲ定ムルモノナリ然レトモ其結果所有者ト賃借人ノ關係ニ影響ヲ生スルヲ拒ムモノニ非ヌ現ニ船舶ノ利用ニ付キ生シタル先取特權ハ船舶所有者ニ對シテモ其效力ヲ生スト云ヘル規定スラアルニ非ヌヤ尙ホ我商法ハ委付ヲモ利用ニ關スル事項中ニ入ルト解シ得ル規定ヲ示セリ即チ船舶管理人ノ權限ヲ定ムルニ當リ管理人ハ船舶ノ委付ヲ除ク外船舶ノ利用ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ストスルカ如シ(五五三)委付ヲモ利用ニ關スル行爲ト見之ヲ除外スル爲メ殊更ニ明文ヲ置キタリ此法文ノ書キ方良好ナラサルモ又以テ我商法ハ委付ヲモ利用ニ關スル行爲中ニ入ルト解スル根據ト爲シ得ヘシ

立法論トシテ言フモ賃借人ヲシテ委付ヲ爲スコトヲ得セシメサルヘカラス委付ハ航海業ヲ保護スル爲メニ設ケタルモノナリ航海業ハ冒險業ナリ又船舶所

有者ハ十分ニ船員ノ選任監督ヲ爲シ得サルヲ以テ彼等ノ行爲ヨリ生スル責任ニ關シテハ船舶運送賃等ヲ委付シテ之ヲ免カルヲ得セシムルナリ此理由ハ賃借人ニモ儀當ス賃借人ニノミ特ニ重大ナル責任ヲ負ハシムルハ責任制限ノ根本原理ニ反シ又賃借ヲ禁スルニ等シキ結果ヲ生スヘシ然ラハ他ノ極端ノ解釋ヲ探リテ賃借人ハ單ニ運送賃ト賠償及ヒ報酬ノ請求權ヲ委付シテ其實ヲ免カルトセンカ賃借人ニハ利益ナルモ第三者ヲ保護スルニ足ラス又之ヲ許ストキハ多數ノ者ハ賃借ノ形跡ヲ裝ヒテ航海業ヲ營ム弊ヲ生セン更ニ解釋ヲ變シテ船舶所有者ニハ第五四四條ノ責任制限ヲ適用シ賃借人ニハ民法第七一五條ノ責任免除ノ規定ヲ適用センカ亦不可ナリ何レニスルモ船員ノ行爲ヨリ生スル責任ニ關シテ船舶所有者ト賃借人トヲ區別スル理由ナク却テ同一ニスヘキ理由多シ英國ハ古ヘヨリ此點ニ關シテ二者ヲ同一視シ賃借人ヲ一時ノ所有者ト稱シ來レリ最近ニ至リ貴族院ノ判決及ヒ法律ノ規定ヲ以テ一層此點ヲ明カニス(一九〇六年ノ貴族院判決同年ノ商船法七一條)

賃借人カ船舶ヲ第三者ニ委付シタル後所有者ニ對シテ負フヘキ義務ハ場合ニ

依リテ異ナルヘシ或場合ニハ委付ノ當時ニ於ケル代價ヲ辨償スヘク他ノ場合ニハ賃借當時ノ代價ヲ辨償スヘク又或合ニハ賃借ノ終了スヘカリシ時ノ代價ヲ辨償スヘシ特約慣習ニテ定マリ何等ノ定ナキトキハ賃借ノ性質不當利得ノ原理等ニ依リテ決ス

第二章 船員

1066

船員トハ船舶ニテ繼續的ニ一定ノ職務ヲ執行スヘキ義務ヲ負フ船舶所有者ノ
使用人ナリ船舶ハ船舶所有者ノ使用人ナリ雇傭契約ニ因リテ一定ノ職務ニ服
スル者ナルコト他ノ使用人ニ等シ船舶ニテ職務ヲ執行スル點ニ於テ陸上使用
人ト區別セラレ又等シク船舶ニテ執行スルモ繼續的ニ爲ス點ニ於テ荷物ノ積
卸等ノ場合ニノミ船舶ニ來ル使用人ト區別セラル又此等ノ標準ニ依リテ水先
人ノ船員ニ非サルヲ知ルヘシ從前ハ船員ヲ定義シテ船舶ノ航海ニ從事スル者
ト云フヲ得タリシモ汽船ノ發明以來蒸汽力ノ製出ニノミ從事シ隨テ航海ニ從
事スト云ヒ難キ者ヲ生シ又旅客運送ノ盛大ト爲ルニ從ヒ醫師、厨宰、樂師等ノ如
ク旅客ノ健康慰樂ニ注意スル者ヲ生シタルヲ以テ余ハ之ニ應スル爲メ前掲ノ
定義ヲ下シタルナリ歐米ノ學者ハ今尙ホ船員ヲ定義シテ船舶ノ航海ニ從事ス
ル者ト云ヒ之ニ入ラサル者ヲ目スルニ準船員ヲ以テスルコトアリ船員中ニハ
船舶ノ航海ニ從事スル甲板部員、其動力ノ製出ニ從事スル機關部員、毫モ船舶ノ

航行ニ關係セサル庶務部員アリ
船員ヲ分サテ船長及ヒ海員トス

第一節 船長

商法ヲ離レテ全般ヨリ船長ヲ觀察スルトキハ船長ハ公私ノ兩性ヲ併有スル者
ナリ船長ハ船舶内ニ生シタル犯罪ヲ處分スル權義ヲ有シ之カ爲メニ人ヲ監禁
逮捕スルモ可ナリ而シテ之ヲ適當ノ官吏ニ引渡ス等司法警察官ニ似タル職權
ヲ有ス又船舶内ニ生シタル生産、死亡、婚姻等ニ立會ヒ其言行ニ公ノ信用アル點
ニ於テ公吏ニ等シ此ノ如クスルハ船舶ハ多クノ人員ヲ乘込マシメテ海洋ヲ航
行シ公海ニ在リテハ恰モ一國ノ領土ノ如クナルニ國家ハ適當ノ吏員ヲ備ヘ得
サルヲ以テ船長ヲシテ之ニ當ラシムルニ由ル獨逸ノ海法學者ワグナー氏ハ船
長ハ公權ヲ代行スル者ナリト云ヒ同シク獨逸ノ民法家ツォルン氏ハ船長ハ船舶
權ヲ有シ船舶權ハ國法ノ造營物ナリト云ヘリ商法上ノ船長ヲ説クニ當リテモ
船長ノ公法上ノ位地ヲ知ル必要アリ同一人ニテ二資格ヲ併有シ同時ニ之ヲ出

現セシムル場合ニハ到底一ノ資格ノミヲ以テ説明シ得サルヘク又一ノ資格ノミヲ出現セシムル場合タリトモ他ノ資格ヲ併有スルコトヲ知ルトキハ了解ニ容易ナルコトアリ例ハ商法ニ於テ船長ハ或場合ニ他人ノ物ヲ海中ニ投棄スルコトヲ得他人ノ物ヲ船舶用ニ消費スルコトヲ得船長ハ旅客ノ乗込ノ時ヨリ上陸ノ時マテ其船舶ヲ離ルルコトヲ得ストスル規定ハ船長ニ公資格アルコトヲ知ルトキハ容易ニ了解シ得ル如シ

船長ハ船舶所有者ニ選任セラレ而シテ兩者ノ關係ハ雇傭關係ヲ主トシテ委任關係ヲ伴フモノナリ雇傭關係ト云フハ船長ハ船舶所有者ニ對シテ勞務ニ報スルコトヲ約シ船舶所有者ハ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルヲ以テナリ(民六二三)尙ホ商法ニ雇傭契約ナル文字ヲ用ユルヨリシテ船長モ亦雇傭契約ニ因リテ勞務ニ服スル者ナルコト一層明カナリ然レトモ此間ニハ必ス委任關係ヲ伴フ船舶所有者ハ船長ニ法律行為ヲ爲スコトヲ委託シ船長ハ之ヲ承諾スルモノナレハナリ(民六四三)船長ハ船舶所有者ノ爲メニ海員ヲ雇入レ運送契約ヲ取結ヒ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ行為ヲ爲ス權限ヲ有シ此權限ハ所有

者ノ選任ニ基クモノナリ船舶所有者ハ船長ニ代理權ヲ與フルト否トヲ選擇スルヲ得ヌ船長トスル以上ハ必ス之ニ總括的ノ代理權ヲ與フヘク其權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルヲ得サルモノナリ兩者ノ關係ヲ雇傭及ヒ委任ノ併合トシ其關係ノ生スル事由ヲ雇傭契約及ヒ委任契約トスルモ若シ此併合ノ契約ニ名稱ナシトスレハ無名契約ト云フモ可ナリ然レトモ此關係ハ主トシテ雇傭ニ基キ商法自ラ雇傭契約ト云ヘルヲ以テ雇傭契約ヨリ生スト云フモ誤ニ非ス

船舶所有者ハ何時ニテモ船長ヲ解任スルコトヲ得正當ノ理由アルトキハ勿論正當ノ理由ナクトモ可ナリ(五七四)然レトモ正當ノ理由ナキニ解任スルトキハ之カ爲メニ生シタル損害ヲ賠償セサルヘカラス其額ハ契約期間ノ給料ニ等シキヲ通常トスルヲ以テ賠償額ノ點ノミヨリ見ルトキハ殆ト解任權ナキニ等シキモ而モ此場合ニ於テモ解任權ヲ有シ解任ハ權利ノ實行ニシテ契約ノ違反ニ非ス船舶所有者ニ此解任權ヲ與ヘタルハ船舶ノ如キ高價ナル財産ヲ託スル船長ニ信用ヲ缺クニ拘ハラズ解任シ得ストモハ船舶所有者ハ一日モ安ンシテ航

海業ヲ營ミ得サルヲ以テナリ又船長ニ在リテハ解任ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ得レハ足ルナリ若シ船長カ共有者ナルトキハ自己ヲ信セサル者ト共有關係ニ立ツヲ潔シトセストシ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ヲ買取ルコトヲ請求シ得セシム

船長ト積荷所有者等トノ關係ハ法律ノ規定ニ因ル管理關係ナリ民法ノ事務管理ハ義務ナクシテ他人ノ爲メニ事務ノ管理ヲ始メタル者ヲシテ其事務ノ性質ニ從ヒ最モ本人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ其管理ヲ爲サシムルモノナリ事務管理タルニハ義務ナクシテ管理ヲ始ムルヲ要スルニ船長ハ法律ノ規定ニ因リテ之ヲ爲スヘキ者ナルヲ以テ民法ノ事務管理ニ非ス(民六九七)隨テ義務ノ内容及ヒ責任ノ程度ニ於テモ差ヲ生シ商法ニハ船長ハ航海中最モ利害關係人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ爲スコトヲ要ストセリ(五六五)利害關係人ノ重ナル者ハ船舶所有者ナレトモ船舶所有者ニ關シテハ別ニ規定セラルトシ通常之ヲ除外ス其他ノ利害關係人ハ積荷所有者備船者荷送人保險者等ナリ如何ナル程度ノ者ヲ利害關係人ト爲スカハ認定ニ依リテ定マル

利害關係人ハ船長ノ行爲ニ因リ第三者ニ對シテ權利義務ヲ有スルコト爲ル故ニ船長ハ彼等ノ爲メニ代理行爲ヲ爲ス者ナリ此代理ハ船長ト利害關係人ノ合意ニ因ルニ非スシテ船長ハ船舶所有者ノ爲メニ選任セラレ備船者ハ船舶所有者ニ運送ヲ委託シタルヨリ當然生スルモノナリ荷送人保險者等モ船長ヲシテ代理人タラシムル意思表示ヲ爲ササルニ代理ハ一定ノ事故ヨリ當然生スルヲ以テ船長ハ利害關係人ノ法定代理人ナリ

利害關係人ハ船長ノ行爲ニ因リテ無限ノ權利及ヒ利益ヲ得ルモ船長ノ行爲ニ因リ積荷ニ付キ生シタル債務ノ爲メニハ其積荷ヲ債權者ニ委付シテ其實ヲ免カルコトヲ得但利害關係人ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

船長ノ權利

船長ニ公資格アリトセハ船長ハ公權ニ類スル權利ヲ有スルコト明カナリ又船舶所有者ノ用人タリ委任代理人タリ利害關係人ノ法定代理人ナリトスレハ之ニ應スル權利ヲ有スルコト明カナリ然レトモ茲ニハ商法ニ規定シタル權利ヲ其儘ニ説明スルニ止ム權利ト云フヨリモ權限ト云フヲ適當トスルモノアラ

シモ權利ナル名稱ノ下ニ列示ス

一 代理權

分チテ船籍港外ニ於ケルモノト船籍港ニ於ケルモノトス
 船籍港外ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ
 行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス(五六六)船籍港外ニ在リテハ船舶所有者ハ親シク船長
 ヲ指揮監督スルヲ得ス又第三者ハ船長ヲ見テ船舶所有者ヲ見サルヲ以テ船
 長ニ包括的權限ヲ有セシメ此權限ノ制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗ス
 ルコトヲ得ストスルナリ(五六七)此權限ハ専ラ船舶所有者ニ關シテ適用アル
 モ廣ク一般ノ利害關係人ニ關シテモ存ス

此包括代理權ノ内容ハ航海ノ爲メニ必要ナル行爲ノ何タルカニ依リテ定マ
 ル船舶管理人ハ船舶ノ利用ニ關スル行爲ヲ爲ス權限ヲ有スルニ船長ハ航海
 ノ爲メニ必要ナル行爲ヲ爲ス權限ヲ有スルヲ以テ二者ノ間ニ差アリ利用ニ關
 スルモノノ中ニハ航海ニ關スルモノト關セサルモノトアリ得ヘク又航海ニ
 關スルモノノ中ニハ利用ニ關スルモノト關セサルモノトアルヘシ故ニ此差

ハ必スシモ範圍ノ大小ノ差ニ非サルモ商法ニ規定セル船長ノ行爲ニシテ船
 船ノ利用ニ關セサルモノハ極メテ稀ナルヘク偶アリトスレハ公益上生シタ
 ルモノナルヲ以テ船舶ノ航海ノ爲メニスル行爲ハ船舶ノ利用ニ關スル行爲
 中ヨリ航海ニ關セサルモノヲ除外シタルモノト見ルモ可ナリ航海ノ爲メニ
 スル行爲ハ海員ノ雇入雇止海難救助ノ請求運送契約ノ取結船舶ノ機裝等ナ
 ヲ船長ハ船舶所有者ノ爲メニ訴ヲ起スコトモ之ニ入り又訴ヘラレテ被告ノ
 位地ニ立ツコトモ之ニ入ル法文ニ航海ノ爲メニ必要ナル行爲ト云フト雖モ
 字義ニ拘泥シテ航海ノ利益ノミニ必要ナル行爲ト解スヘカラス廣ク航海ニ
 關シテ必要ナル行爲ト解スヘキモノナリ
 船籍港外ニ於テハ船長ハ特ニ委任ヲ受ケタル場合ヲ除ク外海員ノ雇入及ヒ
 雇止ヲ爲ス權限ノミヲ有ス

二 報酬請求權

船長ハ船舶所有者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得
 船長ハ航海ノ爲メニ費用ヲ出シ又ハ債務ヲ負擔シタルトキハ船舶所有者ニ

對シテ其辨償ヲ請求スルコトヲ得船舶所有者ハ船長ニ委任シテ此等ノ行爲ヲ爲サシメタルトキハ船長ニ對シテ無限ノ責ヲ負フモ船長ノ隨意ニ爲シタルモノニ付テハ委付ニ依リテ其實ヲ免カルコトヲ得(五六九)

船長ノ船舶所有者ニ對スル債權ハ一年ノ時効ニ因リテ消滅ス

船長ハ給料ニ關シテ保險契約ヲ取結フコトヲ得

三 非常權

船長ノ非常權ニハ航海繼續ノ必要ヨリ生スルモノ船籍港外ニ生ストシテ規定セラルルモノ及ヒ法令又ハ契約ニ反スル者アル場合ニ生スルモノアリ最後ノモノハ運送ノ章ニ規定スルヲ以テ(五九三)其場所ニ於テ説明スルコトトス

船長ハ航海ヲ繼續スルニ必要ナルトキハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得(五六八、五七二)

- (一) 船舶ヲ抵當ト爲スコト
- (二) 借財ヲ爲スコト

- (三) 積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコト
- (四) 積荷ヲ航海ノ用ニ供スルコト

船舶ノ抵當借財及ヒ積荷ノ賣却質入ハ航海繼續ノ費用ヲ支辨スル爲メニ爲シ得ルコトナリ荷積ヲ航海用ニ供ストハ積荷ヲ其性質ノ儘ニテ消費シ又ハ使用スルコトナリ此等ノ規定ハ古ヨリ存シ就中船舶ヲ抵當トシ積荷ヲ質入スル事ニハ冒險貸借トシテ特別法理ヲ有スルモノアリ然レトモ我商法ニテハ冒險貸借ヲ廢シテ通常ノ抵當及ヒ質入トシ船長ハ航海ノ繼續ニ必要ナル場合ニ之ヲ爲シ得ルコトトシ他ニ特別ノモノナシ

船長カ此ノ如キ行爲ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ之ニ因リテ債務ヲ負ヒ積荷ノ利害關係人ニ損害ヲ補償スル責ヲ負フ其補償ノ額ハ積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ニ依リテ定メ決シテ一切ノ損害ヲ賠償スルニ非ス船長ハ法律ニ認ムル適法ノ行爲ヲ爲シタルモノナルヲ以テ不法行爲ノ場合ニ負ハシムル責任トハ性質ヲ異ニス商法ニハ損害賠償ト云ヘト賠償ノ文字ハ不適當ナリ

尙中船長カ船舶ヲ賣却シ得ル場合アリ即チ船籍港外ニ於テ船舶カ修繕スルコト能ハサニ至リタルトキナリ賣却ニハ船舶カ船籍港外ニ在ルコト及ヒ修繕カ不能ト爲ルコトノ二條件アレハ足ルトシ而シテ濫用ヲ豫防スル爲メ賣却ニハ管海官廳ノ認可ヲ得セシメ賣却ノ方法ハ競賣ニ限リタリ(五七〇)

船舶ハ如何ナル場合ニ至ラハ修繕スルコト能ハサルモノト見ルカハ場合ニヨリテ決スルヲ要スルモ法律ハ二場合ヲ例示シ(一)船舶カ其現在地ニ於テ修繕ヲ受タルコト能ハヌ且修繕ヲ爲ス地ニ至ルコト能ハサルトキ(二)修繕費カ船舶ノ價格ノ四分ノ三ヲ超ユルトキハ修繕不能ト看做セリ茲ニ云フ船舶ノ價額トハ航海中ニ毀損シタル場合ニハ發航ノ時ノ價額トシ其他ノ場合ニハ毀損前ノ價額トシ法定ノ修繕不能ノ場合ノ外現在地ニ於テ修繕シ得ラレ且其費用小ナルモ非常ニ長日月ヲ要スルトキハ亦修繕不能ナリ

船長ノ義務

船長ハ公務ニ類スル義務ヲ有スルモ并ハ省略スヘシ
商法ニ依リテ負ヘル義務ニシテ公益ニ關スルモノアリ特ニ何人ニ對シテ負ヘ

ルカラ判別シ難キモノアリ又義務ノ性質上必スシモ純然タル私法的ノモノニ非サルモ而モ法律ノ觀察スル所ハ專ラ特定人ノ利益ニ在リテ且他ノ私法ノ規定ニ於テモ見ルモノアリ左ニ説明スルモノノ中前ノ二者ハ前者ニ屬シ後ノ二者ハ後者ニ屬ス

一 航海執行ノ義務

船長ハ發航前ニ船舶ノ航海ニ支障ナキヤ否ヤ其他航海ニ必要ナル準備ノ整頓セルヤ否ヤヲ検査シ航海ノ準備カ終リタルトキハ遲滯ナク發航シ豫定ノ航路ヲ航行シ已ムコトヲ得サル事由ニ因リテ自ラ船舶ヲ指揮スルコト能ハサル場合ノ外ハ必ス自ラ指揮シ代人ヲ委任シタル後ニ非サレハ荷物ノ船積及ヒ旅客ノ乗込ノ時ヨリ荷物ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸ノ時マテ其船舶ニ止マルコトヲ要ス(五六一、五六四、五六〇、五六三)此中ニ在リテ豫定ノ航路ヲ航行スルコトヲ要スル義務ハ離路ヲ爲スヘカラサル義務ト稱シテ運送及ヒ保險ニ關係シテ盛ンニ論セラレモノナリ

此等ノ義務ハ必スシモ船舶及ヒ貨物ノ所有者又ハ旅客ニノミ負フニ非ス彼

等ノ合意ヲ以テモ船長ニ此義務ヲ免除スルヲ得サル性質アリ

二 書類備置ノ義務

船長ハ左ニ掲ケタル書類ヲ船中ニ備ヘ置クコトヲ要ス(五六二)

- (一) 船舶國籍證書
- (二) 海員名簿
- (三) 運送契約及ヒ積荷ニ關スル書類
- (四) 税關ヨリ交付シタル書類
- (五) 屬具日録
- (六) 航海日誌
- (七) 旅客名簿

前ノ四種ハ内國航行ト外國航行トヲ問ハス具備セシム旅客ノミナル片ハ積荷ニ關スル書類ナク又税關ヨリ何等ノ書類ヲモ受ケサル場合ニハ之ヲ備ヘ置クコト能ハサルハ言ヲ俟タス

後ノ三種ハ外國ニ航行セサル船舶ニ限り命令ヲ以テ之ヲ備フルコトヲ

要セスト定ムルコトヲ得内國航行ノ小船ニハ此ノ如キモノヲ備ヘシムル必要ナキコト多ク又到底之ヲ備付クルヲ得サルコトアリ

三 監督及ヒ注意ノ義務

船長ハ海員ヲ監督スル義務ヲ負フ而シテ之ヲ怠リタル爲メニ海員カ職務執行上他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ヲ負ヒ之ヲ免カレントスルニハ進ンテ監督ヲ怠ラサリシコトヲ證明セサルヘカラス
利害關係人ニ對シテモ注意シテ其職務ヲ行フヘキ義務ヲ負ヒ之ヲ怠ルトキハ損害賠償ノ責ニ任シ之ヲ免レントスルニハ進ンテ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明セサルヘカラス又航海中最モ利害關係人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニハ船長ニ證明ノ責任ナシ(五五九、五五八、五六五)

四 報告ノ義務

船長ハ遲滯ナク航海ニ關スル重要ナル事項ヲ船舶所有者ニ報告スルコトヲ要ス又航海ノ終ニ於テ遲滯ナク其航海ニ關スル計算ヲ爲シテ船舶所有者ノ

承認ヲ求メ又船舶所有者ノ請求アルトキハ何時ニテモ計算ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス航海ニ關スル計算トハ既ニ受取リタル運送賃後ニ受取ルヘキ運送賃支拂ヒタル費用將ニ支拂フヘキ費用等ヲ算定スルニ在リ(五七三)

第二節 海員

海員ハ船長以外ノ船員ナリ職務ノ種類ニ依リテ甲板部員機關部員及ヒ庶務部員ニ區別セラレ又職務ノ性質各自ノ位地責任等ニ依リテ高等海員及ヒ普通海員ニ區別セラル特別法令ノ適用ニ關シテハ必ス船員ヲ數種ニ區別セサルヘカラサルモ商法ニハ之ヲ區別シテ詳細ニ規定スルヲ不適當ト認メ一括シテ海員トシタリ職務ノ種類資格智識ノ程度等ニ著シキ差アル者ヲ一律ノ下ニ規定スルニハ自ラ多數海員ヲ標準トスヘク保護干渉ニ過クルトモ自由放任ニ流ルヘカラス而シテ多數海員ハ智識少ナク遠キ慮ナク社會上ノ位地低キヲ以テ商法ハ彼等ヲ保護セントシ其規定ノ多數ヲ公益ニ關スルモノトシテ反對ノ契約ヲ許サズ

海員ニ關スル規定ハ多ク公益ニ關シ商法ニ入ルニ適セヌ又強イテ或モノヲ商法ニ入ルトキハ十分ノ規定ヲ爲シ得サルヘシ左リトテ大體ノ原則ノミヲ商法ニ置キ他ハ海員法其他ノ特別法令ニ讓ルトキハ屢規定ノ重複ヲ來シ適用ニ不便ナリトシ海員ノ規定ヲ全然商法ヨリ分離シテ獨立ノ海員法ヲ作ルモノアリ獨逸ハ舊商法ニ海員ノ規定ヲ置キタリシモ一八七二年ニ海員法ヲ出シテ商法ノ海員ノ節ヲ除去シ後新商法ヲ編纂スル際ニモ海員法ヲ特別法ノ儘ニ存シ一九〇二年ニ改正シ現行ノ海員法ト爲シタリ同法ハ公私混合ノ法ナルモ殊ニ公益ニ關スルモノ多ク特別ノ場合ノ外ハ特約ニテ之ヲ變更シ得サルヲ原則トシタリ英國ニテハ商船法中ニ海員ヲ規定シテ十分ニ之ヲ保護ス

我商法ハ海員ニ關スル私法的規定ヲ商法ニ入レタルモ其規定ニシテ公益ニ關スルモノノ多キハ内容ヲ見テ自ラ明カナリ又強イテ私法的ノモノヲ商法ニ入レ公法的ノモノヲ行政法令ニ入レントシタルヲ以テ同一文句ニシテ二法ニ重複セラルモノ多シ例ハ商法第五七六ニ海員ハ其雇入ノ手續カ終ハリタルトキハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乗込ムコトヲ要ス「トシ船員法第六一條ニ

之ヲ重複シテ海員ハ其雇入ノ手續カ終ハリタルトキハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乗込ムコトヲ要ス若シ乗込マサルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ストスル如シ

雇入雇止

商法ハ海員ヲ専ラ船舶所有者ニ對スル關係ヨリ見タリ船長ハ船舶所有者ニ對スルト同時ニ積荷ノ利害關係人等ニ對スルモ海員ハ多ク單純ナル勞務ニ服シ高等海員ニシテ船舶所有者ノ爲メニ代理行爲ヲ爲ス者ハ復代理人トシテ爲スナリ多クハ船長ノ監督ノ下ニ爲スヲ以テ積荷ノ利害關係人等ト直接ノ關係ニ立ツコト極メテ稀ナリ

海員ト船舶所有者ノ關係ハ雇傭關係ナリ商法ニハ雇傭契約ニ因リテ生シタル船員ト稱シ船長サヘモ雇傭ヨリ生ストスレハ海員ノ雇傭ヨリ生スルハ一層明カナリ海員ハ勞務ニ服スルコトヲ約シ船舶所有者ハ之ニ對シテ報酬ヲ與フルコトヲ約スルナリ契約ノ取結其履行等ニハ大體ニ於テ民法ノ原則ヲ適用ス而シテ船舶所有者ノ爲メニ海員ヲ雇入ル者ハ船長ナリ船長ハ船籍港ノ内外ヲ

問ハス海員ノ雇入又ハ雇止ヲ爲ス權限ヲ有ス

海員ノ雇傭契約ハ諾成契約ナリ當事者ノ承諾ノミニテ成ル海員カ船舶ニ乗込ムニ先テ雇入公認ノ手續ヲ經ルヲ要スルモ此手續ハ契約ノ成立要件ニ非ニシテ海員ヲ保護スル行政手續ナリ公認ト云フハ既ニ有效ナル契約ノ成立ヲ意味ス海員カ公認ノ手續ヲ經ルコトハ雇傭契約履行ノ條件トモ見ラルレハ契約ノ履行ノ初トモ見ラル此手續ヲ要スルハ海員ハ遠キ慮ナク十分ニ契約ノ性質及ヒ效力ヲ解セシテ之ヲ取結フコトアルヲ以テ乘船ニ先チ果シテ之ヲ熟知セルヤ否ヤヲ試ミ若シ熟知セサルトキハ教示シ尙將來ノ訓戒ヲモ加フル爲メナリ

海員ノ雇入期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ海員ヲ雇入レタルトキハ其期間ハ之ヲ一年ニ短縮ス(五八五)通常ノ雇傭ハ五年ヲ最長期トスルモ航海ハ冒險業トセラレ假令然ラストスルモ海員ハ遠ク故郷ヲ離レテ風波ト戦フヲ以テ期間ヲ短縮スル必要アルナリ又此ノ如クシテ主人ノ專横ヲ防キ其虐待ヲ監視スル主意モアリ一年ノ期間ヲ終ハリタル後ニ之ヲ更新ス

ルコトヲ得但し其期間ハ更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得又此期間ノ規定ハ大體ニ於テ適當ナレトモ或種類ノ船舶ヲ以テ遠洋航海ヲ爲シ殊ニ隨所ニ寄港シテ貿易ヲ爲ス船舶ニハ不便ヲ感スルヲ以テ或場合各ニハ他ニ監督方法ヲ設クルコトトシ例外トシテ之ヨリ長キ期間ヲ認ムヘシ

海員ノ雇傭契約ハ一般ノ雇傭契約ノ原則ニ依リテ消滅ス期間ノ満了、海員ノ死亡、履行ノ不能等ニ因リテ終了シ已ムヲ得サル事由アルトキハ當事者雙方何時ニテモ契約ノ解除ヲ請求スルコトヲ得ルナリ海商法ニハ民法及ヒ商法一般ノ原則ヲ適用スルコトトシ唯其例外ヲ爲スカ或ハ其外ニ特別規定ヲ要スル場合ニノミ之ヲ規定ス海員ハ船舶カ安全ニ碇泊シ且積荷ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸ノ終ハリタル後ニ非サレハ雇止ヲ請求スルコトヲ得ストスルハ一般規定ノ補充ナリ(五八六)

海商法ニ規定スル雇止ノ事由ヲ法律ノ規定ニ因ルモノ及ヒ各當事者ノ請求ニ因ルモノニ分ツ

一 海員ノ雇入契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス(五八七)

- (一) 船舶カ沈没シタルコト
- (二) 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルコト
- (三) 船舶カ捕獲セラレタルコト

此三場合ニハ契約ノ履行ハ不能ナルカ或ハ殆ント不能ニ近キヲ以テ雇入契約ヲ終了セシムルモノニシテ履行ノ不能ニ因ル契約ノ解除若クハ終了ノ原則ノ準用ト云フモ可ナリ沈没、修繕不能、捕獲ハ何レモ事實問題ナリ船舶カ如何ナル程度ニ至レハ沈没トスヘキカハ明言シ難シ又船舶カ沈没シタリトテ直ニ航海不能ト云ヒ得サルコトモアルモ經濟上及ヒ社會上ノ點ヨリ見テ不能ニ近キヲ以テ常ニ契約ヲ終了セシムルナリ當事者ノ意思ヲ推測シタル所モアラシ修繕不能ハ船長ノ賣却權ニ關シテ述ヘタルト等シ茲ニ云フ捕獲ハ兩國ノ交戦中交戦國ノ軍艦私艦ニ取得ノ意思ヲ以テ船舶又ハ積荷ヲ拿捕セラル事ヲ最モ重ナルモノトシ海賊ニ拿捕セラルコトヲモ包含ス拿捕ニテ契約ハ終了シ必スシモ高等捕獲審檢所ニ於テ捕獲ト確定スルヲ要セス又始審ノ檢定ニ於テ捕獲トセラレコトヲモ要セス

此三場合ニハ契約履行ノ能不能ヲ問ハヌシテ雇入契約ヲ終了セシメ其他ハ原則ノ適用ニ委シタリ船舶ノ解撤又ハ擊碎ノ場合等ハ修繕不能ノ中ニ入ラシモ若シ入ラヌトセハ原則ノ適用ニ依リテ契約ヲ消滅セシムヘシ船舶カ膠沙シ來年ノ雨期ヲ待ツニ非サレハ航行シ得サルカ外國政府ニ抑留セラレ國際談判ノ決定マテハ出港シ得サルカ船舶ノ行方カ不明ナル場合等ニハ各場合ノ情況ニ應ジテ契約ノ終否ヲ決ス

二 船長ハ左ノ場合ニ於テハ海員ヲ雇止ムルコトヲ得(五八一)

- (一) 發航前海員カ其職務ニ不適任ナルコトヲ認メタルトキ
- (二) 海員カ著シク其職務ヲ怠リ又ハ其職務ニ關シ之ニ重大ナル過失アリタルトキ
- (三) 海員カ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
- (四) 海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ
- (五) 不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ

此中前四項ハ海員ノ方面ヨリ見テ雇傭ヲ繼續シ難キ場合ニシテ最後ノモノハ船舶所有者ノ方面ヨリ之ヲ繼續シ得サル場合ナリ不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハト云ヘルハ頗ル廣汎ニシテ船舶所有者ノ方面ヨリ見テ履行ノ不能ト爲ルヘキ場合ノ大半ヲ包含ス

雇止ニ關スル行政上ノ規定ハ雇入ニ關スルモノ程ニ嚴ナラス是レ雇入ハ人ヲ誘導シテ海上ニ引入ルモノナルモ雇止ハ雇傭關係ヲ絶ツモノナルヲ以テナリ國家ノ注意スヘキ所ハ船長ヲシテ漫ニ遠隔ノ地ニ海員ヲ委棄セシメサルニ在リ之カ爲メニ刑事法ノ遺棄罪、商法ノ無貨送還義務等ヲ生ス

三 海員ハ左ノ場合ニ於テハ雇止ヲ請求スルコトヲ得(五八三)

- (一) 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ
- (二) 自己ノ過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ
- (三) 船長ヨリ虐待ヲ受ケタルトキ

法律ニ列擧スルモノハ此三場合ナルモ類似ノ場合ハ他ニ多クアラン例ハ海員ノ數非常ニ減少シ現在ノ儘ニテハ航海ヲ繼續スルコト極メテ困難ナルカ或ハ豫期セサル水雷海賊戦争等ノ危険前途ニ横ハレル場合ノ如シ此等ノ場合ハ列擧中ニ入ラサルヲ以テ海員ハ他ノ規定ノ解釋ニ依リテ雇止ヲ請求シ得ルニ止マル又船長カ海員ヲ雇止ムルコトヲ得ル場合ノ中ニハ不可抗力ニ因リ發航又ハ續航ヲ爲シ能ハサル場合ヲ擧クルニ海員ニ關シテハ不可抗力ニ因リ航海ニ從事スルコト能ハサル場合ヲ擧ケサルハ權衡ヲ失ス

雇入ニ因リテ海員ハ船舶所有者ニ對シテ權利ヲ得義務ヲ負フ雇傭ハ對人ノ關係ニシテ相手方ニ重キヲ置クヲ以テ相手方ノ承諾アルニ非サレハ使用者ハ其權利ヲ第三者ニ讓渡スコトヲ得ス勞務者ハ第三者ヲシテ自己ニ代ハリテ勞務ニ服セシムルヲ得サルヲ原則トス然レトモ船舶ノ場合ニハ例外ヲ設ケ航海中船舶所有者ヲ變スルトキハ海員ヲシテ新所有者ニ對シテ勞務ヲ供スル義務ヲ負ハシメ給料食料等ヲ請求スル權利ヲ得セシメ恰モ新所有者ト雇傭契約ヲ爲シタルモノノ如クヌ(五八四)此ノ如クセサルトキハ航海中ノ船舶ノ讓渡ヲ許シ

タル實效ヲ薄弱ナラシムルヲ以テナリ此場合ヲ説明シテ海員ハ豫メ所有者ノ變更ヲ承諾シタリト見ルヘシト云フ者アレトモ然ラス之カ爲メニハ海員ノ承諾ヲ要セス常ニ新所有者ヲシテ海員ニ對シテ權利義務ヲ得セシムルナリ而モ之カ爲メニ舊所有者ニ對スル海員ノ權利ハ當然消滅スルモノト解スヘカラス獨逸ノ學者ハ此場合ノ狀態ヲ説キテ海員ハ船舶ト契約シタルモノノ如シト云ヘリ新所有者カ外國人ナルトキハ船舶ハ日本ノ國籍ヲ喪失スルヲ以テ海員カ雇止ヲ請求シ得ルハ明カナリ

商法ハ此變例ヲ海員ニ認ムルモ船長ニ認メサルヲ以テ船舶所有者カ變更シタルトキハ船長ハ新所有者ニ對シテ何等ノ權義ヲ有セス立法論トシテハ此點ニ關シテ船長ト海員ヲ同視スルニモ理アルモ商法ハ之ヲ同視セサル主義ヲ採用シタリ

海員ノ權利

海員ニハ公資格ナキヲ以テ其權利ニ公權ニ類スルモノナシ海員ノ權利ハ雇傭契約ニ因リテ生シ主トシテ船舶所有者ニ對スル私權ナリ而モ海員ヲ保護スル

爲メ豫メ抛棄シ得サルモノ多ク又船舶所有者ハ之ニ對シテ常ニ無限ノ責任ヲ負フ

海員ノ權利左ノ如シ

一 報酬請求權

海員ハ船舶所有者ニ對シテ報酬ヲ請求スル權利ヲ有ス報酬ニハ金錢以外ノ有價物又ハ債權アリ得ルモ多クハ金錢ナリ又報酬タル金錢ニ如何ナル名稱ヲ付シ之ヲ給付スルニ如何ナル體様ヲ以テスルモ可ナレトモ多クハ給料ト稱シテ定期ニ給付ス商法亦多數ノ場合ヲ想像シテ給料ト云ヘリ故ニ給料請求權ト云フハ却テ商法及ヒ事實ニ合スル所切ナランモ給料ニ限ラサルヲ示ス爲メ廣ク報酬請求權ト云フナリ

給料ヲ定ムル方法ニハ種々アリ航海ヨリ生スル利益ノ一部ヲ分配スルコトアレハ利益ノ有無ニ拘ハラヌ一航海ニ付キ若干ト定ムルコトアリ後者ヲ航海報酬ト稱ス昔ハ運送賃ハ給料ノ母ナリト稱シテ船舶所有者カ運送賃ヲ得サルトキハ海員ハ給料ヲ得ル能ハサルコトアリシモ今ハ改マリテ運送賃ノ

有無ニ拘ハラヌ之ヲ給シ定額ヲ以テスルコト普通ト爲リ遂ニ利益ノ分配ヲ以テスル契約ハ組合ニシテ雇傭ニ非ス雇傭ニハ必ス定額ヲ要ストノ誤說ヲ生シ又或國ノ如キハ利益ノ分配ヲ以テ給料ニ代フルコトヲ得スト規定スルニ至レリ之ニ依リテ定額給付ノ普及ヲ知ルヘシ

給料ヲ定ムルニ日數ヲ以テスルモノト里數ヲ以テスルモノアリ何レモ不可分トシ契約シタル日數又ハ里數ヲ悉ク服務スルニ非サレハ之ヲ請求シ得サルヲ原則トスルモ海員ヲ保護スル爲メ左ノ如キ特別規定ヲ爲セリ

- (イ) 一航海ニ付キ給料ヲ定メタル場合ニ於テ航海ノ日數又ハ里數ヲ短縮シタルトキト雖モ海員ハ給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得日數ヲ延長シタルトキハ其延長ノ不可抗力ニ因ルト否トヲ問ハス割合ニ應シテ給料ノ増加ヲ請求スルコトヲ得ヘク里數ヲ延長シタルトキハ不可抗力ニ因ラスシテ延長シタル場合ニノ増加ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(五七九)日數ト里數トニ此差ヲ附シタルハ延長ノ體様計算ノ便宜等ニ因ルナランモ寧ロ之ヲ同一トシ常ニ増加スルコトトスヘシ

(ロ) 海員カ職務ヲ行フニ因リテ疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタルトキハ給料ノ全額ヲ請求スルコトヲ得(五七八)

(ハ) 海員カ就役ノ後死亡シタルトキハ職務ヲ行フニ因リテ死亡シタルト否トヲ問ハヌ死亡ノ日マテノ給料ヲ得セシメ職務ヲ行フニ因リテ死亡シタルトキハ葬式費用ヲモ得セシム(五八〇)本人死亡ノ場合ナルヲ以テ之ヲ請求スル者ハ相續人ナリ

尙船長ヨリ雇止ラレタル場合ニハ其雇止事由ノ如何ニ依リ或場合ニハ多額ノ給料ヲ請求シ得ヘク他ノ場合ニハ少額ヲ請求シ得ルノミ(五八一、五八二)雇傭契約ヲ爲スニ當リ雙方ノ給付スヘキ額ヲ一定スルトキハ何レモ其以上ヲ給付スルヲ要セス以上ヲ給付スルトキハ新契約ヲ爲シタリト見ルカ贈與又ハ事務管理ト見ルナリ海員カ一定ノ乗組員ノ存在ヲ條件トシテ或勞務ニ服スルコトヲ約シタル後其定員減少スルトキハ最早契約ヲ履行スルヲ要セヌ又若シ海員ニシテ或一定量ノ勞務ヲ供スルコトヲ約シタルトキハ定員ノ減少シタル場合ニ於テモ其以上ノ勞務ヲ供セスシテ可ナリトシ之ヲ供シタ

ルトキハ増給ヲ得ヘキ理ナリ然レトモ實際ニハ勞務ノ量ヲ明定シ難ク且海員ハ契約ノ際ニ十分盡カスヘシト云フヲ通常トシ慣習亦此ノ如クナルヲ以テ定員ノ減少ニ因リテ殘員ノ勞務ヲ増シタル場合ニ増給ヲ得ントスルニハ却テ特約ヲ要ス獨逸法ニテハ或場合ノ増給ヲ法律ニ規定セリ海員ハ給料ニ關シテ保險契約ヲ取結ヒ得ルコト船長ニ等シ

二 食料請求權

食料ハ海員カ船舶所有者ヨリ受クヘキ報酬ノ一ナルモ(五七七)通常直ニ消費シ且其價格ハ比較的小ナルヲ以テ給料ト區別セラル食料ハ海員ノ服役中請求シ得ルモノナリ服役中ハ多ク船舶ニテ勞務ヲ供スルモ時トシテハ船舶ニ關シ陸上ニテ勞務ヲ供スルコトアリテ其場合ニモ尙食料ヲ受クルコトヲ得疾病傷痕ノ爲メ現實ニ服務スルコト能ハサル期間中モ亦然リ

食料ハ金錢ナルコトアリ現物ナルコトアリ現物ナルヲ通常トシ相當ノモノナルヲ要ス屢特別法令ヲ以テ海員ニ如何ナル食料ヲ給スヘキカヲ明定スルコトアリテ此點ニ關スル英國法ヲ尤モ周到トス同國ノ一九〇六年ノ新法ハ

船舶ニ積込ムヘキ各種ノ食料品ノ最少限度ニ關シ其種類及ヒ分量ヲ定メタル最密ナル表ヲ示シタリ食料ノ中ニハ飲料ヲ包含ス

三 無償送還請求權

海員カ雇入港以外ノ地ニ於テ雇止ラルトキハ雇入港ニ歸來シ得サルコトアリ之ヲ送還セサルハ海員ニ對シテ酷ナル外雇國辱ト爲ルヲ以テ公益上船舶所有者ヲシテ送還セシムルナリ公益ニ關シ特約ヲ以テ變更スルヲ得ス送還ハ其海員ノ服役シタル船舶他ノ船舶他人ノ船舶又ハ陸路ヲ以テスルコトアリ何レニスルモ相當ノモノナルヲ要ス雇入港ニ向ツテ航行スル船舶ニ周旋シ海員之ヲ承諾スルトキハ無償送還ニ代フルヲ得ルモ之ヲ強ユルコトヲ得ス又雇入港マテノ送還費用ヲ提供シ海員之ヲ承諾スルトキハ無償送還ニ代フルヲ得ルモ海員カ之ヲ受取ラスシテ現實ノ送還ヲ欲スルトキハ必ス送還セサルヘカラス海員ニハ無償送還ニ代ヘテ費用ヲ請求スル權アルモ船舶所有者ニハ換行ノ權ナシ(五八八)

無償送還ノ場合トシテ商法ニ規定スルモノ左ノ如シ(五八一、五八三、五八七)

四

(九) 船舶カ捕獲セラレタル爲メ雇入契約カ終了シタルトキ
治療看護費請求權

- (一) 海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リテ雇止メラレタルトキ但海員ニ過失アルトキハ此限ニ在ラス
- (二) 不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタル爲メ雇止メラレタルトキ
- (三) 特別ノ事由ナキニ雇止メラレタルトキ
- (四) 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタル爲メ雇止ヲ請求シタルトキ
- (五) 自己ノ過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタル爲メ雇止ヲ請求シタルトキ
- (六) 船長ヨリ虐待ヲ受ケタル爲メ雇止ヲ請求シタルトキ
- (七) 船舶ノ沈没ニ因リテ雇入契約カ終了シタルトキ
- (八) 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタル爲メ雇入契約カ終了シタルトキ

海員カ服役中疾病ニ罹リ又ハ傷痕ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ三ヶ月ヲ超エサル期間内ノ治療及ヒ看護ノ費用ヲ負擔ス(五七八)普通ノ使用人ニハ之ヲ與ヘサルモ海員ハ常ニ故郷ヲ離レテ風雨ニ暴露シ風土氣候ノ異ナリタル地ニ往來シテ職務ヲ執リ又汽器汽罐風帆等ノ危險物ヲ操掌シ疾病傷痕ヲ受ケ易キヲ以テ船舶所有者ヲシテ其治療看護費ヲ負擔セシムルナリ此負擔ハ海員ノ疾病傷痕カ其海員ノ過失ヨリ生シタル場合ニモ之ヲ負ハシメ不行跡其他大過失ニ因ル場合ニノミ然ラストス此規定ハ公益ニ關シ特約ヲ以テ變更スルヲ得ヌ但船舶所有者カ治療看護ヲ施行シタルトキハ此義務ヲ履行シタルコトト爲ルヘシ

此權利ハ海員保護ノ點ヨリ云フトキハ素ヨリ可ナルモ願ミテ船舶所有者ノ方面ヨリ見ルトキハ聊カ酷ナラサルニ非ス何トナレハ海員カ服役中疾病ニ罹リタルノ一事ヲ以テ海員ニ此權利ヲ與ヘ必スシモ病源ノ雇入前ニ存スルト否トヲ問ハサルヲ以テ惡海員往々之ヲ濫用シ眞ニ船舶ニテ職務ヲ執ル意ナク唯治療看護ヲ得ンカ爲メニ乘船スルコトモアレハ此ノ如ク甚タシキニ

至ラサルモ船舶ニ乗込ミテ直チニ疾病ニ罹リ船舶所有者ハ治療看護ヲ爲ス爲メニ海員ヲ雇入レタル觀ヲ生スルコトアレハナリ然レトモ船舶所有者ハ特約ヲ以テモ此義務ヲ免カレ得サルカ故ニ海員ヲ雇入ル際克ク海員ノ健康ヲ診斷シ且保證人ヲシテ其治療看護費ノ辨償ヲ約セシムヘシ

海員ノ船舶所有者ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス(五八九)

此外未タ我國ニナクシテ他國ノ新法ニ生シタルモノハ海員ノ休養權ナリ勞働時間ヲ十時間トシ之ヲ終ハレハ休養スルコトヲ得トスルモノアリ獨逸ノ新海員法ハ此點ニ關シテ最モ詳細ナリ

海員ノ義務

海員ノ義務ハ船舶ニテ勞務ヲ供スル一事ニ殆ント集注ス服役ニ先チテ管海官廳ノ公認ヲ經ルコトハ契約ノ實行ノ條件トモ見ラルレハ契約ノ履行ノ初トモ見ラル公認ヲ經タル後ニハ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乗込ムコトヲ要ス法文ニハ時ニ關シテ規定スルニ止マルモ宜シク廣キ文字ヲ用ヒテ乘込方法

ヲモ合マシムヘシ即チ船長ノ指圖ニ從ヒ乘込ムコトヲ要ストスヘシ(五七六六〇三)

海員ハ船舶ニ乘込ミタル後ハ漫リニ之ヲ去ルヲ得ス船長ノ許可ヲ得スシテ去ルトキハ脱船ト稱シ禁錮ニ處セラレ又給料及ヒ遺留品ヲ沒收セラルルコトアリ(船員法六一六四)

第三章 運送

運送ノ沿革及ヒ運送契約ノ法律上ノ性質ハ商行爲編ノ運送營業ノ章ニ於テ説明シタリ運送ハ場所ノ如何ニ依リテ之ヲ陸運海運ニ分チ陸運ハ陸上又ハ湖川港灣ニ於テスルモノトシ海運ハ港灣以外ノ海ニ於テスルモノトス海商法ニハ海運ヲ規定シ海運ハ必ス船舶ヲ以テスルカ故ニ之ヲ船舶運送ト稱スルコトアリ而シテ海商法ニ云ヘル船舶トハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スルモノナルヲ以テ海運ヲ商船運送ト稱スルコトヲ得

海運ハ常ニ船舶ヲ以テ之ヲ爲スカ故ニ海運ニハ運送具ニ依ル區別ナシ唯運送ノ目的物カ物品ナルカ旅客ナルカニ依リテ物品運送及ヒ旅客運送ト區別スルノミ

第一節 物品運送

海商法ニハ物品運送ノ規定ヲ細分シテ總則及ヒ船荷證券ノ二款トセリ體裁及

ト便宜上ヨリ出テタルニ過キス海運ニ船荷證券アル如ク陸運ニハ貨物引換證アリ若シ海運ニテ總則ト船荷證券ヲ別ニ規定スヘキ必要アリトモ此細分ハ必要ノ總則ト貨物引換證ヲ別ニ規定スヘキ必要アリト云フヲ得ンモ此細分ハ必要ノ有無若クハ法理上ノ理由ニ出ツルニ非ス海運ハ陸運ニ比シテハ發達シ多クノ規定ヲ有シ又海運ニ伴ヘル船荷證券モ發達シテ特種ノ法理ヲ生シ其數通ノ發行各通間ノ關係等ヲ詳細ニ規定スヘキ必要アルヲ以テ別款ト爲シタルノミ

第一款 總 則

海運ノ沿革ヲ見ルニ最初ハ貨物ノ所有者カ自己ノ物品ヲ運送スル爲メ船舶ヲ製造買得シ船長以下ノ船員ヲ雇入レテ運送ニ從事セシメタリ此場合ニハ運送ノ事實アルモ未タ運送ノ兩當事者ナキヲ以テ運送契約ヲ生セス後ニ貨物ノ所有者ハ自ラ船舶ヲ所有スルヲ不利益トシ他人ノ船舶ヲ賃借シ自己ノ欲スル船員ヲ乘組マシメテ物品ヲ運送セシメタリ又往々自ラ船長ト爲リ海員ヲ指揮シテ運送ニ從事シタルコトアリ此場合ニハ船舶賃借アルモ未タ運送契約ナシ然レトモ屢船舶ヲ賃借スルハ類ニ堪ヘストシ他人ノ艦裝セル船舶ヲ備船シテ

物品ヲ運送セシメントシ又他ノ一方ニハ船舶ヲ艦裝シテ他人ノ爲メニ物品ヲ運送スルヲ業トスル者ヲ生シ兩者ノ合意ヨリ備船契約ヲ生シタリ初メハ船舶全部ヲ備船シタリシヲ船舶ノ大ト爲ルニ從ヒ一人ニテ備船スルヲ不利トシ又貿易ノ發達ニ伴ヒ同地方ニ貨物ヲ送付セントスル者ヲ多ク生シテヨリ同一ノ船舶ヲ分割備船シテ一部ノ備船ヲ生シタリ而モ尙備船ハ船舶ノ積載部分ヲ得テ運送セシムルモノニシテ少貨ノ運送契約ニ適セストシ船舶ノ積載部分ニ重キヲ置カヌ唯物品ヲ送付スレハ可ナリトシ遂ニ個品ノ運送契約ヲ生スルニ至レリ備船運送ハ特ニ或船舶ヲシテ運送セシムルモノナルニ個品運送ハ廣ク何人ノ爲メニモ運送シ其船舶ヲ一般ノ貨主ニ開放スルヲ以テ後者ヲ一般船舶ニ依ル運送ト云フコトアリ英國法ニテハ然リ獨逸法ハ運送ノ目的物ヨリ見テ個品運送ト云ヒ我國ハ獨逸法ヲ採用シタリ

船舶増大シ貿易發達スルニ從ヒ益多クノ個品運送ヲ生シ今ヤ其數備船ニ依ルモノヨリモ遠カニ多シ故ニ商法ニシテ多數ノ場合ニ應スルニハ個品運送ヲ主トシ備船契約ヲ後ニスヘキ理ナルモ何國ノ商法モ必ス先ツ備船契約ヲ詳細ニ

規定シ個品運送ニハ之ヲ準用シ後者ノ爲メニハ僅カニ二三ノ特別規定ヲ爲スニ止マレリ其此ノ如クヌル所以ハ從來ハ多ク備船契約ナリシヲ以テ法律モ亦多ク之ヲ規定シタルニ因リ又一ハ契約ノ性質ニ因ルナリ備船契約ハ船舶ヲ契約ノ目的トスルヲ以テ種々ノ特別規定ヲ爲ス必要アルモ個品運送ハ單純ナル契約ニシテ多ク規定スヘキ要ナク殊ニ商法ハ陸運ニ關シテ專ラ個品運送ヲ規定シタルヲ以テ之ヲ海商法ニ準用スルトキハ他ニ多ク規定ヲ要セサルナリ

備船契約ノ取結

備船契約ハ當事者ノ一方カ船舶ヲ相手方ノ用ニ供シテ運送スルコトヲ約シ相手方ハ之ニ對シテ報酬ヲ支拂フ契約ナリ

備船契約ニ於テハ船舶ノ占有ハ必ス船舶所有者ニ存シ船長ハ所有者ノ爲ニ運送ヲ實行シ備船者ハ船舶所有者ヲシテ運送ヲ爲サシムル債權ヲ有スルニ過キス外國ニテハ備船契約及ヒ船舶賃借契約ヲ等シク「チャーター・パーティー」ト云フヲ以テ其名稱ノミニテハ何レヲ指スカ不明ナルモ我國ニテハ一ヲ賃借借契約トシ又一ヲ運送契約トシタルヲ以テ二者ノ區別ハ明白ナリ

備船契約ノ個品契約ニ異ナル所ハ船舶ニ重キヲ置キ船舶所有者ヲシテ運送ヲ爲サシムルニ止マラス特定ノ船舶ヲシテ之ヲ爲サシメ以テ船舶ヲ契約ノ目的トスルニ在リ故ニ屢備船者ハ船舶ヲ使用シテ運送ヲ爲サシムト云フコトアリ誤ニ非サルモ使用ト云フトキハ船舶ノ占有ハ備船者ニアル如ク誤解セラシムルヲ以テ之ヲ避クルヲ可トス強イテ使用ナル語ヲ用キント欲スレハ船舶ノ積載部分ナル空間ヲ使用スト云フヘシ

備船契約ハ諾成契約ナリ當事者ノ合意ノミヲ以テ成ル或法律ニ備船契約ハ書面ヲ作成シテ締結スヘシト規定セルヲ學者ハ解シテ證據ノ爲ナリ契約ノ成立ニ必要ナラスト解スル程ナルヲ以テ此ノ如ク云ハサル法律ノ下ニ於テ之ヲ成立要件トセザルコト明カナリ或國ノ法律ハ證據ノ爲メニ必ス之ヲ作成セシメ我國昔時ノ海法例ハ海路諸法度亦然ルモ現行法ハ當事者ノ意思ニ任シ各當事者ハ相手方ノ請求ニ因リ證書ヲ交付スヘキモノトセリ

船舶ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタルトキハ各當事者ハ相手方ノ請求ニ因リ運送契約書ヲ交付スルコトヲ要ス(五九〇)船舶ヲ運送契約ノ目的ト爲ス契約ハ

備船契約ナリ果シテ然ラハ證書ノ名稱ヲモ備船契約證書トシテ容易ニ其實ヲ知ラシムヘシ運送契約ニハ備船ニ依ルモノト個品ノモノトアリテ法律ハ總稱シテ運送契約ト云ヘルヲ以テ或證書ヲ運送契約證書ト云フトキハ總テノ運送契約ノ證書ト誤解セラル虞アリ

備船契約書ハ如何ニ作成スルモ可ナリ法律ニテ一定ノ形式ヲ必要トスル場合ニハ必ス記載事項ヲ定ム例ハ船荷證券貨物引換證倉庫證券等ノ有價證券又ハ運送狀ノ如シ然ニ備船契約書ニ關シテハ記載事項ヲ定メサルヲ以テ當事者ノ隨意ニ作成シテ可ナリ極端ニ云フトキハ單ニ或船舶ヲ目的トシテ兩當事者ノ間ニ備船契約ヲ取結ヒタリト云フノミニテモ足ルヘシ記載事項ノ多クハ或ハ商慣習ニ依リ定マル所アランモ如何ナル程度ニ至レハ備船契約書ト云ヒ得ルカニ關シテ往々爭ヲ生スルヲ以テ宜シク法律ニ記載ノ要件ヲ定ムヘシ相手方カ如何ナル證書ニテモ満足スルトキハ問題ヲ生セサルモ殊更ニ證書ヲ請求スル程ノ者ハ必ス或程度ニ形式ノ備ハルモノヲ欲スルナラン

備船契約書ノ存スル場合ニモ船長ハ備船者ノ請求ニ因リテ船荷證券ヲ交付ス

而シテ船荷證券ニハ運送ニ關スル事項ヲ記載スルヲ以テ同一ノ契約ニ關シテ二個ノ證書ヲ生スヘシ此場合ニ船荷證券中ニ備船契約書ノ存在ヲ前提シ其契約内ニ於テ證券ヲ發行スト記載スルトキハ證券自ラ兩者ノ關係ヲ定ムルヲ以テ明カナルモ然ラザルトキハ何レヲ先キニスヘキカノ疑ヲ生ス決シテ曰ク船荷證券ヲ先キニスヘシ備船契約書ハ法律ニテ作成ヲ命スルニ止マリ毫モ其形式ヲ定メサルニ船荷證券ハ法律ニ嚴格ナル形式ヲ定メタルヲ以テナリ又備船契約書ノ證據ト爲ルコトハ解釋ニ依リテ知ルコトナルニ船荷證券ニ關シテハ法律ハ船荷證券ヲ作リタルトキハ運送ニ關スル事項ハ運送人ト所持人トノ間ニ於テハ船荷證券ノ定ムル所ニ依ルトセルヲ以テ(六二九、三三四)之ヲ先キニスヘキハ至當ナリ

備船契約ハ船舶ノ全部ヲ目的トスルコトアリ一部ヲ目的トスルコトアリ名ケテ全部備船又ハ一部備船ト云フ全部備船殊ニ其期間ヲ以テスルモノハ貸借ニ似タル所多シ一部備船ニハ船舶ノ一定部分ヲ目的トスルモノアレハ全積込ノ邊分ト稱シテ場所ヲ限定セサルモアリ

備船契約ヲ取結フ際ニ船積期間又ハ陸揚期間ヲ定ムルコトアリ此期間ヲ碇泊期間ト云ヒ備船者ハ此期間内ニ船積及ヒ陸揚ヲ爲ササルヘカラス之ヲ超ユルトキハ超過碇泊ト爲リテ碇泊料ヲ支拂ハサルヘカラス(五九四、六〇五)

備船契約ノ效力

備船契約ハ雙務契約ナリ之ニ因リテ當事者雙方ニ義務ヲ生シ相手方ニハ之ニ對當スル權利ヲ生スルコト陸運契約ニ於ケルト等シ船舶所有者ノ權利トスル所ハ備船者ノ義務ニシテ其義務ハ備船者ノ權利ナルヲ以テ何レノ方面ヨリ見ルモ同一ニ歸スルモ運送者タル船舶所有者ノ方面ヨリ見ルヲ便トス

一 船舶所有者ノ權利

船舶所有者ハ運送契約ノ當事者トシテハ運送者ト稱シテ可ナルモ海運ヲ爲ス者ハ船舶所有者及ヒ之ト同視スヘキ者(賃借人ノ如キ)ニ限ルヲ以テ直チニ其名ヲ示シテ船舶所有者ト云フ

茲ニ船舶所有者ノ權利義務トシテ舉クルモノノ中ニハ商法ニ船長ノ爲シ得ルコト又ハ爲スヘキコトトシテ規定セルモノアリ船長ハ公資格ヲ有シ單ニ船舶

所有者ノ使用人兼代理人トシテ行爲ヲ爲スニ止マラサレトモ商法ニ規定スルモノハ專ラ私法的ノモノナルヲ以テ法文ノ表面ニ船長ノ行爲トセルモノニシテ船舶所有者ノ權義ト爲ルモノ多シ本章ニ規定セルモノヲ示サン
船舶所有者ノ權利左ノ如シ

一 運送費請求權

船舶所有者ノ權利ノ最モ重ナルハ運送費請求權ニシテ他ハ之ニ伴フニ過キヌ運送費ハ運送ナル行爲ニ對スル反對給付ニシテ請負ニ於ケル報酬ト其性質ヲ等フシ不可分ヲ原則トシ且運送ヲ終リテ後ニ得ヘキコト陸運ノ運送費ト異ナル所ナシ

運送費ノ定メ方ハ全部備船ナルカ一部備船ナルカニ依リテモ異ナレハ運送スヘキ海面ニ依リテモ異ナレリ多クハ特約及ヒ商慣習ニ委シ商法ハ重量又ハ容積ヲ以テ運送費ヲ定メタル場合及ヒ期間ヲ以テ之ヲ定メタル場合ノ計算方法ヲ規定スルノミ

運送費ヲ定ムルニ運送品ノ重量ヲ以テスルコトアリ石炭百噸ヲ運送スルニ

當リテ一噸ノ運送賃何程ト約スルカ如シ此場合ニ石炭カ船積陸揚等ノ爲メニ廢港ナルカ運送中或事由ニ因リテ重量ヲ減シタルトキハ運送賃ハ船積當時ノ量ニ依リテ算スルカ引渡ス時ノ量ニ依ルカノ問題ヲ生ス商法ハ運送賃ノ性質ヨリ之ヲ決メテ運送ヲ終リテ引渡ス時ニ於ケル重量ニ依リテ之ヲ定ムトシタリ運送品ノ容積ニ依リテ運送賃ヲ定ムル場合ニ於テモ亦然リ(六〇八)之ヲ法律ノ規定トスレトモ當事者ハ之ニ反シ船積當時ノ重量又ハ容積ヲ以テ運送賃ノ額ヲ計算スト定ムルモ可ナリ稍運送ノ報酬タル性質ニ反スル嫌アルモ亦運送賃ノ定メ方ト見ルヲ得

期間ヲ以テ運送賃ヲ定ムルヨトハ多ク全部備船ニ生ス日又ハ年ヲ以テ定ムルヨトアルモ多クハ月ヲ以テシ就中多キハ六ヶ月ナリ次テ三ヶ月ナリ之ヲ期間備船ト稱シ其場合ニ於ケル運送賃ノ定メ方ニハ三主義アリ運送ナル事實ニ重キヲ置キ船舶發航ノ日ヨリ起算シテ終航ノ日マテトスルモノ船舶ノ使用ニ重キヲ置キ船積著手ノ日ヨリ起算シテ陸揚終了ノ日マテトスルモノ二者ヲ折衷シ發航ノ日ヨリ起算シテ陸揚終了ノ日マテトスルモノナリ我國

ハ第二ノ主義ヲ採リ運送賃ノ額ハ運送品ノ船積著手ノ日ヨリ其陸揚終了ノ日マテノ期間ニ依リテ定ム(六〇九)

運送賃ノ計算ニハ船積著手ノ日ヨリ陸揚終了ノ日マテヲ算入スルヲ原則トシ左ノ例外アリ

(一) 船舶カ不可抗力ニ因リ發航港若クハ航海ノ途中ニ於テ碇泊ヲ爲スヘキトキ又ハ航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ其期間ヲ算入セス備船者ニ過失ナクシテ船舶ノ用ヲ得サレハナリ

(二) 船積期間又ハ陸揚期間經過ノ後運送品ノ船積又ハ陸揚ヲ爲シタル日數ヲ算入セス此日數ニ應スル報酬ハ別ニ支拂ヘハナリ
船舶所有者カ運送賃ヲ請求スルヲ得ルハ運送契約ニ基キテ運送ヲ爲シタルカ爲ナリ然レトモ自ラ契約上ノ義務ヲ履行セスシテ而モ運送賃ノ全額ヲ得ルコトアリ左ノ場合ナリ

(一) 船長カ航海繼續ノ必要費ヲ支辨スル爲メ積荷ヲ賣却又ハ質入シタルトキ(五六八) 此場合ハ積荷ノ所有者ヲシテ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於

ケル陸揚港ノ價格ヲ標準トシテ補償ヲ得セシムルカ故ニ備船者ハ積荷カ完全ニ運送セラレタルト同一ノ位地ニアルヲ以テナリ

(二) 船長カ航海繼續ノ必要ニ應スル爲メ積荷ヲ航海用ニ供シタルトキ(五七

二) 此場合ニモ備船者ヲシテ積荷カ完全ニ運送セラレタルト同一ノ位地ニアラシムルヲ以テナリ

(三) 船長カ積荷ヲ共同海損ノ目的ト爲シタルトキ 共同海損ノ場合ニハ海損債務者ヲシテ海損債權者ニ辨償セシメ被害者ヲシテ積荷カ完全ニ運送セラレタルト同一ノ位地ニ在ラシムルヲ以テ運送費ノ全額ヲ支拂ハシムルナリ果シテ此主意ヨリ運送費ヲ支拂ハシムトセハ先ツ其備船者ヲシテ海損債務者ヨリ海損ノ辨償ヲ得タル後ニ之ヲ支拂ハシムルカ或ハ海損債務者ヨリ直チニ船舶所有者ニ備船者ノ運送費ニ當ルモノヲ支拂ハシメ備船者ヲシテハ自己ノ分擔額ヲ支拂ハシムルニ止メサルヘカラス(六四三、六四七)

(四) 運送品カ其性質若クハ瑕疵又ハ備船者ノ過失ニ因リ滅失シタルトキ

此點陸運ノ場合ニ同シ(三三六)

運送品ノ性質若クハ瑕疵ノ多クハ物質上ノモノヲ意味スルモ其外ニ社會上ノ性質若クハ瑕疵ヲモ含ミ運送品カ戰時禁制品、密輸入品等ナル爲メニ捕獲沒收セラレタル場合ニハ備船者ハ運送費ノ全額ヲ支拂ハサルヘカラス國際法學者中ニハ此場合ニハ捕獲國ヨリ運送費ヲ支拂フヘシト云フ者アリ

運送費ハ不可分トシ船舶所有者カ悉ク之ヲ得ルカ又ハ全然之ヲ得サルカヲ原則トスルモ或場合ニハ其一部ヲ得ルコトアリ後ニ備船契約ノ消滅ト題シテ説ク所ヲ見ヨ

運送費ノ請求ハ備船者ニ對シテ爲スヲ當然トス假令備船契約ニ於テ運送費ハ荷受人之ヲ支拂フト約スルモ荷受人タル第三者ハ運送費支拂ノ義務ヲ負フコトナシ荷受人カ此義務ヲ負フハ自ら負フ意思ヲ表示シタルトキナリ法律ハ之ニ關シテ規定シ荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送契約ノ趣旨ニ從ヒ運送費ヲ支拂フ義務ヲ負フトセリ(六〇六)自己ニ宛テタル運送品ヲ受

取リタル者ハ其運送貨ヲ支拂フハ當然ト認メタルナリ茲ニ運送品ヲ受取ル
ト云フハ現實ニ運送品ノ占有ヲ得ルカ少ナクトモ之ト同視シ得ル行爲ヲ爲
ヌコトナリ本問ニ關シテ船荷證券ノ受取ヲ運送品ノ受取ト同視スルカ否カ
ハ別問トシ假ニ同視スルモ尙運送貨支拂ノ義務ト運送品ノ現實引渡ノ義務
トハ同時ニ履行スヘキヲ以テ荷受人ハ船荷證券ヲ受取リタルノミニテハ運
送貨ヲ支拂フヲ要セサルヘシ

二 碇泊料請求權

碇泊料請求權ハ船舶所有者カ船舶ノ超過碇泊ニ對シテ報酬ヲ請求スル權利
ナリ船舶所有者カ契約ニ從ヒテ運送ヲ始ムルニハ先ツ運送品ヲ船積スルコ
トヲ要シ運送ヲ終ハリテ後ニ之ヲ引渡スニハ陸揚スルコトヲ要ス之カ爲メ
豫メ一定ノ期間ヲ定メ其間ノ碇泊ニ對スル報酬ハ運送貨ノ中ニ包含セシム
然レトモ此期間經過ノ後ニ爲ヌ碇泊ニ對スルモノハ運送貨ノ中ニ含まレサ
ルヲ以テ特別ニ請求スルコトヲ得セシメ之ヲ碇泊料ト云フナリ商法ニハ期
間經過ノ後運送品ヲ船積又ハ陸揚シタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキトキ

ト雖モ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得トスルハ是レナリ碇泊料ノ中ニハ純
然タル報酬ノ性質ト違約ニ基ク損害賠償ノ性質ヲ併合スルモ法律ハ前者ニ
重キヲ置キテ報酬ト云ヘリ此點ヨリ見ルトキハ碇泊料ハ大ニ運送貨ニ類シ
多クノ場合ニ兩者ヲ同一ニ取扱フモノトス

碇泊料ノ請求ハ備船者ニ對シテ爲ヌヲ當然トシ荷受人カ運送品ヲ受取リタ
ルトキハ荷受人モ亦之ヲ支拂フ義務ヲ負フ此點ニ於テハ全ク運送貨ニ等シ
トシ改正規定ニ之ヲ明言セリ附言センニ碇泊料ナル法語ハ改正規定ニテ初
メヲ生シタルモノナリ(六〇六)

三 供託權

船長カ運送品ヲ引渡サントスルモ荷受人カ受取ルコトヲ怠リタルトキハ船
長ハ之ヲ供託スルコトヲ得船長カ荷受人ヲ確知スルコト能ハサルトキ又ハ
荷受人カ運送品ヲ受取ルコトヲ拒ミタルトキハ船長ハ之ヲ供託スルコトヲ
要ス何レノ場合ニモ船長ニ供託權アルモ前ノ場合ニハ船長ハ供託ヲ爲シ得
ルニ止マリ必スシモ供託ヲ要セサルニ後ノ場合ニハ必ス供託セサルヘカラ

サルナリ是レ前ノ場合ニハ荷受人ハ運送品ノ受取ヲ怠ルノミニシテ拒ムニ非ス故ニ督促スルトキハ或ハ受取ルヘキ望アルヲ以テ必スシモ供託ヲ要セサルモ後ノ場合ニハ到底受取ラサルコト明カナルヲ以テ供託ヲ必要トスルナリ從テ通知ノ如キモ異ナリテ前ノ場合ニハ荷受人ニ對シテ發セシメ後ノ場合ニハ備船者ニ對シテ發セシム

四 競賣權(留置權)

船舶所有者ハ運送貨碇泊料等ノ支拂ヲ受クル爲メ運送品ヲ競賣スルコトヲ得(六一〇)

運送人ハ運送貨等ニ關シテ留置權ヲ有シ其支拂ヲ受クルマテハ之ヲ引渡ササルコトヲ得之ヲ一般ノ留置權トシ民法商法ニ規定スル所ナリ然レトモ之ノミニテハ足ラストシ陸上運送人ニハ特殊ノ留置權ヲ與ヘ(三二四三四九)船舶所有者ニハ競賣權ヲ與ヘタリ沿革ヲ尋ズルニ船舶所有者ハ運送貨ノ擔保トシテ運送品ノ上ニ留置權ヲ有シ初ハ物カ船舶ニ在ル間ノミ之ヲ有シタリシヲ後ニハ陸揚後ニモ續有スルコトト爲リ遂ニハ荷受人ニハ運送品ヲ引渡

シタル後ニモ其上ニ權利ヲ行フコトヲ得トシ而シテ進ンテ特別ノ留置權ノ外ニ競賣權ヲモ附與シ以テ船舶所有者ヲシテ自ラ物ヲ競賣シテ賣得金ヨリ辨濟ヲ受クルコトヲ得セシメタリ唯濫用ヲ防ク爲メ競賣ニハ裁判所ノ許可ヲ必要トス

船舶所有者ノ有スル特別ノ留置權及ヒ競賣權ハ運送品引渡ノ日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキ又ハ第三者カ占有ヲ取得シタルトキハ消滅ス

五 書類ヲ得ル權

此權利ハ船長カ運送ヲ履行スル際行使スルモノニシテ獨立ノ權利トスル程ニ非サルモ亦權利ト見ルモ可ナルヲ以テ掲ケタリ或書類ナキトキハ船長ハ發航港ヲ出港シ又ハ到達港ニ入港シ得サルコトアリ航海中ニ困難ヲ感スルコトアリ積荷ヲ陸揚シ得サルコトアリ故ニ備船者ヲシテ之ヲ船長ニ交付セシム(六〇四)其書類ハ航路其他ノ狀況ニ依リテ異ナルモ平時ニ在リテハ關稅領收證輸出輸入ノ特許狀等ニシテ戰時ニ在リテハ通航免狀運送品ノ戰時禁制品ニ非サル證明書ナリ交付スヘキ時期ハ船積期間内トス此外備船者ハ船

長ノ請求ニ因リ船荷證券ニ署名シタルモノヲ交付スルコトヲ要ス
六 陸揚放棄ノ權

船長ハ法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ船積シタル運送品ヲ何時ニテモ陸揚シ若シ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ホス虞アルトキハ之ヲ放棄スルコトヲ得(五九三)船舶所有者ハ契約ニ依ラスシテ船積シタル物ヲ運送スル義務ナキヲ以テ陸揚スルコトヲ得ヘク又法令ニ違反シテ船積シタル物ヲ運送スルハ法令ノ違反ヲ助グルコトト爲リ公益ニ害アルヲ以テ陸揚スルコトヲ得セシム若シ運送品ニシテ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ホスモノナルトキハ船長之ヲ放棄スルモ可ナリ生命財産ノ防衛ノ爲メ公ケノ義務トシテ之ヲ爲シ且旅客ヲ平安ニ保チ積荷ノ利害關係人ノ利益ヲ計ルヘキ私法上ノ義務トシテ之ヲ爲ササルヘカラス故ニ陸揚放棄ハ或點ヨリ見レハ船舶所有者ノ權利ニシテ船長之ヲ行使スルニ止マルモ他ノ點ヨリ見レハ船長ノ固有ノ權利ニシテ必ズシモ船舶所有者ニ代リテ爲スニ非サルナリ
船長ハ陸揚放棄權ヲ行使セシテ物ヲ運送スルトキハ其船積ノ地及ヒ時ニ

於ケル同種ノ運送品ノ最高運送價ヲ請求シ尙損害アルトキハ併セテ其賠償ヲ請求スルコトヲ得

此外船長ハ船積期間經過ノ後ハ備船者カ運送品全部ヲ船積セサルトキト雖モ直チニ發航ヲ爲スコトヲ得(五九七)之ヲモ一ノ權利ト云ヒ得ルモ特ニ列擧スヘキホトニ非ス

二 船舶所有者ノ義務

船舶所有者ノ義務ハ契約ニ從ヒ運送品ヲ滅失毀損セシテ適時ニ適所ニ移轉セシムルニ在リ契約ニ荷受人ヲ定メタルトキハ其荷受人ニ引渡シ荷受人ヲ確知スルコト能ハサルカ又ハ荷受人カ物ヲ受取ラサルトキハ之ヲ供託シ尙場合ニ從ヒテ送還競賣其他備船者ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ積荷ヲ處分スヘシ此義務ハ船長カ直接ニ積荷ノ利害關係人ニ對シテ負フ外(五六五)船舶所有者モ船長ヲシテ之ヲ爲サシムル義務ヲ負ヒ船長カ之ヲ爲ササルカ爲メニ備船者ニ損害ヲ生シタルトキハ船舶所有者其賠償ノ責ニ任ズ
船舶所有者ノ義務左ノ如シ

一 堪航擔保ノ義務

二二八

船舶所有者ハ備船者ニ對シ發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪ユルコトヲ擔保ス若シ船舶カ航海ニ堪ヘスシテ備船者ニ損害ヲ生シタルトキハ之ヲ賠償スル責ニ任シ其責任ハ特約ヲ以テモ免カルコトヲ得ス(五九一)船舶所有者カ運送ヲ爲ス義務アリトスレハ運送ヲ爲スニ堪ユル船舶ヲ使用スヘキハ當然ナルモ時トシテ運送ニ堪ヘサル船舶ヲ用ヒ損害ヲ生シタル場合ニ船舶ノ惡シカリシ爲メ積荷ヲ毀損シタルナリ船舶所有者ニハ責任ナシト云ヒ或ハ船舶ノ破損シタルカ爲メ運送ヲ中止スルハ已ムヲ得サルナリト稱シテ其實ヲ免カレントスル者アルヲ以テ特ニ此規定ヲ設ク

堪航擔保ハ單ニ船體カ航海ニ堪ユルノミナラス艤裝モ適當ナルコトヲ擔保スルモノニシテ即チ若シ事變ノ生スルナクシテハ運送ヲ完全ニ履行シ得ヘキ情況ニ置タコトヲ要スルモノナリ如何ナル程度ヲ以テ此擔保義務ヲ履行シタリト見ルヘキカハ航海ノ情況積荷ノ性質等ニ依リテ異ナルヘシ發航當時ノ狀況ヲ以テ決シ發航後航海ニ堪ヘサルニ至ルモ此義務ノ違反トセス

何レノ國モ船舶所有者ノ堪航義務ヲ規定セリ然レトモ其間ニ寬嚴ノ差アリ或國ハ客觀主義ヲ採リテ船舶ハ事實上航海ニ堪ヘサルヘカラス苟モ航海ニ堪ヘサル事實アルトキハ船舶所有者ノ行爲如何ヲ問ハス直チニ賠償ノ責ヲ負ハシム(英國主義)他ノ國ハ主觀主義ヲ採リ船舶カ航海ニ堪ヘサル事實アルモ所有者ニシテ發航ノ當時其船舶ノ堪航ニ注意スルトキハ責任ナシトス其中ニ所有者ハ十分ノ注意ヲ爲ストスルモノト十分ノ注意ハ實行シ難キヲ以テ相當ノ注意ニテ足ルトスルモノアリ我商法ハ船舶所有者ハ備船者ニ對シ船舶カ航海ニ堪ユルコトヲ擔保スト云フニ止マルモ同時ニ陸運ノ規定ヲ準用シ船舶所有者カ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサルトキハ損害賠償ノ責ヲ免カルトセルヲ以テ(六一九、三三七)堪航義務ニ付キ主觀主義ナルヲ知ルナリ此ノ如クニ主義ニ分カルモ客觀主義ノ國ニテモ完全無缺ノ船舶ヲ要スルニ非ス其航海ヲ爲スニ足ルト認ムヘキ相當ノ船舶ナレハ可トシ主觀主義ノ國ニテモ容易ニ破損スル如キ船舶ヲ航海セシムルトキハ船體ノ調査艤裝ノ可否等ニ關シテ適當ノ注意ヲ爲ササリシモノト認ムルヲ以テ實際ノ結果ハ甚

タシク異ナラス

二 通知ノ義務

通知ノ義務ニハ船積準備ニ關スルモノト陸揚準備ニ關スルモノトアリ
 船積準備通知ノ義務ハ全部備船ノ場合ニノミ存ス船船所有者カ備船契約ヲ
 爲シタルトキハ其履行トシテ船舶ヲ艦裝シ何時ニテモ船積ヲ爲シ得ル情況
 ニ置キ運滞ナク之ヲ備船者ニ通知シテ船積ニ著手スルヲ得セシメサルヘカ
 ラス然レトモ一部備船ノ場合ニハ多クノ備船者アリテ而モ各自ノ運送貨ハ
 少額ナルヲ以テ所有者ニ通知ノ義務ヲ負ハシメス備船者ヲシテ自ラ船舶ノ
 狀況ニ注意シテ適當ノ時期ニ運送品ヲ交付セシム全部備船ノ場合ニハ備船
 者ハ直接ニ運送品ヲ引渡スヲ通常トスルモ時トシテ第三者ヲシテ引渡サシ
 ムルコトアリ此場合ニハ船長ヲシテ第三者ニ對シ船積準備ノ整頓ヲ通知セ
 シメ通知スルモ第三者カ運送品ヲ船積セサルカ或ハ船長カ其第三者ヲ確知
 スルコト能ハサル場合ハ備船者ニ對シテ通知ヲ發セシム(五九四、五九五)
 船積期間ハ準備通知ノ日ノ翌日ヨリ起算スルヲ以テ備船者ハ速カニ運送品

ヲ交付シテ船積ヲ爲サシムヘク期間經過ノ後ニ船積シタルトキハ碇泊料ヲ
 支拂フコトヲ要ス船積期間ハ契約又ハ慣習ニテ定マリ何レモ定マラサルト
 キハ相當ノ期間トス

陸揚準備通知ノ義務モ大體ニ於テ前述ニ等シ運送品ヲ陸揚スルニ必要ナル
 準備カ整頓シタルトキハ船長ハ運滞ナク荷受人ニ對シテ其通知ヲ發スルコ
 トヲ要シ陸揚期間ノ定アルトキハ其期間ハ通知ノ日ノ翌日ヨリ起算シ期間
 經過ノ後陸揚シタルトキハ備船者ハ碇泊料ヲ支拂フコトヲ要ス(六〇五)

船積ノ場合ト異ナル所ハ此義務ハ全部備船ノ外ニ一部備船ノ場合ニモ生ス
 ルト通知ハ備船者ニ爲スニ非スシテ荷受人ニ對シテ爲ス點ニ在リ一部備船
 ノ場合ニモ之ヲ必要トシタルハ船積ト陸揚ノ間ニハ實狀ノ異ナル所アルニ
 由リ又荷受人ニ對シテ發セシムルハ通常運送品ヲ受取ル者ニ通知スルヲ便
 利トスレハナリ陸揚準備通知ノ義務ハ船舶所有者カ契約ノ當事者タル備船
 者ニ對シテ負フ義務ナリ運送品カ到達地ニ達スルモ荷受人ハ備船者ノ權利
 ヲ當然取得スルコトナシ海運ニハ陸運ノ第三四三條ヲ準用セス

三 船荷證券交付ノ義務

船長ハ備船者ノ請求ニ因リ運送品ノ船積後遲滞ナク一通又ハ數通ノ船荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス(六二〇)

此外船舶所有者ハ船長ヲシテ航海ノ準備ヲ終リタルトキ遲滞ナク發航シ豫定ノ航路ヲ航行シテ運送ヲ爲サシメサルヘカラス備船者カ運送品ノ全部ヲ船積セシテ發航ヲ請求スルモ之ニ從ヒテ發航セシメサルヘカラス備船者ニハ此請求權ヲ與フル代ハリニ運送費ノ全額ヲ支拂ヒ運送品ノ全部ヲ船積セサルニ因リテ生シタル費用ヲ支拂ハシメ尙船舶所有者ノ請求ニ因リテ相當ノ擔保ヲ供セシム(五九六)是レ船舶所有者ノ義務ニシテ備船者ノ權利ナリ或者ハ備船者ハ運送品ノ全部ヲ船積セシテ發航ヲ請求ヲ爲ストキハ運送費ノ全額及ヒ費用ヲ支拂ヒ相當ノ擔保ヲ供セサルヘカラストスレハ開ハ權利ニ非ス却テ全部船積權ノ一部ノ拋棄ニ過キス而シテ權利ノ拋棄ハ當然爲シ得ルヲ以テ明文ヲ要セスト云フモ然ラス全部ノ船積ヲ約スルトキハ全部ヲ船積セサルヘカラス然ルヲ全部ヲ船積セシテ發航ヲ請求シ得ルハ權利ナリ之カ爲メニハ特別ノ

規定ヲ要ス況ンヤ全部ヲ船積セサルニ因リテ船舶所有者ニ特別裝置ノ必要ヲ感セシメ特別ノ費用ヲ生セシメ又其擔保ヲ減スルコトアルニ於テオヤ船舶所有者ノ義務ハ多シ又其責任ハ極メテ重大ナルヲ以テ船舶所有者ハ屢特約シテ之ヲ免カレント欲シ備船契約書或ハ船荷證券中ニ種々ノ免責文句ヲ入レ遂ニハ船舶所有者ハ運送費ヲ得ルノ外ニ何等ノ義務モナントノ冷語ヲ生シタリ故ニ一八八八年ノブラツセル會議ニ於テ船舶所有者ハ特約ヲ爲シタルトキト雖モ自己ノ過失船員其他ノ使用人ノ惡意若クハ重大ナル過失又ハ船舶カ航海ニ堪ヘサルニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ヲ免カルルコトヲ得スト決議シ我商法ハ之ヲ採用シタリ(五九二)主意ハ可ナレトモ其大部分ハ殆ント言フ俟タサルコトナリ又此三種ノ特約ハ無効ト明言スルトキハ却テ他ノ特約ハ悉ク有效ナルカノ疑ヲ起サシムル憾アリ船舶所有者カ運送者トシテ有スル重大ノ責任之ヲ免カルル場合高價品ノ運送相次運送等ノ關係ハ海陸運送ニ依リテ異ナル所ナシ(六一九)

備船契約ノ消滅

備船契約ハ解除及ヒ終了ニ因リテ消滅ス

備船契約ノ解除ハ全部備船ト一部備船ニ分テテ規定セラル是レ全部備船ノ場
合ニハ備船者ハ一人ナルヲ以テ其願ミルヘキ者ハ相手方タル船舶所有者ノミ
ナルモ一部備船ノ場合ニハ自己ノ外ニ他ノ備船者及ヒ荷送人アルヲ以テナリ
一部備船者ノ間ニ何等ノ關係ナシトスルモ同一ノ船舶ヲ多數人ニ供スル場合
ニハ船舶所有者ハ其中ノ或者ノミノ利益ヲ慮リ得サル事情アルナリ若シ夫レ
凡テノ備船者及ヒ荷送人カ一致シテ所有者ニ對スルトキハ之ヲ一人ノ備船者
ト同視スルコトヲ得

全部備船契約ハ左ノ場合ニ解除ス

一 不可抗力ニ因リテ契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキ
例ハ狭路カ地震ノ爲メニ閉塞シテ航海シ得サルニ至ルカ如シ此場合ニハ各
當事者ヲシテ契約ヲ解除スルコトヲ得セシム解除ノ事由カ船舶ノ發航前ニ
生シタルトキハ備船者ハ運送賃ヲ支拂フヲ要セサルモ發航後ニ生シタルト
キハ運送ノ割合ニ應シテ之ヲ支拂フコトヲ要ス其外ニ費用ヲ辨償スル責任

ナシ(六一四)航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至ルコトハ不可抗力ト同視ス
之ヲ商法ノ規定トスルモ非ナリ(一)備船契約カ不可抗力ニ因リテ履行スルヲ
得サルニ至ルトキハ履行ノ不能トシテ契約ヲ當然終了セシムヘシ運送品カ
不可抗力ニ因リテ滅失シタル場合ニ契約ヲ當然終了セシムトセハ(六一三)運
送カ不可抗力ニ因リ不能ト爲ル場合ニモ當然終了セシムルハ至當ナリ殊ニ
航海又ハ運送カ不法ト爲レルニ當事者カ契約ヲ解除スル迄運送契約ヲ有效
ニ成立セシムルハ不可ナリ(二)解除ノ事由カ發航後ニ生シタル場合ニ備船者
ヲシテ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂ハシムルハ非ナリ運送賃ハ不可分
ヲ原則トスルカ故ニ此場合ニモ備船者ハ何モノヲモ支拂ハサルヲ原則トシ
若シ特約又ハ商慣習ニテ一部ノ運送賃ヲ支拂フトスレハ之ニ從ハシムルニ
止ムヘシ(三)此場合ノ備船者ノ責任ヲ運送品ノ價格ノ限度ニ制限セサルハ非
ナリ余ハ商法ハ備船者ノ責任ヲ制限セサルモノト解ス制限スル主意ナレハ
明文ヲ置クコト終了ノ場合ノ如クスヘケレハナリ
契約カ解除セラレタルトキハ船舶所有者ハ運送ヲ爲スヲ要セサルハ明カナ

ルモ如何ニ其運送品ヲ處分スヘキカハ明カナラヌ已ムヲ得ス最モ利害關係人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ積荷ノ處分ヲ爲スコトヲ要スト云ヘル規定ニ依リ送還陸揚其他適當ノ處分ヲ爲スヘシ

二 運送品ノ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失スルカ又ハ契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキ

此場合ニハ備船者ハ運送費ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス費用ハ支拂フコトヲ要セス(六一六)

三 備船者カ任意ニ契約ヲ解除スルトキ

發航前ニ解除スルコトアリ發航後ニスルコトアリ備船者カ船積期間内ニ運送品ノ船積ヲ爲ササリシトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス(五九八)運送品ノ船積ヲ爲ササリシトハ一部ノ船積ヲモ爲ササリシコトナリ一部タリトモ船積シタルトキハ契約ヲ履行スル意思アリトシ又備船者ハ其一部船積ノ儘ニテ發航ヲ請求スルコトヲ得

備船者カ發航前ニ契約ヲ解除シタルトキハ船舶所有者ニ對シテ左ノ金額ヲ

支拂フコトヲ要ス

甲 純然タル發航前ニ解除シタルトキハ運送費ノ半額船積陸揚及ヒ凡テノ附隨費用立替金

乙 往復航海ヲ爲スヘキ場合ニ其歸航ノ發航前ニ解除シタルトキハ運送費ノ三分二船積陸揚及ヒ凡テノ附隨費用立替金共同海損及ヒ救助ノ負擔額

丙 他港ヨリ船積港ニ航行スヘキ場合ニ船舶カ其船積港ヲ發航スル前ニ解除シタルトキハ乙ノ場合ト同一ノ金額

發航後ニ解除スルトキハ發航 解除ト異ナリテ船舶所有者 損害ヲ生スル虞多キヲ以テ備船者ヲシテ解除ニ先チテ一定ノ金額ヲ辨セシム即チ全額ノ辨濟ヲ解除權行使ノ條件トシ其金額ハ運送費ノ全額加積陸揚及ヒ凡テノ附隨費用立替金共同海損及ヒ救助ノ負擔額ナリ(六〇〇)

一部備船契約ハ左ノ場合ニ解除ス

一 不可抗力ニ因リテ契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキ

全部備船ノ場合ト理由ヲ等シウス航海又ハ運送ノ不能ハ其備船者ノ運送品

ニ關シテ生スルコトアレハ他ノ備船者ノ運送品ニ關シテ生スルコトアリ
ニ 備船者カ任意ニ契約ヲ解除スルトキ

凡テノ備船者及ヒ荷送人カ共同スルトキハ全部備船ノ場合ト等シキヲ以テ
一部備船トシテ説明スル所ハ常ニ備船者中ノ或者カ單獨ニ解除スル場合ト
知ルヘシ(六〇一)

備船者カ船積前ニ契約ヲ解除スル場合ニハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要
ス但船積後ニモ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得ルトキハ其差額ヲ支拂フニ止
マル船積後ニモ他ノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得ルトキハ契約ヲ解除スル
コトヲ得ヘク其場合ニハ運送賃ノ全額一切ノ附隨費用及ヒ立替金ヲ支拂フ
コトヲ要シ若シ發航後ナルトキハ解除ニ先テ運送賃ノ全額一切ノ附隨費
用立替金共同海損及ヒ救助ノ負擔額ヲ支拂フコトヲ要ス備船者ハ發航後ニ
モ契約ヲ解除シ得トスルモ多クハ空論ニ止マルヘシ何トナレハ一ノ備船者
カ他ノ總テノ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ得ルハ殆ント不能ナルヘク假ニ大
困難ヲ經テ其同意ヲ得ルモ運送賃ノ全額其他巨額ノ金銭ヲ支拂ヒテ後ニ解

除シ得ルモノナレハナリ立法論トシテ云フトキハ荷タモ一部ノ備船者ニ船
積後ノ解除權ヲ與フルモノトセハ備船者及ヒ荷送人ノ同意ヲ要セス船舶所
有者ノ同意ノミニテ足ルトシ若シ解除ノ爲メ他ノ者ニ損害ヲ生シタルトキ
ハ船舶所有者ヲシテ負擔セシメ所有者ヨリ更ニ解除者ニ其賠償ヲ請求セシ
ムヘシ

備船契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス(六一三六一六)全部備船ノ場合ト一部備船
ノ場合トヲ問ハヌ

- 一 船舶カ沈没シタルトキ
- 二 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ
- 三 船舶カ捕獲セラレタルトキ
- 四 運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキ

備船契約カ前三個ノ事由ニ因リテ終了スル場合ニ其事由カ航海中ニ生シタル
トキハ備船者ハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス但運送品ノ價
格ヲ限度トスルヲ以テ若シ運送品ニシテ殆ント廢滅ニ歸スルトキハ備船者ハ

殆ント運送貨ヲ支拂ハヌシテ可ナルヘク恰モ運送品ヲ委付シテ其責ヲ免カルニ等シキ觀アリ運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ備船者ハ運送貨ヲ支拂フヲ要セス

契約ノ終了ニ關スル商法ノ規定ヨリ多クノ疑問ヲ生ス商法ニハ契約ノ終了スル事由トシテ運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルコトト爲スヲ以テ其他ノ原因ニ因リテ滅失シタルトキハ如何船舶ノ沈没修繕不能等ハ不可抗力ニ因ラサルモ可ナルヤ可ナリトスレハ其理由如何運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失スルトキハ契約ヲ終了セシムルモ其他ノ事由ニ因リテ滅失スルトキハ之ヲ終了セシメサルカ等ナリ

船舶ノ沈没修繕不能等ノ場合ニ備船者ヲシテ運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ支拂ハシムルハ非ナリ運送ハ不可分ナルヲ以テ全部ノ履行ニ非サレハ履行ト云フヲ得ス當事者ノ一方ハ義務ヲ履行セサルニ相手方ヲシテ其義務ヲ履行セシムルハ非ナリ一部ノ運送ヲ爲シタルカ故ニ一部ノ利益ヲ備船者ニ生シタリト云フヲ得ス一部ヲ運送セラレタルカ爲メニ全ク運送セラレサルヨリモ惡シキ

位地ニ置カルコトアレハナリ然ルヲ之ニ對シテ報酬ヲ支拂ハシムルハ備船者ニ酬ナリ尙法律ニハ備船者ヲシテ運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ支拂ハシムト云フモ其割合ハ運送ノ里數ニ依ラシムルカ日數ニ依ラシムルカ勞務ノ度ニ依ラシムルカヲ定ムル困難アリ

運送品ノ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失スルカ其一部ニ付キ契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至ルモ契約ヲ當然終了セシメス備船者ヲシテ船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得セシメ而シテ契約上ノ運送貨全額ヲ支拂ハシム此際備船者カ他ノ運送品ヲ船積セサルトキハ船舶所有者ハ其儘ニ運送ヲ爲シテ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得(六一五)但他品ノ船積權ハ全部備船ノ場合ニ限リテ存スルモノトス

再備船

備船者ハ自己ノ備船シタル船舶ニ關シテ更ニ第三者ト運送契約ヲ取結フコトアリ全部備船ノ場合ニ之ヲ爲スコトアレハ一部備船ノ場合ニ爲スコトアリ而シテ更ニ爲ス運送契約ハ備船契約ナルコトアリ個品契約ナルコトアリ備船契

約ヲ例ニ採リテ之ヲ再備船ト稱ス此ヨリシテ三個ノ關係ヲ生ス(六一二)

一 備船者ト船舶所有者ノ關係

此關係ハ通常ノ備船關係ナリ備船者ハ運送貨ヲ支拂フ義務ヲ負ヒ船舶所有者ハ運送ヲ爲ス義務ヲ負ヒ契約ノ解除終了等ニ關シテ上來説明セルモノヲ悉ク適用ス

二 備船者ト再備船者ノ關係

此關係ハ運送契約關係ナルコト明カナリ然レトモ之ヨリ生スル當事者ノ權利義務ハ明カナラス商法ニハ船舶所有者ト備船者ノ備船關係ヲ定ムルモ之ヲ再備船ニ準用スト云ハサレハナリ故ニ商法ノ上ヨリ明言シ得ルコトハ備船者ハ再備船者ニ對シ運送ヲ爲スヘキ義務ヲ負ヒ再備船者ハ之ニ對シテ運送貨ヲ支拂フ義務ヲ負フコト及ヒ各當事者ハ相手方ニ對シテ運送契約書ヲ請求スルコトヲ得ルコトニ止マラン(五九〇)然レトモ運送契約ノ履行カ船長ノ職務ニ屬スル範圍内ニ於テハ船舶所有者ノミ第三者ニ對シテ履行ノ責ニ任スト云ヘルヲ以テ其以外ノコトニ關シテハ備船者ハ責ニ任シ責ニ任スト

三 船舶所有者ト再備船者ノ關係

スレハ之ニ應スル權利ヲ有スト推測シ得ヘシ

此關係ハ契約上ノ關係ニ非ス此間ニ契約ナケレハナリ唯法律ニテ再備船契約ノ履行カ船長ノ職務ニ屬スル範圍内ニ於テハ船舶所有者ノミ再備船者ニ對シテ履行ノ責ニ任ストセルヨリシテ法定ノ關係ヲ生スルノミ法ニ此ノ如クシタルハ此場合ニハ船舶ノ占有ハ船舶所有者ニ在リテ船長ハ其命ニ從ヒ船舶ヲ航行セシムルニ由ル此範圍内ノ履行ニ關シテハ船舶所有者ノミ其實ニ任ストセルヲ以テ範圍内ノ事ニ關シテハ備船者ハ何等ノ責ヲモ負ハサルヲ知り同時ニ範圍外ノ事ニ關シテハ備船者其實ニ任スルヲ知ルナリ船舶所有者ハ其責任ニ關シテハ船舶運送貨賠償及ヒ報酬ノ請求權ヲ委付シテ之ヲ免カルコトヲ得

此規定ハ第三者タル再備船者ヲ保護スルニ足ラヌ第三者ハ契約ノ當事者ヲ信シテ契約シタルニ其契約ノ履行ニ關シテ當事者ハ責ヲ負ハス他ニ之ヲ負フ者アリトセハ安心シテ契約スルヲ得サルヘシ故ニ運送契約ノ履行ニ關シ

テハ備船者ヲシテ責ヲ負ハシメ第三者ヲ保護スル爲メニハ之ニ加ヘテ船舶所有者ヲシテモ亦責ヲ負ハシムヘシ
備船者カ第三者ト更ニ爲ス運送契約カ個品ノ運送契約ナル場合ニモ大體ニ前述ノ如クナルヲ以テ再ヒ説明セヌ

個品運送

個品運送トハ商法ニ個々ノ運送品ヲ以テ契約ノ目的ト爲ス運送ト云ヘルモノナリ運送品ヲ目的トスルモノニシテ船舶ヲ目的トスル備船運送ニ對照ス個品運送ハ單純ナルヲ以テ特別ノ規定ヲ生スルコト少ク當事者モ亦運送契約證書ヲ作ラスシテ船荷證券ノミヲ證書トスルヲ通常トス故ニ之ヲ船荷證券ニ依ル運送ト稱ス

荷送人ノ點ヨリ觀察シテ其權利義務ノ重ナルモノヲ示サン運送ヲ爲サシムル權利及ヒ運送費ヲ支拂フヘキ義務ノ如キハ特ニ掲クル要ナシ
荷送人ノ權利左ノ如シ

一 荷送人ハ船舶所有者ヲシテ發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪ユル

コトヲ擔保セシム(五九一)

二 荷送人ハ運送品ノ船積後遲滯ナク一通又ハ數通ノ船荷證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得(六二〇)

荷送人ノ義務左ノ如シ

一 荷送人ハ船長ノ指圖ニ從ヒ遲滯ナク運送品ヲ船積スルコトヲ要ス荷送人カ船積ヲ怠リタルトキハ船長ハ直チニ發航スルコトヲ得此場合ニモ荷送人ハ運送費ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但船舶所有者カ他ノ運送品ヨリ得タル運送費ハ之ヲ控除ス(六〇二)

荷送人ヲシテ船長ノ指圖ニ從ヒ船積セシムルト同主意ニテ荷受人ヲシテ船長ノ指圖ニ從ヒ遲滯ナク運送品ヲ陸揚セシム(六〇五二)

二 荷送人ハ船積期間内ニ運送ニ必要ナル書類ヲ船長ニ交付スルコトヲ要ス(六〇四)

三 荷送人ハ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求ニ因リ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス(六二二)

日本郵船株式會社船荷証券

番三二七六一

印紙		日本		船名		陸田酒田		船長		野村 忍	
記號		荷造種類		個數		重量又は容積		運送		合氏	
A		炭		砂糖		四拾個		電		二四	
輸出地		東京		荷運人		藤 貫		價格		四百六拾圓	
前送金		—		向船運		拾圓四拾錢		立寄金		壹圓拾參錢	
摘要		減量無關係		運賃諸費收入済							
右運送品		左ニ掲クル條件ヲ以テ船積仕候酒田到着ノ		井殿ニ御渡可申上候也		二當社所定ノ荷捌所ニ於テ松					
(注意)		本船運送ノ此船荷証券ニ當社所定ノ檢印ヲ受ケ本		船ニ御渡可下候事							
第一條		運送貨ハ特別アル場合ニ於テ外船積ノ當時ニ於ケル重量又ハ		積重又ハ容積ヲ計リ之ニ依リテ運送貨ヲ變更スルコトアル							
第二條		當社ニ於テ如何ナル場合ニ於テモ既ニ受取リタル運送貨ヲ運送		スルコトナシ							
第三條		以		下							
明治四十四年八月二十		日本郵船株式會社		東京出張所長		藤山正次郎					
對シテ運送品ノ引渡ヲ		其壹通ニ		通シタルトキハ他ノ各		効力ヲ失フヘシ					

第二款 船荷証券

契約ノ解除及ヒ終了ニ關シテモ大體ニ於テ備船契約ノ規定ヲ準用ス例ハ荷送人カ他ノ荷送人及ヒ備船者ト共同セスシテ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要シ船積又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ヲ解除シ船積カ沈没修繕不能又ハ捕獲セラレタルトキハ契約ハ終了スルカ如シ荷送人ノ權利義務ノ消滅時效モ亦備船者ノ權利義務ニ於ケルト等シ多クハ一年ナリ(六〇三、六一六、六一八)

船荷證券ハ運送品ノ船積ヲ證スル受取證券ナリ備船契約ヲ爲シタル場合ニ備
船契約書及ヒ船荷證券ヲ作成スルコトアリ或ハ備船契約書ノミヲ作成スルコ
トアリ個品運送ノ場合ニハ別ニ契約書ヲ作成セスシテ船荷證券ヲ契約ノ證書
トスルヲ通常トス船荷證券ハ船荷ノ證券ナル點ニ於テ陸荷ノ證券タル貨物引
換證ト區別セラシ運送品ノ證券タル點ニ於テ倉庫品ノ證券タル倉庫證券ト區
別セラレ物品證券ナル點ニ於テ金錢證券タル手形ト區別セラル
船荷證券ヲ作成交付スル者ハ船長タルヲ通常トス(六二〇)是レ船荷證券ハ運送
品ノ船積ヲ證スル書類ナルヲ以テ船積ニ關シテ責任ヲ負ヒ船積終了ノ時機ヲ
確知スル者ヲシテ作成セシムルヲ適當トスレハナリ故ニ何國ノ法ニモ船荷證
券ハ船長ノ發行スルモノト云ヒ學者ハ屢船長ノ發行ヲ船荷證券タル一要件ト
スル程ナリ然レトモ航海業發達シテ大船ヲ生シ同一船舶ニ多クノ運送品ヲ積
込ミ而モ迅速ニ發航スルヲ要スル時代ニハ常ニ船長ヲシテ船荷證券ヲ發行セ
シメ得サル事情アルヲ以テ船長以外ノ者ニモ之ヲ發行シ得セシムルヲ要ス我
商法ハ之ヲ明示シ船舶所有者ハ船長以外ノ者ニ船長ニ代ハリテ船荷證券ヲ交

付スルコトヲ委任スルヲ得トシタリ(六二一)

船長ニ代ハリテ交付スルコトヲ委任スルヲ得ト云ヘルハ船荷證券ハ元來船長ノ發行スヘキモノナルヲ示ス爲メナランモ法律ノ規定トシテハ無用ナリ船舶所有者カ或者ニ船荷證券ヲ發行スル權利ヲ與フレハ其者ハ船舶所有者ノ代理人トシテ之ヲ交付スルナリ船長ノ代理人トシテ交付スルニ非ス又船舶所有者自ラ交付スルトキハ決シテ船長ノ代理人トシテ爲スニ非ス船荷證券ヲ交付スル權利ハ純然タル私權ニシテ何人ニ授與スルカハ船舶所有者ノ任意ナリ船荷證券ハ運送品ノ船積後交付スヘキモノナリ船積ヲ證スル證券ニシテ船積前ニ發行シ得ル理ナキヲ以テ船積後ニ發行スル原則ハ何國ニテモ同一ナリ然レトモ其正確ナル時機交付ノ手續及ヒ原則ニ對スル例外ハ國ニ依リテ異ナリテ佛國及ヒ伊太利ニテハ船積後二十四時間内ニ交付セシメ獨逸商法ハ船積カ終リタルトキハ船長ハ曾テ渡シ置キタル貨物領收證ト引換ニ船荷證券ヲ交付スヘシト云ヒ獨商六四二英國ノ商船法ヲ説ク者ハ運轉士ハ荷送人ヨリ運送品ヲ受取ルトキハメートノリシープトヲ渡シ置キ船長ハ之ト引換ニ船荷證券ヲ

交付スヘシト云ヘリ運送品ヲ船舶ニ受取ル時直チニ船荷證券ヲ交付シ得サル事情アルヲ以テ英獨人ノ云フ所ハ多數ノ事實ニ協フモ之ヲ法律上ノ手續トスルハ煩ヲ増スモノナリ又佛伊ノ如ク期間ヲ限定スルトキハ却テ膠柱ノ嘆ヲ生スルヲ以テ我商法ニ船積後遲滞ナク交付スヘシトシテ各場合ノ情況ニ應スル餘地ヲ存シタルハ可ナリ

船積ニ先チテ船荷證券ヲ作成交付スルモ船荷證券ヲ成サス荷送人ハ成ルヘク速カニ船荷證券ヲ得ント欲スルヲ以テ或國ニテハ運送品カ船長ニ引渡サレタルトキ或ハ船積スヘキ場所ニ在ルトキハ之ヲ發行スルモ可トスレトモ我國ハ之ヲ認メサルヲ以テ船積前ニ發行シタルモノハ悉ク無効ナリ實際ニ在リテハ先ニ交付シテ後ニ船積シタル場合ト先ニ船積シテ後ニ交付シタル場合トヲ區別シ難キコトアランモ法律論トシテハ船積前ニ交付シタル證券ハ悉ク無効ナリ取得者ノ善意惡意ニ因リテ效力ヲ異ニスルコトナシ

備船者又ハ荷送人ハ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求ニ因リ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス(六二三)船長カ船荷證券ヲ作成スルトキハ船長

ノ請求ニ因リテ交付シ船長ニ代ハル者カ之ヲ作成スルトキハ其者ノ請求ニ因
リテ交付ス之ヲ通常トスルモ船長又ハ代理人ノ何レカ請求スルモ交付セサル
ヘカラス此規定ハ船長ヲシテ船荷證券ニ對當スル證書ヲ得セシメントシ爲メ
ニ特別ノ證書ヲ作成セシムルヨリモ船荷證券ノ謄本ニ署名セシムルヲ簡易明
確トシタルニ出ツ

船荷證券ノ性質

船荷證券ノ性質及ヒ效力ハ大ニ貨物引換證ニ類シ殊ニ改正規定ノ下ニ於テ然
リトス而シテ貨物引換證ニ關シテハ既ニ説明シ茲ニ再說セサルヲ以テ必ス週
見スヘシ(六一三頁以下ニ在リ)

一 船荷證券ハ因求證券ナリ

船荷證券ハ備船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リテ交付スルコトヲ要ス(六二〇)

二 船荷證券ハ形式證券ナリ

船荷證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長又ハ之ニ代ハル者署名スルコトヲ要ス

(六二二)

一 船舶ノ名稱及ヒ國籍

二 船長カ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名

三 運送品ノ種類重量若クハ容積及ヒ其荷造ノ種類個數並ニ記號

四 備船者又ハ荷送人ノ氏名又ハ商號

五 荷受人ノ氏名若クハ商號

六 船積港

七 陸揚港但發航後備船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其之

ヲ指定スヘキ港

八 運送貨

九 敷通ノ船荷證券ヲ作リタルトキハ其員數

十 船荷證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

以上十個ハ船荷證券ノ要件ナリ其一ヲ缺クモ船荷證券ヲ成ササルコト、
要件ノ間ニ輕重ナキコト及ヒ要件ノ解釋ハ文字ニ拘泥スヘカラサルコ
ト等凡テ貨物引換證ニ關シテ述ヘタル所ニ等シ

右ノ第五號ニ關シ舊規定ニハ荷受人ノ氏名若クハ商號又ハ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコトトシタルヲ改正規定ニテ又ハ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコトヲ削除シタリ之ニ依リテ爾後無記名ノ船荷證券ヲ發行シ得サルコトト爲レリ此レ現在ニ無記名ノ船荷證券ヲ發行スルモノ極メテ稀ニシテ通常ハ記名持參人渡ノモノナルヲ以テ其慣習ニ適ハシメタルナリ又改正規定ハ船荷證券ニモ記名持參人渡ノモノヲ認メ其效力ヲ無記名ノモノト同一トシタルヲ以テ益無記名ヲ認ムル要ナキニ至リシナリ而シテ此削除ニ依リテ船荷證券ハ貨物引換證ト等シク爲レリ(二八二、四四九ノ二)

三 船荷證券ハ要因證券ナリ

船荷證券ノ成立ニハ運送契約存在シ運送品ノ船積アリシコトヲ要ス(六二〇)

四 船荷證券ハ證據證券ナリ

船荷證券ヲ作リタルトキハ運送ニ關スル事項ハ船舶所有者ト所持人トノ間ニ於テハ船荷證券ノ定ムル所ニ依ル(三三四)

船荷證券ハ船舶所有者荷送人間ノ證據ト爲レハ船舶所有者證券所持人間

ノ證據トモ爲ルナリ船舶所有者ト荷送人カ契約ノ證據トシテ運送契約書ヲ作ルコトモアレハ船荷證券ノミヲ以テ證據トスルコトアリ船舶所有者ト證券所持人ノ間ニハ運送契約書ナキヲ以テ主トシテ船荷證券ノ定ムル所ニ依リテ決シ船荷證券ノ船荷證券タル本質ハ專ラ後ノ場合ニ顯ハル

五 船荷證券ハ引換證券ナリ

船荷證券ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得ス(三三四)

六 船荷證券ハ處分證券ナリ

船荷證券ヲ作リタルトキハ運送品ニ關スル處分ハ船荷證券ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス(三三四ノ二)

七 船荷證券ハ引渡證券ナリ

船荷證券ニ依リ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘキ者ニ船荷證券ヲ引渡シタルトキハ其引渡ハ運送品ノ上ニ行使スル權利ノ取得ニ付キ運送品ノ引渡ト同一ノ效力ヲ有ス(三三五)

引渡證券ハ先ツ船荷證券ニ生シタルモ今ヤ此點ニ關シテ海陸運送ヲ區別スヘキ理由ナシトシ貨物引換證ヲモ引渡證券トシタルナリ

八 船荷證券ハ當然ノ指圖證券ナリ

船荷證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得但船荷證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス(三三四ノ三)

當然ノ指圖證券ハ先ツ手形ニ生シ次テ船荷證券ニ生シタルモ今ヤ貨物引換證ニモ及ヒタリ

數通ノ船荷證券

船長カ傭船者又ハ荷送人ヨリ數通ノ船荷證券ヲ請求セラレタルトキハ數通ヲ交付セサルヘカラス英國ニテハ三通ヲ作成シ學者ハ之ヲ解シテ一通ハ荷送人所持シ一通ハ荷受人ニ送付シ他ノ一通ハ船長所持スト云ヘリ佛國商法ハ四通ヲ作成セシメ船舶所有者ヲシテモ一通ヲ所持セシムレトモ佛國學者ハ之ヲ評シテ三通ニテ可ナリ船長ハ船舶所有者ノ代理人トシテ所持スルヲ以テ此外ニ船舶所有者ヲシテ所持セシムルヲ要セスト云ヘリ此ノ如ク一通ノ多キニモ異

論アルニ我國ニテハ幾通ニテモ可トスルハ非ナリ

船荷證券ハ一通ニテ可ナリ殊ニ我商法ノ下ニ然リトス何トナレハ商法ハ荷送人ヲシテ船長ノ請求ニ因リ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付セシムルヲ以テ船長ハ有力ナル證據ヲ得レハナリ又荷送人ハ運送品上ニ有スル權利ヲ保存セントスルトキハ自ラ船荷證券ヲ所持スヘク荷受人ニ與ヘント欲スルトキハ之ヲ送付スヘキノミ而シテ一旦送付シタルトキハ自ラ船荷證券ヲ所持スルニ及ハス證據若クハ引渡差止權行使ノ爲メニハ謄本ヲ所持スレハ可ナリ何レニスルモ一個ノ權利ニ二個以上ノ有價證券ヲ作成セシムルヲ要セス紛失盜失ニ備フルコト及ヒ多クノ方法ニ依リテ證券ヲ荷受人ニ送付スルコトハ數通制度ヲ維持スルニ不十分ナリ殊ニ數通ヲ作成スルヨリ生スル弊害ヲ顧ミルトキハ寧ロ一通ニ限ルヲ可トス

證券ノ數通ヲ請求シ得ル者ハ傭船者荷送人ニ限リ傭船者ヨリ證券ヲ取得シタル者ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス手形ニ在リテハ受取人以外ノ所持人ニモ請求シ得セシムルモ(五一八)船荷證券ニハ之ヲ許サス是レ兩種ノ證券ノ發行及ヒ利

用ノ事情ニ差アレハナリ
 船荷證券ノ數通ハ悉ク同一人ニ存シ其所有者之ヲ呈示シテ運送品ノ引渡ヲ請
 求スル場合ニハ困難ヲ生セサルモ數通カ數人ニ分屬シ各通ノ所持人引渡ヲ請
 求シタル場合ニ船長ハ如何ニスヘキカノ問題ヲ生ス分チテ船長ト證券所持人
 ノ關係及ヒ證券所持人間ノ關係トス

船長ト證券所持人ノ關係

船長ハ陸揚港ニ於テ一通ノ所持人ヨリ運送品ノ引渡ヲ請求セラレタルトキハ
 之ヲ引渡ササルヘカラス換言スレハ陸揚港ニ於テハ一通ノ所持人モ引渡ヲ請
 求スル權利アルナリ是レ陸揚港ハ運送品ヲ引渡スヘキ場所ニシテ又船荷證券
 ハ數通ヲ發行シタル場合ニモ其各通ハ完全ナル船荷證券ナレハナリ船長カ其
 請求ニ應シテ運送品ヲ引渡シタルトキハ引渡ノ義務消滅シ其當然ノ結果トシ
 テ他ノ船荷證券ハ效力ヲ失フ
 陸揚港ニ於テ二人以上ノ所持人カ引渡ヲ請求スルトキハ船長ハ遲滞ナク運送
 品ヲ供託シ且請求ヲ爲シタル各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス(六

二六)船長カ之ニ從フトキハ引渡ノ義務消滅シ其後ハ供託ヲ受ケタル者ト證券
 所持人トノ關係ナリ船長カ運送品ヲ供託セントスルモ供託所ナキトキハ運送
 品ヲ其儘ニ占有スルカ持歸ルカ賣却スルカ或ハ自己ノ優先權者ト認ムル者ニ
 引渡スヘク相當ノ注意ヲ怠ルトキハ正當ノ權利者ニ對シテ賠償ノ責ニ任ス
 船長カ運送品ノ一部ヲ證券所持人ニ引渡シタル後更ニ他ノ所持人ヨリ引渡ヲ
 請求セラレタルトキハ殘部ノ引渡ヲ中止シテ遲滞ナク之ヲ供託シ且請求ヲ爲
 シタル各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スヘシ既ニ引渡シタル部分ニ關シテハ引
 渡ノ義務消滅シタルモノトシ船長ヨリ一部ヲ受取リタル者カ其儘ニ之ヲ保有
 スルカ或ハ他ノ所持人ニ引渡スヘキカハ所持人間ノ關係ナリ
 陸揚港外ニ在リテハ陸揚港ニ於ケルト異ナリテ船長ハ船荷證券ノ各通ノ返還
 ヲ受クルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ス(六二五)是レ陸揚港外ハ運送品
 ヲ引渡スヘキ場所ニ非サレハナリ此理ヲ押ストキハ數通ヲ悉ク所持スル者ヨ
 リ引渡ヲ請求セラレモ拒ミ得ルモ所持人カ引渡ヲ請求シ船長カ引渡サントス
 ルニ法律ニテ禁スルヲ要セストシ任意トス然レトモ一通ノ所持人カ請求スル

トキハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ストシ之ニ反シテ引渡シタル者ニ責任ヲ負ハシムルナリ是レ陸揚港外ハ物ノ引渡場所ニ非ストシテ或證券ノ所持人ハ船舶ノ陸揚港ニ到達スルヲ待ツニ他ノ所持人運送品ヲ途ニ擁シテ引取ルコトヲ得トスレハ待ツ者ハ損害ヲ蒙ムリ隨テ種々ノ弊害ヲ生スルヲ以テナリ

陸揚港外ニ於テハ船長ハ各通ノ返還ヲ受クルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ストシ數通ノ證券中一通ヲ紛失燒失シタル場合ニ殘リノ數通ヲ以テ請求スルモ引渡スコトヲ得ス請求者カ一通ヲ紛失燒失シタルコトヲ證明スルモ尙ホ船長ハ此請求ニ應スルヲ得サルナリ手形ニ在リテハ所持人カ總テノ複本ヲ呈示シ得サル場合ニハ拒絕證書ニ依リ其事實ヲ證明シテ手形上ノ權利ヲ行フコトヲ得ル旨ヲ規定スレトモ(五二)船荷證券ニ關シテハ之ヲ規定セサルヲ以テ已ムヲ得ス此ノ如ク解ス然レトモ此規定ハ證券ノ所持人ニ損害ヲ蒙ラシメサル主意ナルヲ以テ數通ノ所持人ニシテ明カニ或一通若クハ數通ヲ紛失燒失シタルコトヲ證明スルトキハ船長カ殘部ノ各通ト引換ニ運送品ヲ引渡スモ最早他ニ引渡ヲ請求スル者ナキヲ以テ可ナルヘシ或ハ將來ノ請求ニ備フル爲メ

現在ノ請求者ヨリ擔保ヲ受クルヲ安全トセン

證券所持人間ノ關係

一個ノ運送品ニ關シテ船荷證券二通以上アルトキハ各通ノ所持人ノ優先權ヲ定メサルヘカラス之ヲ定ムルニ當リテ占有主義及ヒ發送主義アリ占有主義ハ證券ヲ最先ニ占有シタル者ノ權利ヲ優先トスルモノニシテ其理由トスル所ハ船荷證券ハ運送品ヲ表示スルモノナリ證券ヲ所有スルハ運送品ヲ所有スルニ等シク證券ヲ占有スルハ運送品ヲ占有スルニ等シク隨テ最先ニ證券ヲ占有シタル者ハ最先ニ運送品ヲ占有シタルニ等シク他ノ者ニ先チテ運送品ノ引渡ヲ請求シ得ト云フニ在リ英國ハ大體ニ此主義ナリ發送主義ハ最先ニ證券ヲ發送セラレタル者ノ權利即チ最先ノ發送名宛人ノ權利ヲ優先トスルモノニシテ其理由トスル所ハ物カ運送ニ附セラレタルトキハ荷送人ノ占有ヲ離レテ船長ノ占有ニ移リ而シテ船長ハ通常荷受人ノ爲メニ之ヲ占有ス假ニ占有ノ存在ハ何レニ在リトスルモ船長ハ荷受人ニ引渡サント欲シテ運送シツアルヲ以テ荷受人ニ引渡スハ至當ナリ而シテ船荷證券ノ所持人カ證券ヲ或者ニ向ツテ發送ス

ルトキハ其者ハ證券ノ所持人ト爲リ通常ノ場合ニ於ケル荷受人ト等シキ位地ニ立ツヲ以テ船長ハ其者ノ請求ニ應シテ運送品ヲ引渡ササルヘカラス又多クノ證券ヲ所持シタル者カ其中ノ一通ヲ或者ニ向ツテ發送シタルトキハ最早再ヒ運送品ヲ處分シ得サルコト爲リ他ノ各通ノ發送ニハ何等ノ效力モナシ隨テ最先ノ發送ヲ受ケタル者ノ權利ハ優先ナリト云フニ在リ獨逸ハ大體ニ此主義ナリ

我商法ハ二者ヲ折衷シ最先ニ發送シ又ハ引渡シタル證券ヲ所持スル者ノ權利ヲ優先トス(六二八)所持人カ證券ヲ發送スルトキハ最早運送品ヲ處分シタルコトト爲リ一度ヒ處分スレハ再ヒ處分シ得サルヲ以テ他ノ證券ノ發送ハ無効トシ又發送セシテ證券ヲ引渡シタルトキハ運送品ヲ再ヒ處分シ得サルハ一層明白トシ最先ノ發送名宛人又ハ最先ノ占有者ヲ優先トスルナリ若シ引渡ニハ必ズ發送ヲ要スト云フトキハ我商法ハ發送主義ナルモ證券ノ所持人カ其證券ヲ直接ニ他人ニ引渡スヲ發送ト云フハ不可トシテ發送又ハ引渡ト云フナリ此二者ヲ包括スルニハ原所持人ヨリ最先ノ離占ヲ得タル者ト云フヲ可トセン茲

ニ原所持人ト云ヘル者ハ通常荷送人ナリ荷送人ハ船長ヨリ敷通ノ證券ヲ得テ別人ニ發送又ハ交付ス然レトモ時トシテ敷通ヲ悉ク同一人ニ發送又ハ交付シ其取得者カ別人ニ發送スルコトアルヲ以テ廣ク原所持人ト稱スルナリ

同時ニ發送又ハ引渡ヲ得タル者ノ權利ハ同等ナリ隨テ各自引渡ヲ請求スルコトヲ得故ニ船長又ハ供託所ハ彼等ノ間ニ優先者ノ協定スルヲ待チテ引渡スカ或ハ彼等ノ全體ニ引渡スヲ穩當トス

一個ノ運送契約ニ關シテ二通以上ノ有價證券ヲ發行スルヨリシテ上述ノ諸問題ヲ生スルヲ以テ宜シク一通ヲ發行セシムルニ止ムヘシ余ハ荷送人其他ノ敷通ノ原所持人カ之ヲ各別ノ者ニ引渡ヌ場合アリトシテ優先關係ヲ説明シタルモ原所持人ハ果シテ如何ナル意思ニテ之ヲ敷人ニ發送又ハ引渡スカヲ疑フ證券ヲ讓渡ヌ意思ニテ二回以上之ヲ引渡スモノトセハ不法ナリ一ハ擔保ニ供スル意思ニテ引渡シ又一ハ讓渡ヌ意思ニテ引渡スモノトセハ適法ナルモ此場合ニハ占有ノ關係及ヒ擔保債權者ノ保護ニ關シテ多クノ規定ヲ設ケサルヘカラヌ尙引取ノ代理權ヲ授與スル意思或ハ保管ヲ委託スル意思ヲ以テスルモノト

セハ適法ナルモ更ニ多クノ規定ヲ要ス

第二節 旅客運送

旅客運送ハ海上ニ於テハ陸上ヨリモ早ク發達セリ又海運ノ運送具ハ船舶ニ限ルヲ以テ統一的规定ヲ爲シ易シトシテ陸上ノ旅客運送ヲ規定セサル國ニテモ海上ノ旅客運送ヲ規定シ兩者ヲ規定スル國ニ在リテハ海上ノ規定ハ一層細密ナリ我商法ハ先ツ陸上ノ旅客運送ヲ規定シ海上ノ旅客運送ニハ其大半ヲ準用セルヲ以テ茲ニハ海運ニ特殊ノモノヲ説明スヘシ

旅客運送ヲ分チテ備船契約ニ依ルモノ及個々ノ契約トス我商法ハ備船契約ハ船舶ヲ目的トスルモノニシテ當事者間ノ關係ハ其搭載物ノ積荷タルト旅客タルニ依リテ異ナル所ナシトシ旅客運送ノ備船契約ニハ物品運送ノ規定ヲ準用スルコトトシタリ(六四〇)然レトモ其準用ノ範圍ヲ船舶所有者ト備船者ノ關係ニ止メタルヲ以テ備船者ト第三者ノ關係及船舶所有者ト第三者トノ關係ニハ一般法ヲ適用スヘキ解釋ト爲レリ茲ニ於テカ之ヲ改メ凡テノ關係ニ付キ物品

運送ノ規定ヲ準用スヘシトノ論ヲ生ス

旅客運送ノ爲メニ備船スル場合ノ多クハ軍隊輸送移民輸送其他ノ團體運送ナリ此等ノ場合ニハ船舶所有者ト備船者ハ運送契約ヲ爲シ旅客ヲ運送ノ目的トスルコト恰モ積荷ノ如クシ而シテ更ニ備船者ト旅客ノ間ニ關係ヲ生シ旅客ト船舶所有者ノ間ニハ直接關係ナキヲ通常トス

備船ニ依ル旅客運送契約ニ關シテハ特別ノ規定ナシ特ニ規定スル所ハ船舶所有者ト旅客ト取結フ個々ノ運送契約ナリ口頭ノ契約ニ止マルコトアレハ書面ヲ作成スルコトアリ乘船切符ノ作成ヲ契約ノ成立要件トスルコトアレハ契約ノ證據トスル事アリ或ハ前拂運送賃ノ領收證トスルコトモアリ無記名ノモノハ他人ニ讓渡スコトヲ得ルモ無記名ノモノハ讓渡スコトヲ得ス(六三〇)

契約ノ效力

旅客運送契約ヨリ當事者雙方ニ權利義務ヲ生ス相互ニ對當シ何レノ方面ヨリ説明スルモ同一ニ歸スルモ商法ハ船舶所有者ノ方面ヨリ觀察スルヲ以テ之ニ從フ

船舶所有者ノ最モ重ナル權利ハ運送賃ヲ請求スルニ在リ其額ハ契約ニ定マリ
 契約ナキトキハ慣習及ヒ一般ノ原理ニ依リテ決ス運送賃ハ運送ヲ完成シタル
 後ニ請求スルヲ原則トスルモ或場合ニハ運送ヲ完成セサルモ之ヲ請求スルコ
 トヲ得其最モ著シキハ旅客カ乗船時期マテニ船舶ニ乗込マサルトキナリ此場
 合ニハ船長ハ發航シテ旅客ニ運送賃ノ全額ヲ請求スルコトヲ得(六三三)運送賃
 ト云フモ賠償ノ性質ヲ帶フルナリ尙ホ運送賃ノ一部ヲ請求スルコトアルハ契
 約消滅ト題スル下ニ説明スヘシ

船舶所有者ハ旅客ノ手荷物ノ運送賃ヲ得サルヲ原則トシ特約ヲ爲ストキハ之
 ヲ得ヘシ然レトモ之ヲ得ル特約ヲ爲スモ運送ヲ完成セサレハ請求シ得ストシ
 唯船長カ航海繼續ノ必要費ヲ支辨スル爲メ手荷物ヲ賣却質入又ハ消費スルカ
 或ハ共同海損ノ犠牲トスルトキハ運送ヲ完成セサルモ運送賃ノ全額ヲ請求シ
 得ルコト物品運送ノ場合ニ等シ(六三九六一七)此等ノ規定ヨリシテ船長カ航海
 繼續ノ爲メニ手荷物ヲ處分シ得ルコト手荷物ヲ共同海損ノ犠牲ト爲シ得ルコ
 ト及犠牲ニ供セラレタル手荷物ノ所有者ハ海損債權者ト爲リ得ルヲ知ル

手荷物カ法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ携帶セラレタルトキハ船長ハ何
 時ニテモ之ヲ陸揚シ若シ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ホス虞アルトキハ之ヲ放棄
 シ得ルコト物品運送ノ場合ニ等シ(六三九)然レトモ普通ノ運送品ト旅客ノ手荷
 物ノ間ニハ情況ノ異ナル所アルヲ以テ判官ハ此規定ノ準用ニ際シテ注意スヘ
 ク又船長カ其手荷物ハ契約ニ依ラスシテ携帶セラレタルモノト斷スルニ先チ
 テ十分ニ注意スヘシ船長カ其手荷物ヲ陸揚放棄セスシテ運送スルトキハ其携
 帶ノ地及ヒ時ニ於ケル同種ノ手荷物ノ最高ノ運送賃ヲ請求スルコトヲ得
 船舶所有者ノ旅客ニ對スル債權ハ一年ノ時効ニ因リテ消滅ス(六三九)
 船舶所有者ノ義務ハ旅客ヲ一定ノ場所ニ運送スルニ集注スルモ附隨的ノモノ
 ヲ列舉スルトキハ左ノ如シ

- 一 堪航ノ擔保 船舶所有者ニ此義務アルコト及ヒ此義務ハ特約ヲ以テモ免
 カルヲ得サルコト物品運送ノ場合ニ等シ(六三九)原理ニ於テ同一ナルモ旅客
 ハ積荷ヨリ貴重ナルヲ以テ義務ノ體裁ハ一層重シトス
- 二 手荷物ノ運送 船舶所有者ハ手荷物ヲ無賃ニテ運送スルヲ原則トス然レ

トモ特約ヲ以テ運送費ヲ請求スルコトヲ得(六三二三)

三 食料ノ負擔 旅客ノ航海中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔トス故ニ船舶所有者カ相當ノ食品ヲ供スルモ特別ノ對價ヲ請求スルヲ得ス或國法ニハ食料ハ運送費ノ中ニ包含ストセリ船舶所有者ノ外ニ食物ヲ供給スル者アルトキハ船舶所有者其費用ヲ支拂フヘシ(六三一)

反對ノ契約ノ有效無效ハ此規定ノ公益ニ關スルカ否カニ依リテ定マリ公益ニ關スルト否トハ航海ノ如何ニ依リ異ナルヘシ遠洋航海ニ在リテハ公益ニ關スト見ルヘキコト多キモ沿岸小航海ニテハ然ラス旅客ヲシテ各自食品ヲ準備セシメ又ハ食物ノ代價ヲ自辨セシムルモ可ナラン食料ノ中ニハ飲料ヲ包含ス航海中トハ發航ヨリ到達マテヲ云ヒ中間港ノ碇泊モ航海中ナリ

四 修繕中ニ於ケル供給 航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ船舶所有者ハ其修繕中旅客ニ相當ノ住居及ヒ食料ヲ給スヘキモノトス(六三六)旅客ヲ保護スル注意ナリ然レトモ船舶所有者カ相當ノ船舶ヲ以テ相當ノ方法ニテ旅客ヲ上陸港マテ運送スルコトヲ提供シタルニ旅客カ之ニ應セザルトキ

ハ此義務ヲ免カル

反對ノ契約ノ有效無效ハ此規定ノ公益ニ關スルカ否カニ依リテ定マリ其如何ハ場合ニ依リテ異ナルヘシ

船舶所有者ノ責任ニハ陸運ノ規定ヲ殆ト全部準用ス其結果左ノ如ク爲ルナリ(六三九)

船舶所有者ハ旅客カ運送ノ爲メニ受ケタル損害ヲ賠償スル責ニ任シ之ヲ免ルニハ自己及ヒ其使用人カ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルヲ要ス若シ損害ニシテ自己ノ過失使用人ノ惡意大過失又ハ船舶ノ不堪航ヨリ生シタルモノナルトキハ特約ヲ爲スモ其實ヲ免ルヲ得ス損害賠償ノ額ハ被害者及ヒ其家族ノ情況ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

手荷物ニ關シテハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケタルトキハ物品運送人ト同一ノ責ヲ負ヒ引渡ヲ受ケザルトキハ自己又ハ其使用人ニ過失アル場合ノ外ハ責ニ任セス舉證ノ責ハ旅客ニ在リ

旅客カ法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ乘船スルトキハ之ヲ運送スルコトヲ

要セサルモ狼リニ陸揚スヘカラス又船舶積荷ニ危害ヲ及ホス虞アルモ其一事ヲ以テ旅客ヲ陸揚シ又ハ海ニ放棄スヘカラス正當防衛緊急危難等ノ法規ノ許ス範圍ニ於テ適當ノ處分ヲ爲スヘキノミ

契約ノ消滅

旅客運送契約ハ解除及ヒ終了ニ因リテ消滅ス

解除ニハ當事者雙方爲シ得ルモノアリ旅客ノミ爲シ得ルモノアリ雙方爲シ得ルハ航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキナリ此事由カ發航前ニ生シタルトキハ旅客ハ何物ヲモ支拂フヲ要セス發航後ニ生シタルトキハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フヘシ(六三九、六一四)

旅客ハ隨意ニ契約ヲ解除スルコトヲ得發航前ニ解除スルトキハ運送賃ノ半額ヲ支拂フヘク發航後ニ解除スルニハ先ツ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス(六三四)發航ノ前後ニ依リテ金額ヲ異ニスル外之ヲ解除後ノ支拂トスルカ解除ノ前提條件トスルカノ差アルハ物品運送ノ場合ニ等シ

終了ニハ船舶ニ關スル事故ヨリ生スルモノ及ヒ旅客ニ關スル事故ヨリ生スルモノアリ船舶カ沈没スルカ修繕不能ト爲ルカ捕獲セラルトキハ運送契約ハ終了シ其場合ニハ旅客ハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フヘシ(六三七)物品運送ノ場合ト同主意ニシテ余ノ此場合ニ運送賃ヲ支拂ハシムルヲ不可トスル理由モ物品運送ニ付キ論シタルト等シ旅客カ不可抗力ニ因リテ航海ヲ爲スコト能ハサルニ至リタルルハ發航前ニ在リテハ運送賃ノ四分一ヲ支拂ヒ發航後ニ在リテハ船舶所有者ノ選擇ニ從ヒ運送賃ノ四分一或ハ運送ノ割合ニ應スル運送賃ヲ支拂フヘシ不可抗力ニ因ル終了ナルニ運送賃ヲ支拂ハシムルハ非ナリ宜シク改メテ契約ハ船舶ニ關スル事故ニ因リテ終了スルモ旅客ニ關スル事故ニ因リテ終了スルモ運送賃ヲ支拂ハシメサルヲ原則トスヘシ殊ニ旅客ノ死亡スル場合ニモ尙運送賃ノ四分一ヲ支拂ハシムルニ至リテハ寧ロ慘酷ト云フヘシ

旅客ノ一身ニ關スル不可抗力トハ身體上ノ不可抗力若クハ之ト同視スヘキモノニシテ精神的ノ不可抗力ヲ含マス最モ著シキハ疾病傷痕ニシテ不法監禁、兵

役召集等モ之ニ入ル犯罪ニ因ル拘禁モ此中ニ入ランモ其場合ニハ所有者ハ其旅客ニ對シテ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ヘク其額ハ旅客ノ支拂フヘキ運送賃ノ全額ニ等シ尊屬親ノ疾病ノ爲メニ航海ヲ止ムルハ事情ノ察スヘキアルモ此中ニ入レヌ

旅客カ死亡シタルトキハ船舶所有者ハ相續人ニ對シテ運送賃ヲ請求スルコトヲ得其請求權ニ關シ手荷物ノ上ニ留置權ヲ有シ又相續人ノ爲メニ其利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ手荷物ヲ處分スルコトヲ要ス(六三八)運送契約ニ因リテ船舶所有者及ヒ旅客ニ債權債務ヲ生シタルトキハ各自ノ相續人之ヲ承繼シ履行シ得ル範圍内ニ於テ履行セサルヘカラス隨テ船舶所有者カ死亡スルトキハ相續人ハ運送ヲ爲スヘク旅客カ死亡スルトキハ相續人ハ運送ヲ支拂フヘシ又何レモ先人ノ權利ヲ承繼シ船舶所有者ノ相續人ハ旅客ニ對シテ運送賃ヲ請求スルコトヲ得ヘク旅客ノ相續人ハ船舶所有者ヲシテ手荷物ヲ保管セシムルコトヲ得遺骸ノ運送ヲ請求シ得ルカ否カハ旅客運送契約ノ性質及ヒ當事者ノ意思ニ依リテ定マル旅客運送ト云フトキハ旅客トシテ生活スル人ノ運送ヲ意味ス

ルヲ以テ特約ナキ限りハ相續人ハ遺骸ノ運送ヲ請求シ得サルヘシ手荷物ノ運送ハ請求シ得ルモ之ヲ旅客ノ上陸豫定港マテ運送スルトキハ却テ相續人ニ不利益ナルコトアルヲ以テ其場合ニハ船長ヲシテ最モ相續人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ之ヲ處分セシム

相續人ハ手荷物ヲ委付シテ運送賃支拂ノ責ヲ免カルヲ得ヌ不條理ナルモ解釋ハ此ノ如シ(六三八、五六五、六一三)

婦人ヲ運送スル場合ニ航海中ニ出産スルトキハ生兒ノ運送賃ヲ如何ニスヘキカハ佛國海法家ノ論スル所ナルモ何等ノ規定モナキ我國ニテハ當事者ノ意思及ヒ他ノ規定ヨリ推解シ得ルノミ船舶所有者カ出産ヲ豫期シテ運送契約ヲ取結ヒ運送賃ヲ定メタルトキハ生兒ノ運送賃ハ其中ニ包含シ之ヲ豫期セサルトキハ出産後ノ運送ノ割合ニ應シテ支拂ハシムヘシ之ヲ法律ノ解釋トスレトモ實際ニハ未タ生兒ノ運送賃ヲ請求シタル例ナシ又大人ト小兒トニ依リテ運送賃ヲ區別スル場合ニ運送中ニ小兒ノ齡カ大人ニ達シタルトキハ運送賃ヲ如何ニスヘキカノ問題ハ最近ニ獨逸學者ノ討論スル所ナルモ多クハ空論ナリ

第四章 海損

海損ノ法規ハ何國ノ海法ニモ最先ニ發達シタリ海損ハ英ノ「アウヘー」ジ「佛ノ「アウヘー」イ「伊ノ「アウヘー」リヤ」獨ノ「ハーペライ」ニシテ語源ノ一ナルコトハ諸國ノ文字自ラ之ヲ證セリ其字義ニ關シテハ財產損害損害ノ負擔等ト云ヘル數說アリテ沿革法學者間ノ問題ナレトモ商法ハ之ヲ損害ノ意味ニ用ユルコト明カナリ

海損ヲ分チテ共同海損及ヒ單獨海損トス共同海損ハ共同危險ヲ救フ爲メニ生シタル損害ニシテ共同ニ負擔シ單獨海損ハ或者ニ生シタル損害ニシテ其者ノミ負擔ス「コンソラト」ニハ既ニ此區別ヲ認メ路易ノ法令亦之ヲ規定シ佛國商法ニ傳ハリ獨逸商法及ヒ我商法ニ至リシナリ尙海損ヲ分チテ大海損及ヒ小海損トシ或ハ一般海損及ヒ特別海損トスルコトアリ我商法ノ海損ノ規定ノ殆ント全部ハ共同海損ニ關スルヲ以テ往々海損ト共同海損ヲ同意義ト誤解スル者アルモ二者ハ固ヨリ異ナリ海損ハ廣クシテ共同海損ハ其一部ナリ

共同海損ノ意義

共同海損トハ船長カ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同ノ危險ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及ヒ費用ナリ(六四一)

共同海損ハ或人ノ物ヲ犠牲ニ供シテ他人ノ物ヲ全フシタル場合ニ受益者ヲシテ犠牲者ニ補償セシムル制度ニシテ天理ニ協ヒ何人ニモ解シ易キヲ以テ何國ニモ夙ニ行ハレ殊ニ保險ノ制度ナキ時代ニハ一層其必要アリキ何國ニモ如何ナル時代ニモ存シタルハ偶此制度ノ天理ニ協フヲ示スモノナリ然レトモ國ニ依リ法ヲ異ニスル所アリテ其分擔ニ煩雜及ヒ不公平ヲ生スルヲ以テ各國ノ有志者ハ一ノ共通規則ヲ作り名ケテ「ヨークアンントウエルプ」ノ規則ト云ヒ國法ノ如何ニ拘ハラヌ之ニ依ルコトト爲レリ現在ノモノハ一八九〇年ノ規則ヲ基トシ一九〇三年ニ修正ヲ加ヘタルモノニシテ多數國ノ船舶所有者海上保險業者等之ヲ遵守シ船荷證券及ヒ保險證券ニ其旨ヲ示スヲ常トス

共同海損ヲ分析スルトキハ左ノ如シ

一 共同海損ハ損害及ヒ費用ナリ

損害ニハ物質的ノモノアリ金錢上ノモノアリ船舶積荷ヲ毀損スルトキハ物

質的ノ損害ヲ生シ之ヲ質入シ若クハ抵當ニ供スルトキハ物質ハ依然タルモ金銭上ノ損害ヲ生ス費用ノ支出ハ支出者ニ損害ナルモ蒙ムリタル損害ト支出シタル費用ハ區別スルヲ通常トスルヲ以テ海損ニ關シテモ亦區別シタリ沿革ニ依レハ最先ニ共同海損ト爲リタルモノハ物質的損害ナリ投荷切橋等ノ如シ次ヲ物ニ關シテ金銭上ノ損害ヲ生スレハ同シク共同ニ負擔スヘシトシ船舶積荷ヲ擔保ニ供シ又ハ其他ノ處分ヲ爲シテ損害ヲ生シタル場合ニモ分擔スルコトトシテ損害海損ノ範圍ヲ擴メ後ニハ共同ノ爲メニ支出シタル費用ヲモ共同ニ分擔スルヲ至當トシテ費用海損ヲ生シタルナリ損害ト費用ノ間ニハ時トシテ區別シ難キモノアルモ兩種ノ海損ノ發生ニ此沿革アリトセハ我商法ノ定義ニ共同海損ハ損害及ヒ費用ナリト云ヒシハ至當ナリ

二 共同海損ハ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生ズルモノナリ共同ノ爲メニ蒙ムル損害及ヒ費用ニハ多クアルモ悉ク之ヲ共同海損ト爲サス唯船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生ズルモノニ限ルナリ茲ニ

處分ト云ヘルハ割合ニ廣クシテ投荷切橋斷鎖等ハ勿論トシ修繕ノ爲メニ入渠スルコト航海費ヲ得ル爲メニ質入スルコト等ヲモ含ミ船舶ヲ修繕スル爲メニ積荷ヲ陸揚スル費用ノ如キモ若シ船舶ノ修繕自身カ共同海損ナルトキハ之ニ伴ヒテ共同海損ト爲ルナリ修繕後ノ船積費用ニ關シテハ數説アルモ若シ陸揚費用ニシテ共同海損ト爲ル以上ハ其積荷ノ船積費用ヲモ共同海損トシテ可ナラン何レモ船舶及ヒ積荷ニ付キ生シタル處分ト云ヒ得レハナリ共同海損タルニハ損害カ船舶又ハ積荷ノ何レカ一方ニ付キ生スレハ可ナリ共同海損ト云ヘル共同ハ他ノ點ニ在リテ處分ノ目的物ノ共同ヲ要スルニ非ヌ又之ヲ必要トスル理由ナシ

三 共同海損ハ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同危險ヲ免カレシメム爲ニ生ズルモノナリ危險ハ船舶及ヒ積荷ニ共同ナルヲ要ス共同危險ヲ免レシメタル損害ナルカ故ニ分擔スルナリ共同海損ノ共同ハ其負擔者カ共同ノ利害關係人ナルニ在リト云フハ結果ヲ云フモノニシテ主トスル所ハ共同危險ノ避免ニ在リ